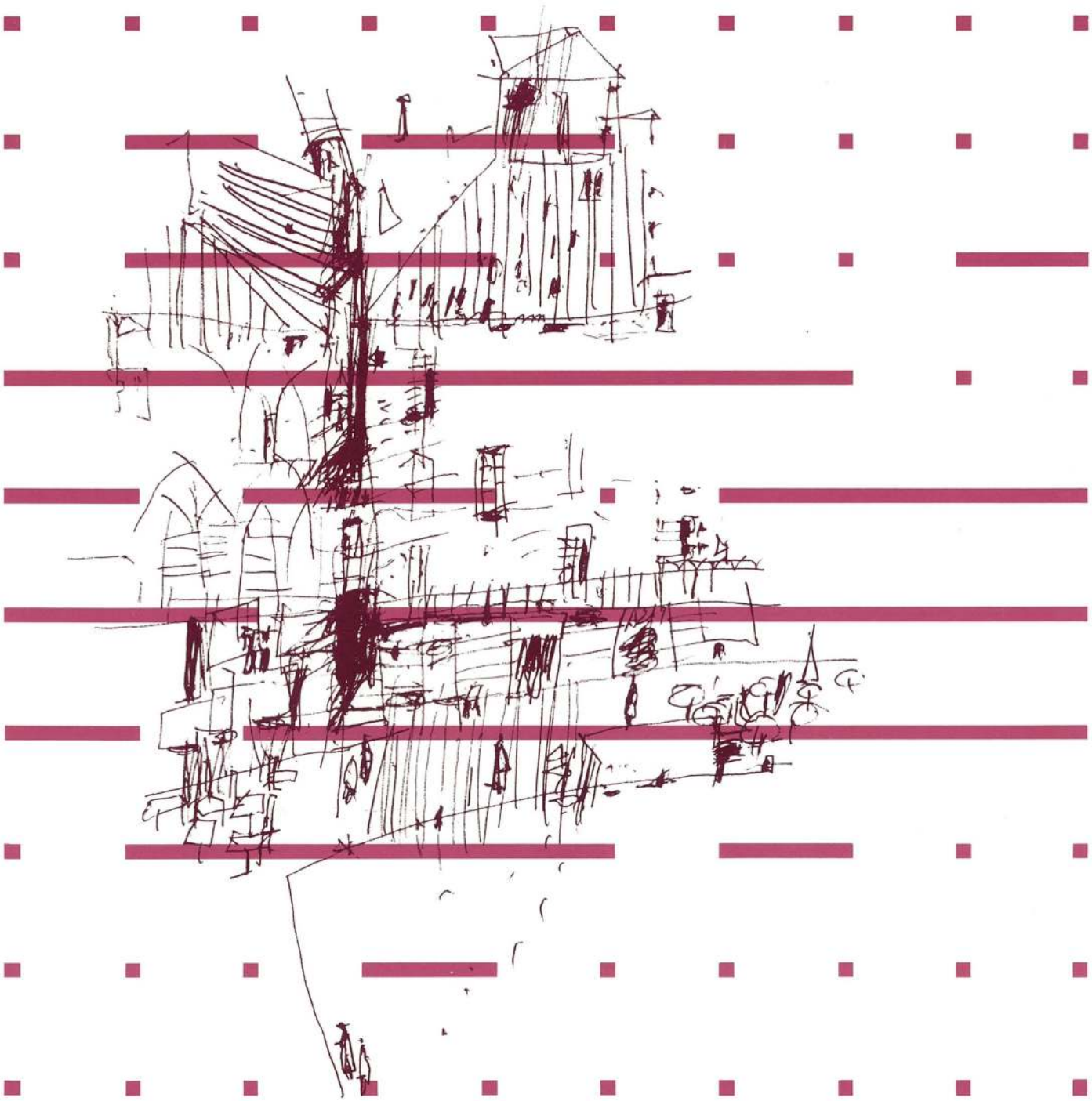
Vol. 66 通巻755号

昭和60年 2 月25日発行　毎月 1 回25日発行　昭和24年 3 月19日第 3 種郵便物認可

建　築　と　社　会

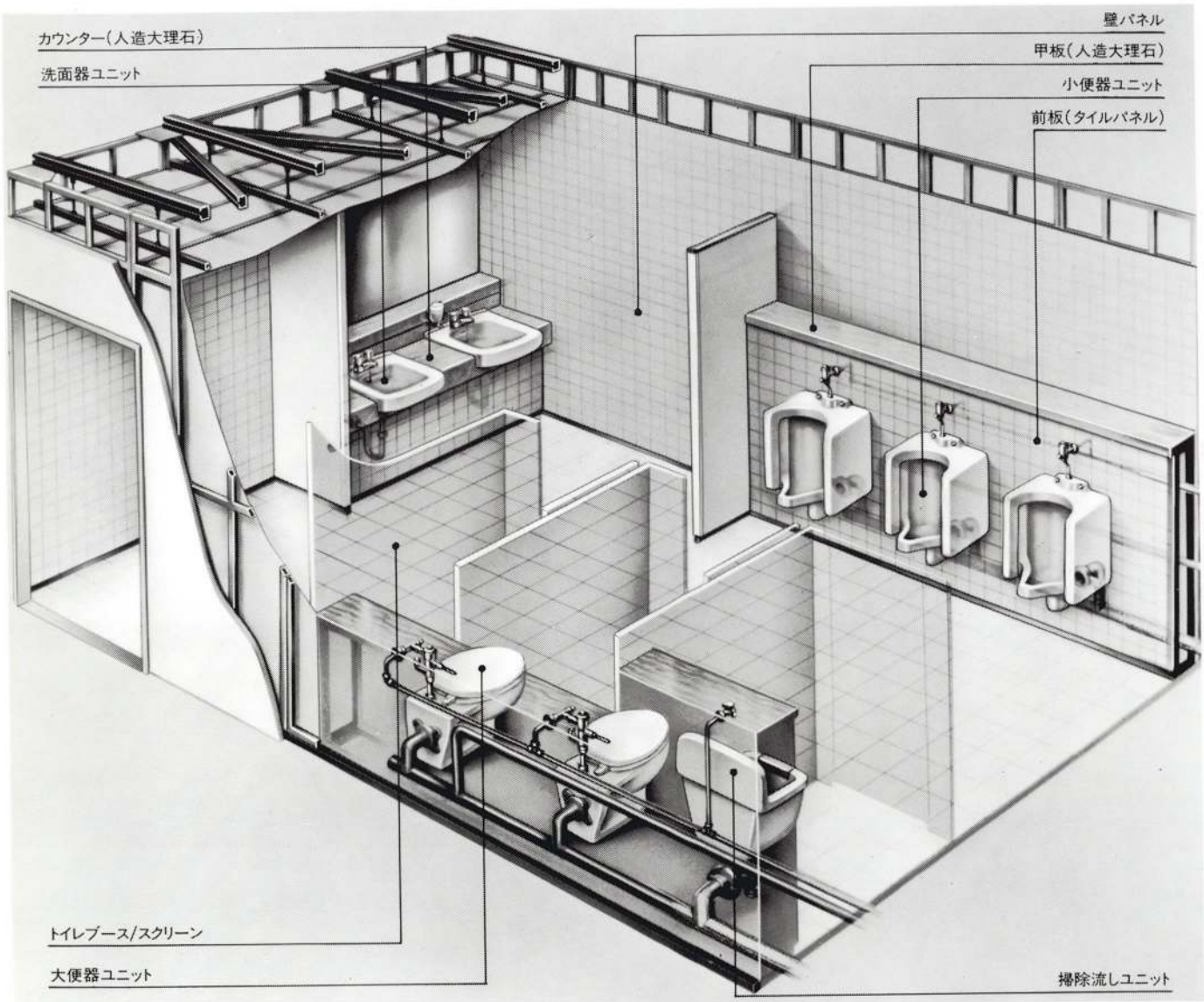
ARCHITECTURE AND SOCIETY 1985 2

特集●東海の現在と近未来



日 本 建 築 協 会

タイルパネルによるトイレのシステム化を実現。



伊奈システムトイレは、乾式タイルパネルの壁と、給排水管等横引配管を内蔵したケーシングと器具を一体化させた配管ユニット(タイルパネル前板と人造大理石甲板で仕上)およびトイレブース、スクリーンから構成され、設計条件に合わせ、システム的に組み合わせ、レイアウトできます。

〈システムトイレの特長〉●組立工法なので、養生期間もなく、施工が簡単で、工期も大幅に短縮できます。●工場生産のため、高精度で安定した品質が得られます。●タイル仕上げなので、カラフルで、豪華なイメージのトイレになります。●錆びたり、変色したりせず、長期にわたり清潔感を保てます。●耐震性能に優れています。●メンテナンス性に優れています。

カタログ・技術資料は下記の弊社支店にお問い合わせください。

伊奈システムトイレ



ina
伊奈製陶

本社〒479 愛知県常滑市鯉江本町3−6 ☎05693(5)2700㈹ 支店:東京/03(561)1710 大阪/06(532)6081 名古屋/052(962)1271 札幌/011(271)1701
仙台/0222(63)1710 金沢/0762(64)1710 高松/0878(21)1701 広島/082(223)1710 福岡/092(471)1710

◀吹田市文化会館〈メイシアター〉新築工事の見学



〝すこやかで　心ふれあう　文化のまち〟の目標を掲げてまちづくりに邁進されている吹田市が、市制施行45周年を記念して市役所前に建設していた吹田市文化会館〈メイシアター〉は、4月1日にオープンします。

この会館は、茶色のタイルで統一した外観が映え、なかなか立派な建物で、地方自治体では全国的にも珍しい大、中、小の三つの目的別ホールがあるだけでなく、舞台装置、音響、照明など最新の技術を駆使した超一流の設備がズラリ、全国でも最も高い水準を誇っており、文化関係者の注目を集めています。

会館の内容は、音楽を主目的にした最大客席 1,397席の大ホール。演劇を主目的にしたプロセニアム型式（客席492席）の舞台からアリーナ型式でも7型式の変化に富んだ舞台ができる最大客席622席の中ホール。人形劇、落語など小さな催しものに適した客席156席の小ホール。その他、レセプションホール、展示室、集会室、リハーサル室、和室、茶室、屋上庭園などがあります。

また、一般ロビーは「動く彫刻」で知られる新宮晋氏の作品〝空のイメージ〟が取りつけられ、屋内でありながら自然の中を散策するような楽しさが感じられるようにイメージ構成がなされています。

今回、吹田市の特別のご厚意と、㈱東畑建築事務所、竹中・前田・紙谷建設工事共同企業体のご協力により、オープン前に、ユニークな文化会館が見学できる機会を得ました。多数ご参加をお待ちします。

日　　時　2月23日(土)　集合14:00→解散16:00

集合場所　吹田市文化会館、正面玄関前・目標会旗

〔参考〕
- 大阪、梅田より阪急電車・千里山線・北千里行乗車→「吹田」駅下車……→進行方向一番前寄りの改札を出て、すぐ左側の地下道を通り抜け、ガード下を越えた前方の建物。（建物に〈メイシアター〉の名称がついている。
- 所要時間、梅田より15分間隔で発車、約18分、運賃160円。

定　　員　40名

参加会費　会　員　500円
会員外　700円
（当日受付でいただきます）

申込方法　電話にて本会事業課（TEL06－348－0633）へお申込み下さい。必ず氏名・勤務先名・参加証発送先・郵便番号・連絡電話番号をお知らせ願います。

- お詫び　会誌の発行が見学会の開催日に間に合わないかもしれませんので、この催しについては、全会員の皆様に、通常総会の開催通知とともに会告ゲラ刷をお送りいたしました。
ここに深くお詫び申し上げます。

建築概要

建設地	吹田市泉町2丁目29－1
建築主	吹田市
地区地域	第2種住居専用地域、住居地域、準防火地域
設計監理	吹田市教育委員会文化会館建設事務所 ㈱東畑建築事務所
建築施工	竹中・前田・紙谷建設工事共同企業体
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造、屋根鉄骨造、地下1階、地上4階
敷地面積	9,883.10㎡（公園部分を除く）
建築面積	6,782.36㎡
延床面積	15,732.46㎡
軒高	29.25m
最高高さ	29.45m
主要外壁	外壁　炻器質タイル張 屋根　大、中、小ホール　デッキプレート下地、コンクリート床版の上アスファルト露出防水（カラー砂付ルーフィング） 屋上庭園　アスファルト防水の上、軽量コンクリート押え。炻器質タイル 建具　アルミ製カーテンウオール、アクリル樹脂焼付塗装
協力	音響　前川純一氏（神戸大学教授） オブジェ　新宮　晋氏
工期	昭和58年4月1日→昭和59年11月30日

◀建築工事実務講習会広島で開催

本年度は、取りつきにくい施工計画と仮設見積、現場実務の基礎である積算技術に重点をおき、実例として、RC造・地下1階・地上5階建事務所ビルの着工準備から完成に至るまでをわかりやすく解説し、また、都市環境の変化に伴う法令・規準の改正なども加え、技術の進歩に即応した最新の知識の修得をはかることにしました。

日　　時　昭和60年2月26日(火)　午前9時～午後5時

会　　場　中特会館3F会議室（広島市中区幟町3－57）
TEL 082－221－0518

科目講師　**施工計画**　大林組広島支店工務部工務課長　古荘昭憲氏
仮設見積　大林組本店建築工務部工務課長　安立俊夫氏
積算業務　竹中工務店大阪本店見積課長　黒川征一郎氏

定　　員　100名

会　　費　12,000円（含テキスト代）
テキスト体裁：B5判・図表入り285頁。
他に「モデル建物見積書集」と「モデル建物設計図及び施工計画図集」あり。

申込方法　参加ご希望の方は下記広島県建築士会までお電話下さい。

申込先　(社)広島県建築士会（TEL 082－244－6830）
〒730 広島市中区国泰寺町1丁目8－4（日興ビル）

共　　催　(社)日本建築協会　(社)広島県建築士会
(社)広島県建設工業協会

■3月の見学会予告

◀国立京都国際会館・イベントホール新築工事の見学

日　　時　3月30日(土)　集合14：00→解散16：00（現地）

集合場所　京都・地下鉄「北大路」駅（終点）下車→地上へ出たところのバスターミナル付近・目標会旗
- 集合場所よりタクシーに分乗して現地に参ります。

定　　員　40名

参加会費　会　員　600円
会員外　800円
（タクシー代共）

申込方法　往復ハガキにて氏名・勤務先名・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入し、「国際会館、イベントホールの見学」と明記の上3月22日(金)までに建築協会事業課へ。（大阪市北区梅田、大阪駅前第3ビル21F）

- 詳細記事は会誌3月号会告欄に掲載します。
- 概　要　設計監理　大谷幸夫（大谷研究室）
工事監理　建設省近畿地方建設局
施　　工　大成建設株式会社
- 当日は、イベントホールを主に、増改築工事がなされた京都国際会館も併せて見学いたします。

企画・日本建築協会

新シリーズスタート

実務に役立つノウハウを，わかりやすく見やすくまとめたニュータイプ

プロのノウハウ

- 2色刷…
- コンパクト編集
- 軽快なハンドブック



生半可な技術では用をなさない．営業的なセンスもなければプロではない．プロしか生き残れない時代．最先端のノウハウをまっ先に手に入れるための新シリーズ登場．各分野の大ベテランが本当のところを教える．よりわかりやすく，よく手早く楽しく読める！が本シリーズのモットー．協会ならではの，実務のポイントを押えた，すぐ役立つノウハウ集である．

●刊行にあたって（社団法人　日本建築協会）●

創立60周年を記念して刊行いたしました「建築技術選書」は，幸いにも，実務に役立つ技術書としてご好評を得ることができました．当シリーズは「建築技術選書」の姉妹版として，ここが決め手というところを，わかりやすく親しみやすくまとめたものです．プロを目ざす技術者，とりわけその第一歩を踏み出そうとしている方の良き友となれば幸いです．

パソコン会計術

設計事務所編　西部明郎著



経営の実態を正確に把握することは，生き残るための最低条件である．専門的な知識がなくても，また忙しい時間を犠牲にしなくてもすむ，パソコンによる会計処理の方法を公開した．すぐに経営合理化にとりかかることのできる実践用手引．また，すぐ利用できるディスク，プログラムも同時発売．

●概要

1．複式簿記はこわくない
2．ごく簡単なプログラム
3．実用化のためのテクニック
4．実用プログラムFINAS
5．プログラムの選び方

四六・224頁・定価1800円

建物の値打ちの高め方

ビル・マンションの新しい評価法　小林清周著



外壁の塗り替えを行うだけで，マンションの売買価格は100万円ほど上がるという．外側の美しさだけで，人間の価値判断が左右されるのは何故か．人間の多様な価値判断をアンケートの解析など様々な方法で分析し，建物の的確な評価法を提案．またそれによって，建物の値打ちを高めるアイディアを公開した．

●概要

1．これまでの建物評価法
2．ビルの新しい評価法（立地条件，建築条件，経営条件と総括評価）
3．マンションの新しい評価法（立地条件，建築条件，管理条件と総括評価）

四六・208頁・定価1700円

TQCから見た建設業

問題解決の決め手　荒木睦彦著



ＴＱＣの導入によって成功する企業とガタガタになる企業，その違いはどこにあるのだろうか．成功例ばかり読んで，ともかく導入したのはよいが“つぼ”をはずして会社が大やけど，といったことにならないための決め手満載．建設業のＴＱＣを知りつくした著者による，実践のための手引．

●概要

1.建設業のＴＱＣ　2.ＴＱＣとは何か？
3.問題のとらえ方　4.ＱＣサークル
5.方針管理と社長診断
6.管理とそのポイント
7.ＱＣ七つ道具

四六・192頁・定価1600円

軀体工事監理のチェックポイント100　須賀好富著



現場経験が少ないと，とんでもない失敗，恥ずかしいミスをすることがよくある．失敗してから知ったのでは遅すぎる監理の盲点など，軀体工事監理のノウハウを最新の知見と豊富な経験から100のチェックポイントに凝縮した．1項目を2ページ見開きにまとめ，簡潔な説明と詳細な図で深くも浅くも活用できるよう構成．

●概要

1．基礎工事
2．コンクリート工事
3．鉄筋工事
4．鉄骨工事

図・表・イラストなど全400点以上収録

四六・224頁・定価1800円

〈目録進呈〉

学芸出版社　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入　☎075-343-0811

1917創刊
1985
第66集
2 通巻755

建築と社会 © ARCHITECTURE AND SOCIETY
CONTENTS

JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

特集●東海の現在と近未来

SPECIAL FEATUREAS ON TOKAI AREA IN THE PRESENT AND NEAR FUTURE

吹田市文化会館〈メイシアター〉新築工事の見学，建築工事実務講習会広島で開催 …… 1
ヨツギビル …… 設計監理：昭和設計　施工：鴻池組 …… 4
最近竣工した新建築18点（No.1819～1836） …… 6
似島臨海少年自然の家 …… 8
核シェルター・Luwaシェルター機器／元木貞次 …… 12
中高層共同住宅の２戸１化設計指導指針／大阪市総合計画局建築指導部 …… 13
この人－大隅暁子／黒川省二，マイ・フォトーローマは何色？／赤井富弘 …… 14
イギリスでの生活点描11－ケア・テーカー（用務員さん）との会話－庶民生活の一端をかいま見る－／西村一朗 …… 15
本城邦彦（竹中工務店設計課長）氏を訪ねる／インタビュアー・駒田哲男 …… 17
魅力あるすまいづくり（その１）－すまいづくりのステップ／川村真次 …… 18
高齢化社会を迎えて－終の住処／荒木兵一郎，習慣／森内盛一郎 …… 20
言葉／瀧　光夫，見透かしの自然風景／藤縄正俊
構造物実験用・風洞実験用動的データ処理装置／井上隆二 …… 21

東海の現在と近未来

名古屋国際センタービル …… 24
設計監理：名古屋市計画局泥江再開発事務所・日建設計名古屋　施工：清水・大成建設共同企業体
恵那文化センター …… 設計監理：岡設計名古屋支店　施工：日本国土開発名古屋支店 …… 26
名古屋共済会館（三の丸会館） …… 設計監理：伊藤建築設計事務所　施工：佐藤工業名古屋支店 …… 28
江南地域文化広場 …… 30
基本設計：黒川建築事務所　実施設計監理：江南市建築課・黒川建築事務所・愛知県営繕課・大崎設計
施工：清水建設・昭和土建共同企業体・清水建設
伊勢シティプラザ・霊友会館伊勢 …… 設計監理：一樹設計企画　施工：竹中工務店名古屋支店 …… 32
瑞浪市総合文化センター …… 設計監理：伊藤建築設計事務所　施工：錢高組・徳倉建設共同企業体 …… 34
名古屋合同庁舎第３号館 …… 設計監理：建設省中部地方建設局営繕部　施工：大林組名古屋支店 …… 36
知多市民病院 …… 38
設計指導：名古屋大学柳沢研究室・中原研究室　設計監理：石本建築事務所・建築計画連合設計共同体　施工：鹿島建設
サカエ東栄ビル …… 設計監理：伊藤建築設計事務所　施工：竹中・日本国土・フジタ・戸田共同企業体 …… 40
東海の現在と近未来 …… 42
出席：足立省三／佐々波秀彦／後藤　侃／越智福夫　司会：中島　一
愛知県・名古屋市の景観整備 …… 49
出席：石川桂一／井上昭彦／桜井大吾／中島　一　司会：高橋大善
東海の建築地場産業
１．三州瓦－高浜－／川角年比古 …… 56
２．常滑焼－常滑－／福田泰造 …… 57
３．やきもの－瀬戸－／建部謙治 …… 58
４．大理石－岐阜赤坂－／丹下義憲 …… 59

滋賀の秋－県立近代美術館・住友活機園・NEG大津工場を見る／続木正之・石川康介・池杉文昭 …… 60
旧加東郡公会堂と社町の人々／柴田正己 …… 61
休載
ビル群の集中管理システム「TOMNECS」／大内幸雄 …… 63
無機弾性仕上材／松永正 …… 65
日本建築協会月間の動き（昭和59年12月分） …… 68

■表紙デザイン
吉引顕久（竹中工務店）
記憶の断片－シエナの広場で
■特集予告
３月号／建築物の基礎を考える
自由様式と安井武雄
４月号／情報化をめぐる建築・都市事情
５月号／外壁材料－最近の外壁－
ホール－それが生み出す文化
会告
作品作風
スケッチブック
Gallery－まち・建築・ひと
新建材紹介コーナー
法令コーナー202
読者の頁

会　長　佐野正一
副会長　足立　孝・市川　宏
松村雄二・薬袋公明
編集委員会（昭和59年度）
編集委員長　井上　滉
編集理事　井上　滉　今井潤之介　金多　潔　北澤　登　竹中　錬一　武田　恭一　長谷部朝郎　松村　慶三　山本　晃　渡辺　忠
編集委員
（特集小委員会）
■計画分科会　足立　啓　岡田　信幸　金澤　成保　榊　敏正　杉本　章子　＊田中　直人　中山　徹　藤本憲太郎　舟橋　國男　本多　友常　山根　勝利　横井　眞朗
■構造分科会　足立　直行　日下部　馨　西田　理　＊真塚　達夫　俣野　博　八尾真太郎　山田　裕治
■設備分科会　磯田　憲生　遠藤　進　川戸　敏雄　河津　隆之　中曽　暁尚　＊橋本　邦彦
◎副委員長　○副委員長代行　＊幹事
奈　學
■施工材料分科会　阿川　清二　荒木　弘之　田中　光紀　西牧　恵吉　水口　譲　＊横井　征夫
■法令分科会　大西　博明　広江　雅樹　＊松井　昭　南出　和延
（作品作風小委員会）　浦山　哲　大泉　研二　◎加藤　俊明　北村　恭一　菊池　稔　黒川　省二　黒木　省二　志方　敬育　浜崎　彰　湯地　龍一
（投稿欄小委員会）　赤井　富弘　小林　正純　◎中馬　博良　堀畑　裕一
（広告企画小委員会）　◎伊藤　敬祐　池渕　俊男　木原　幹雄　駒田　哲男　清水　修平　田上　章　○田中　功　高橋　裕　原田　常介　平等　一之　本間　利雄　松村　孝治　◎渡辺　忠
座談会１
座談会２
ルポ
若い会員の集いレポート
コラム
構造の頁126
設備の頁125
施工材料の頁124
月報

編集人　松井昭光
印刷　昭和60年２月20日
発行　昭和60年２月25日
発行人　吉田悦二
発行所　（社）日本建築協会
大阪市北区梅田1-1-3-2100
電　06－348－0635
振替口座　大阪1-39975
印刷所　日本写植印刷株式会社
電　06－606－1111㈹
大信印刷株式会社
電　06－451－7631
定価　950円（送料共）



西正面全景

撮影　河野　豊

ヨツギビル

設計監理　昭和設計

施　　工　鴻池組



西面見上げ

当ビルは、ヨツギ株式会社が創業50年をむかえるのを契機に、今後、より一層の発展と会社イメージの向上を意図して計画・建設された。

敷地は新なにわ筋に西面している。今後、周辺の整備・開発が予想され、本社ビルとしてふさわしく、あきがこない、又街路景観にインパクトを与えうる建物となるよう計画・デザインした。

- 建物内へのアプローチは、人と車を西と南の２ヵ所に完全に分離している。
- １階は玄関ホール・駐車場、２～５階は本社事務室・福利厚生施設、６～８階はテナント用事務室とした。平面的には、北側をコアゾーン、南側を事務室と、明解なプラン構成にしている。
- 将来の間仕切りの変更・ＯＡ化に多様な対応が可能な床下配線システムを採用している。
- 軽量化のため、外壁は全面カーテンウォールとし、シルバーグレーの横長アルミパネル、連窓ガラス窓で素材を統一している。又、建物コーナーは全て曲面で構成し、シンプルで柔らかい外観デザインとしている。

（中山　隆／昭和設計）



３階事務室

所 在 地　大阪市西区立売堀４
敷地面積　722.35㎡
建築面積　581.19㎡
延床面積　4,623.15㎡
構造規模　Ｓ、８Ｆ
工　　期　昭和58年５月～昭和59年５月
最 寄 駅　地下鉄阿波座駅



１階平面図



３階平面図



東海地方の建築作品　18点



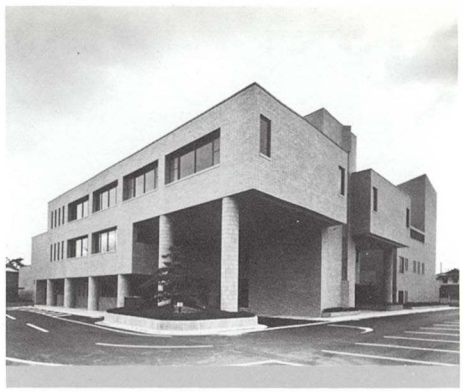
1819　八百津町ファミリーセンター

設　計：岡設計名古屋支店
施　工：大日本土木
a．岐阜県加茂郡八百津町3827－1
b．5,283.76㎡
c．3,026.90㎡
d．4,924.68㎡
e．RC、2
f．昭和58年7月～昭和59年7月
g．名鉄八百津線八百津駅



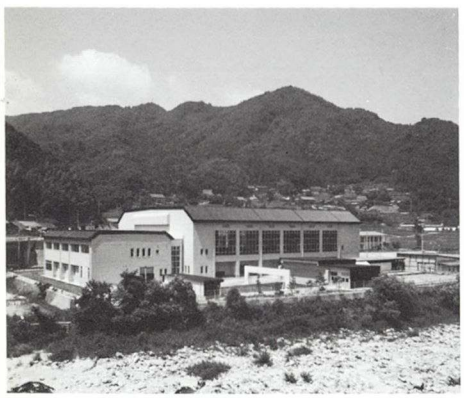
1820　岐阜市文化センター

設　計：坂倉建築研究所
施　工：大林・大日本土木ＪＶ
a．岐阜市金町5－7－2
b．3,523.05㎡
c．3,224.63㎡
d．10,270.31㎡
e．SRC、B1、4F、P2
f．昭和57年7月～昭和59年9月
g．名鉄本線新岐阜駅



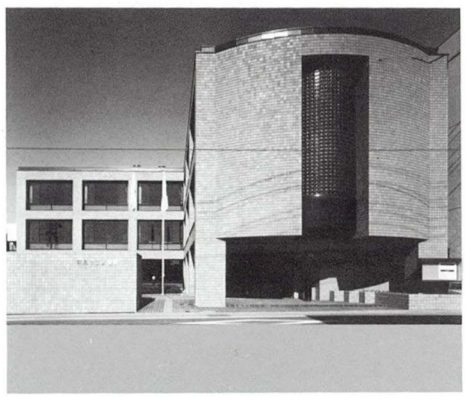
1821　佐織町中央公民館

設　計：黒川建築事務所
施　工：飛島建設名古屋支店
a．愛知県海部郡佐織町大字諏訪字郷西456－1
b．4,976.00㎡
c．2,483.19㎡
d．4,196.89㎡
e．SRC、4F
f．昭和58年10月～昭和59年12月
g．名鉄津島線勝幡駅



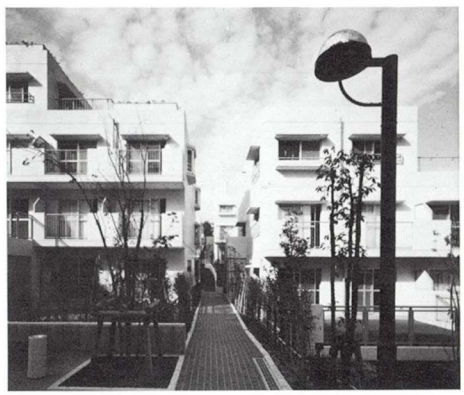
1822　旭町総合体育館

設　計：伊藤建築設計事務所
施　工：西松建設中部支店
a．愛知県東加茂郡旭町大字下切字平田3014
b．5,688.55㎡
c．2,703.73㎡
d．3,626.41㎡
e．SRC（一部RC）、2F
f．昭和58年6月～昭和59年3月
g．名鉄豊田線豊田市駅



1823　可児市立図書館

設　計：岡設計名古屋支店
施　工：小倉・吉田ＪＶ
a．岐阜県可児市広見字泳570－5
b．961.98㎡
c．570.61㎡
d．1,526.76㎡
e．RC、3F
f．昭和59年4月～昭和59年11月
g．名鉄広見線可児駅



1824　サニーヒル表山

設　計：構造計画研究所・東畑建築事務所ＪＶ
施　工：鴻池組ほか5社
a．名古屋市天白区表山3－15－6
b．22,538㎡
c．5,186㎡
d．15,177㎡
e．RC、3F
f．昭和57年3月～昭和59年10月
g．地下鉄八事線八事駅



1825　高浜市立病院

設　計：山下設計
施　工：銭高組名古屋支店
a．愛知県高浜市高浜町一本木12－3
b．5,865.78㎡
c．1,439.48㎡
d．4,972.00㎡
e．RC、B1、4F、P2
f．昭和58年11月～昭和59年11月
g．名鉄三河線三河高浜駅



1826　玄周寺

設　計：黒川建築事務所
施　工：石田組
a．名古屋市東区東桜2－811．812
b．418.49㎡
c．271.40㎡
d．689.52㎡
e．RC、3F
f．昭和57年4月～昭和59年9月
g．地下鉄新栄駅



1827　可茂聖苑

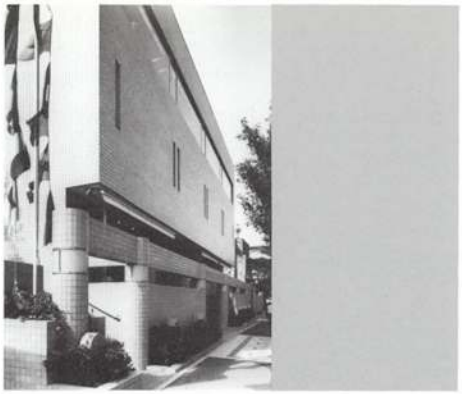
設　計：岡設計名古屋支店
施　工：前田建設工業名古屋支店
a．美濃加茂市太田町字境松1158－42
b．8,511.00㎡
c．1,755.56㎡
d．1,573.58㎡
e．RC、2F
f．昭和57年11月～昭和58年12月
g．国鉄高山本線美濃太田駅

■写真と概要をどしどしお送り下さい。
凡例：a．所在地　b．敷地面積　c．建築面積　d．延床面積　e．構造規模　f．工期　g．最寄駅



1828 日本生命浜松駅前ビル

設　計：大林組名古屋支店
施　工：大林組名古屋支店
a．浜松市砂山町325－6
b．1,061.72㎡
c．　888.48㎡
d．6,499.10㎡
e．SRC、8F、P1
f．昭和58年11月～昭和59年11月
g．新幹線浜松駅



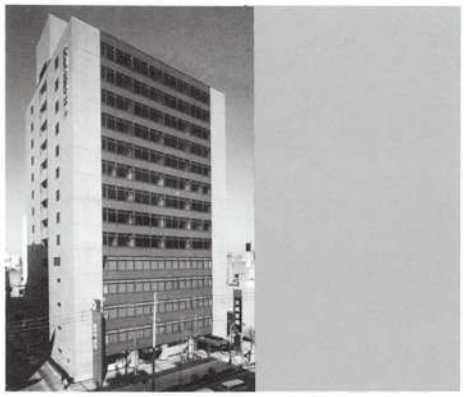
1829 ルーツストーンビルパート2

設　計：竹中工務店名古屋支店
施　工：竹中工務店名古屋支店
a．名古屋市千種区四谷通2
b．　872.5㎡
c．　481.6㎡
d．1,741.3㎡
e．RC、B1、3F、P1
f．昭和58年4月～昭和59年2月
g．地下鉄東山線本山駅



1830 桑名信用金庫城南支店

設　計：伊藤建築設計事務所
施　工：安藤建設名古屋支店
a．三重県桑名市大字江場
b．938.34㎡
c．245.70㎡
d．414.55㎡
e．S、2F
f．昭和59年5月～昭和59年10月
g．近鉄名古屋線桑名駅



1831 名古屋大同生命ビル

設　計：大林組本店
施　工：大林組・間組JV
a．名古屋市中村区名駅4－2309
b．1,701.52㎡
c．1,119.54㎡
d．14,659.99㎡
e．S＋SRC、B1、14F、P2
f．昭和57年3月～昭和59年2月
g．国鉄名古屋駅



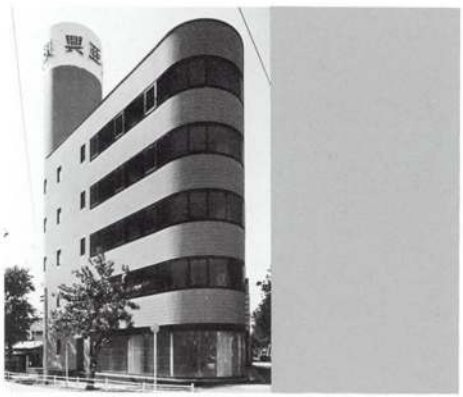
1832 東海銀行三宮支店

設　計：伊藤建築設計事務所
施　工：竹中工務店
a．神戸市加納町4－3－5
b．　503.34㎡
c．　391.10㎡
d．1,478.15㎡
e．SRC、4F
f．昭和58年7月～昭和59年5月
g．阪急電鉄神戸線三宮駅



1833 岐阜相互銀行本店

設　計：日建設計
施　工：清水・大林・大日本JV
a．岐阜市金町4－30
b．5,612.79㎡
c．2,013.34㎡
d．11,674.29㎡
e．SRC、B1、9F
f．昭和57年12月～昭和59年9月
g．名鉄岐阜駅



1834 興亜火災豊橋ビル

設　計：竹中工務店名古屋支店
施　工：竹中工務店・大末建設JV
a．豊橋市中郷町118－1
b．　782.69㎡
c．　317.19㎡
d．1,565.34㎡
e．RC、5F、P1
f．昭和59年1月～昭和59年9月
g．国鉄東海道線豊橋駅、名鉄豊橋駅



1835 岐阜相互銀行忠節橋支店

設計：伊藤建築設計事務所
施　工：大日本土木
a．岐阜市早田大通1－11・島栄町一－1
b．1,020.87㎡
c．　363.79㎡
d．　613.84㎡
e．RC、2F
f．昭和58年12月～昭和59年5月
g．名鉄揖斐線忠野駅



1836 中京相互銀行南陽町支店

設　計：伊藤建築設計事務所
施　工：日本国土開発名古屋支店
a．名古屋市港区南陽町大字福田字七反野47－1
b．613.69㎡
c．211.06㎡
d．358.30㎡
e．S、2F
f．昭和59年7月～昭和59年11月
g．地下鉄東海通駅

Gallery まち・建築・ひと



上空北側より



南面入口外観

都市化の進む中で育って来た少年たちに、自然の中で集団生活をする事によって、豊かな情操を培い、心身共に健全なる青少年の育成を図る事を目的としたのが、少年自然の家ではないかと思う。

「似島臨海少年自然の家」は、広島(宇品港)からフェリーで20分、安芸の小富士と呼ばれ自然に恵まれた島にある。敷地へのアプローチは、浅橋より徒歩で15分、峠を越えた所に位置し、一方は海、三方は山に囲まれるという立地条件に恵まれ、〝臨海型〟〝分散型〟をテーマに計画された。

配置は、管理棟と生活棟を道路に面し向かい合わせにし、両棟のはざまにゲートを設け、雰囲気作りとアプローチの明確化を図った。そして、集いの広場を中心に宿泊棟3棟、テント式バンガロー10棟を配置した。

全ての外部イメージは木造バンガローを基本とし、自然に近い素材を考え、杉小幅板型枠コンクリート打放しを用い、小さく目地を切る事によりヒューマンなスケールになるように考え、木、土に近い塗装をした。屋根は各棟全て勾配をつけ、周囲の山にとけ込むように考えた。内部仕上げは、外部に比べ清潔感、安全性、メンテ等のしやすい材料とし、木造のイメージを出すため、できるだけ木材を使用した。

各施設について、管理棟は多目的ホールを有し、雨の日のオリエンテーション、キャンプファイヤー等のできる空間を設けている。生活棟は、1階は厨房と大浴場、2階は200人収容の大食堂で天井を高く取り、山小屋の食堂をイメージして山形の天井にした。宿泊棟は、敷地の勾配を利用し、宿泊部分とパブリック部分の二つのブロックに分けてスキップさせ、中央に吹抜けと階段を設けて上下階に連続感を生み、子供たちの遊びの空間になるように考えた。

(峠山横雄／近代設計コンサルタント)



体育館棟(管理棟) 玄関ホール



生活棟食堂



南面入口ゲート



体育館棟(管理棟) 渡谷

企　　画　広島市
設計監理　広島市営繕課・近代設計コンサルタント
施　　工　地崎工業
工　　期　昭和58年3月～昭和59年3月
敷地面積　69,725㎡　　建築面積　2,701㎡
延床面積　4,309㎡　　構造規模　RC、2F

体育館棟(管理棟)……1棟　プレイホール、研修室、展示ホール、シャワールーム、館長室、事務室等
生活棟……1棟　食堂(204人)、浴室(2室)
宿泊棟……3棟　宿泊定員204人
キャンプ施設……固定テント(バンガロー)10棟等
(その他、キャンプファイヤー場、飯ごうすいさん場、つどいの広場等)

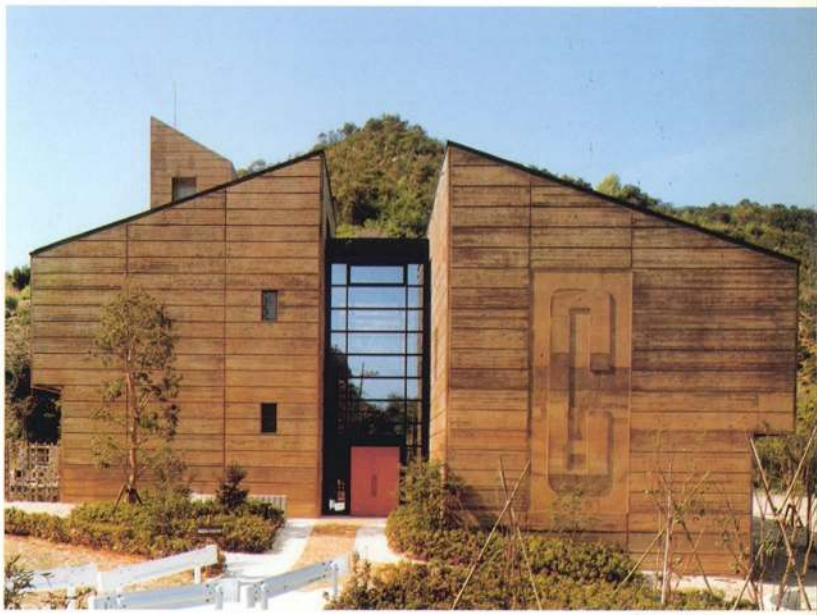
撮影　井尻敬三(宇和写真広島)

以島臨海少年自然の家

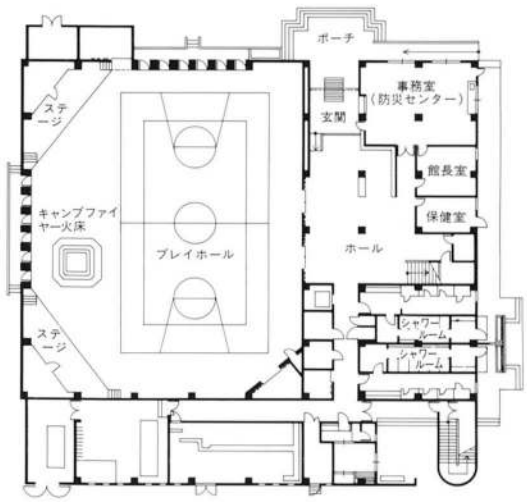
広島市南区似島町字東大谷182



体育館棟（管理棟）北面



宿泊棟南面



体育館棟（管理棟）1階平面図 0 5 10 15 20m





体育館棟（管理棟）プレイホール



生活棟浴室外部壁画と中庭

目指す少年自然の家には、フェリーが着く島の西側の集落から、徒歩で小さな峠を越えていく。二人がようやく並ぶほどの小路を歩いて峠に立つ。
峠には背負子にみかんをいっぱいにした老婆が休んでいる。
……江田島を望む。
……眼下に少年自然の家が広がる。
フェリーをおりて15分、目的地に着く。
海辺、寒風が吹きすさぶ。太陽は西へ傾く。
小屋の女性達はもくもくと手を動かしていた。大きなカキの貝ガラの山……。

1985.1.6

外　壁　コンクリート打放し、アクリル樹脂塗料３回吹付
　　ＡＰカラークリヤー（関西ペイント）
屋　根　屋根葺用石綿スレート（クボタ鉄工・カラーベストコロニアル）
　　アスファルトルーフィング22kg
　　特殊パーライトモルタル㎡40

設計者略歴

昭和22年５月29日、広島市生まれ。鹿児島大学建築学科卒業。
現在、近代設計コンサルタント取締役設計部長。
代表作品　広島県薬業会館（広島市）ちまきやデパート（山口市）
　　青木邸（広島市）

企画編集　作品作風小委員会（加藤・菊池）

クボタ 洋瓦 パラマウント

建設大臣認定不燃(個)第1764号

屋根を知りつくした クボタの洋瓦。

住まいは屋根できまります。優れた屋根材が建築を守り居住性を高めます。美しい屋根は住まいの風格をつくります。

パラマウントは屋根材で実績のクボタが、独自の新技術で完成したセメントモルタル主原料の機能性、施工性に優れた洋瓦。

街並みできわだつ欧風感覚。8色揃った上品な色彩、屋根を美しく見せる独特のデザイン。シックな機能派クボタ洋瓦・パラマウント。



日本の屋根を変えたクボタから登場



久保田鉄工株式会社 住宅機材事業本部 本社 大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号 〒556 ☎06-648-2728 東京本社 東京都中央区日本橋室町3-3 ☎03-245-3745



アクリルゴム高弾性仕上材
ゴムタイル

アクリル弾性単層仕上材
ゴムテックス

アクリルエマルションペイント
ビニデラックス

外装用アクリル塗料
APエナメル

外装用アクリル透明塗料
APクリヤー

外装用アクリル砂壁状塗料
カンペリシン

複層模様吹付材
マルチタイル

多彩模様塗料
ゾラコート

色いろいろ 街いきいき
関西ペイント
〒541 大阪市東区伏見町5-27 ☎(06)203-5531

日本建築協会建材委員会

新建材紹介コーナー

《新建材紹介　No.117》

核シェルター・Luwaシェルター機器

日本ルーワ株式会社
本　　社　名古屋市東区東桜1丁目10番37号　Tel 052－962－2611㈹
東京営業所　東京都中央区銀座1丁目8番21号　Tel 03－561－0882㈹

1．はじめに

核抑止を叫びながら一方では核軍備の増強が行われており、核の脅威の高まりが大きく報じられている。このような時代に対応するため諸外国では永年真剣に取り組み、核シェルターの建設を着着と進めている。その建設状況は表－1の通り。

表－1　各国の市民用の常備シェルター

国　名	人　口	市民用のシェルター	普及率
アメリカ	2億1,000万人	1億人分（シェルターマーク付）この他に予備シェルターあり	47.6%
ソ　連	2億5,000万人	1億8,000万人分	72.0%
西ドイツ	6,200万人	200万人分	3.2%
スイス	650万人	540万人分	83.1%
スウェーデン	800万人	700万人分	87.5%
ノルウエー	400万人	170万人分	42.5%
デンマーク	500万人	280万人分	56.0%
フィンランド	470万人	260万人分	55.3%
イスラエル	350万人	350万人分	100.0%
日　本	1億2,000万人	0	0

西ドイツはこの外に個人用シェルター数百万人分あり。また、世界各国で男女半数ずつ収容するシェルターも増加中

（スイス政府市民防衛局および各国の資料により作成－1980）

日本では、1980年には0であったが、近年になって個人や団体で核シェルターを建設するケースが増加しており、又海外での建設工事では核シェルター付の工事が多くなっているので関連する日本側建設各社も夫々が研究を進めている。

ここに紹介する日本ルーワ㈱はスイスにおいて、永年「シェルター機器」の製造および核シェルター設備工事を行ってきたLuwa Ltd.と技術提携して日本での核シェルター技術の相談に応じると共に「シェルター機器」の製造・販売を行っている。

2．核シェルターに必要な条件

核爆発に伴って生ずる破壊現象は想像を絶するものである。従って核シェルターは、一定の防護限界を定めその限界内で次のような各要件を満たすことを必要とする。

(1)　核爆発による閃光、熱線および一次放射線を遮ることができること。
(2)　爆風に耐える構造であること。出入口扉および空気の取り入れ口についても同様である。
(3)　核爆発により地面を通じて又は空気を介して伝えられる衝撃に耐えられること。シェルター内の機器についても同様である。
(4)　気密性があり、室内空気を清浄に保つための換気装置およびガスフィルターを有していること。
(5)　外部の建築物の崩壊による瓦礫や破片から内部を防護できること。これらを避けて脱出できること。
(6)　非常のための脱出口を備えること。
(7)　地下水位の高いところでは防水を完全にし、排水設備を設けること。
(8)　必要に応じて空調設備、非常用発電設備を設けること。
(9)　外部火災が長時間に亘ると予想されるシェルターでは、O_2供給装置およびCO_2フィルターを設けること。
(10)　電気、通信機器にはEMP（電磁パルス）対策を施すこと。
(11)　シェルター内で2週間以上生存できる水、食料等を貯えておくこと。

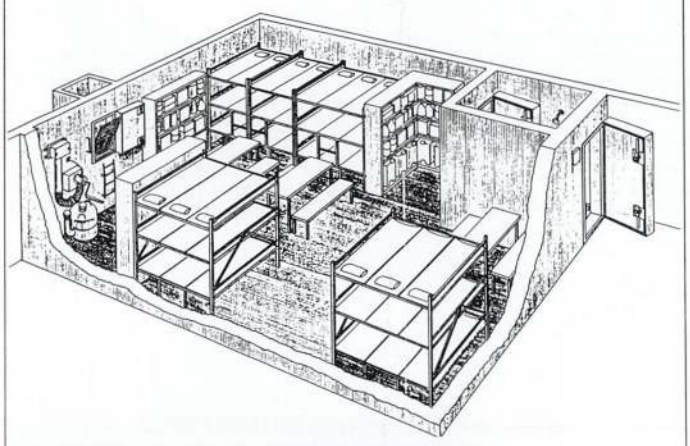
※　シェルターの防護限界は、耐え得る爆風圧で定められており、プライベート用は1Bar（気圧）、病院は3Bar等と区分されている。

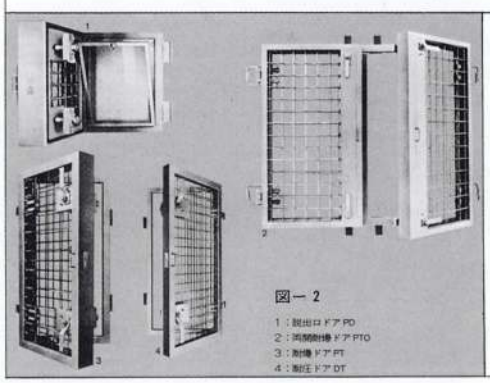
表－2　地表爆発時の1気圧と3気圧地点

相当エネルギー	1気圧地点	3気圧地点
1KT	0.3km	0.2km
10KT※	0.6km	0.3km
100KT	1.2km	0.7km
1MT	2.6km	1.5km
10MT	5.6km	3.2km
100MT	12.0km	7.0km

※広島投下爆弾は約12KT

図－1





図－2
1：脱出口ドアPD
2：両開耐爆ドアPTO
3：耐爆ドアPT
4：耐圧ドアDT

図－3



3．Luwaシェルター機器

上述の核シェルターに要求される条件を満たすためには、次のような各種の機器を使用して構築する必要がある。

(1)　Luwaシェルタードアー

図－1に50人用シェルターの概要を示す。シェルターの出入口はある意味ではシェルターの弱点部分となるので、この部分の設計には充分な配慮が必要である。この例では出入口を二重扉とし、この間を気密室および除染室として使用する。

Luwaシェルタードアーは、図－2に示すように骨組みの形で納入せられ、建設現場でコンクリートを充填し完成品となる。このドアーは爆風、衝撃、放射線、爆弾の破片、ダスト、ガスおよび火災に対して充分な防護力を有しており、スイスの市民防衛局により承認されたものである。

爆風に対して安全なように外開きに取り付けられるが、小型の脱出口ドアーについては内開きに取り付けられるよう設計されている。

(2)　Luwaシェルター換気装置

シェルターは長時間（フォールアウト時は約2週間）多くの人が滞在しても、それらの人々に必要な酸素を供給し炭酸ガスを除去する他湿気と熱を除去するためにも換気を行う必要がある。

又、この換気にはシェルター内の人々を保護するため、有害な放射能を含んだダストやガスを除去する機能も必要である。

図－3にLuwaシェルター換気装置を示す。この装置は耐爆風バルブ、一次フィルター、流量計付ダクト、ダンパー、フレキシブルホース、送風機およびガスフィルターとで構成されている。送風機は電動、手動のいずれでも運転できるようになっており、これにより必要な空気を室内に取り入れるとともに、室内を水柱5㎜以上の加圧状態に保ち、シェルター内にガス、ダスト、煙などが入らないようにする。

ガスフィルターには高性能フィルターと活性炭フィルターが組み合わせて入っており、非常時における供給空気の浄化を行う。

空気の取り入れ口には耐爆風バルブが組み込まれているが、室内空気の排出口にも耐爆風バルブが必要で、この排出は気密室を通じて行い、排出空気によって気密室の空気が常時入れ替るように配慮されている。又排出用には過圧バルブが使用され、室内を一定の過圧状態に保つように働く。

建材委員／元木貞次（東洋紡エンジニアリング）

日本建築協会法規委員会
編集委員会法令分科会

法令コーナー

質疑などの投稿をお待ちしております。

202
中高層共同住宅の２戸１化設計指導指針―大阪市―

居住水準の向上と人口の市内定着を図るため、今後供給される住宅はできるだけ規模の大きなものとする必要があるが、住宅価格の高額化等により、依然として比較的規模の小さな住宅が多く供給されている。とりわけ、中高層共同住宅は将来の増改築が困難であるため、建築当初から将来の増改築が可能な構造としておくことが望まれる。

大阪市の本指導指針は、中高層共同住宅の比較的規模の小さな住戸に対して、将来２住戸を１住戸、３住戸を１または２住戸に容易に改造できるように設計上前もって対処しておくよう指導することにより、将来の良好な住宅ストック形成を図ることを目的としている。

なお、適用住戸は、「大規模建築物の建設計画の事前協議制度」の対象となる共同住宅の住戸で、下記に該当するものを対象とする。

・分譲住宅…住戸専用面積が60㎡未満の住戸
・賃貸住宅…住戸専用面積が50㎡未満の住戸

この指針にもとづいて、大阪市内に建つ標記住戸は、60年４月１日より指導を受けることとなる。

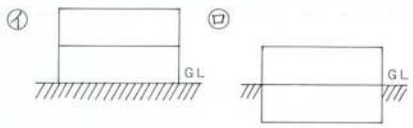
（注）住戸専用面積には、寝室、食事室兼台所、便所、浴室、収納室等を含むが、廊下等の共用部分およびバルコニーは含まない。

（大阪市総合計画局建築指導部指導課）

用語解説

〈法文に出てくる階数２と２階の違い〉

階数２という場合、図の㋑㋺ともに該当するが、２階という場合には㋑だけである。



具体的に出てくる法文の一例を、掲げる。

㋑の場合（○○階）

法２条６号　１階にあっては３ｍ以下、２階以上にあっては５ｍ以下……
法27条１項　別表第一(ろ)欄に掲げる階を……
法48条２項（別表第二）３階以上の部分を(い)項に……

㋺の場合（階数○○）

法６条1項2号　木造の建築物で３以上の階数…
3号　木造以外の建築物で2以上の階数…
法35条　階数が3以上である建築物……

２戸１化設計指導指針

(1) 計画について

①　撤去可能な開口予定部分の位置

適用対象住戸は、上下、左右に隣接する他の住戸と将来２戸１化可能なように壁又は床の一部に構造上撤去可能な箇所を設けること。その位置は以下の基準による。

分譲住宅の開口予定部分設置基準

ⅰ）住棟内に設置しなければならない開口予定部分の箇所数は次式による。

$$\text{開口予定部分の設置箇所数 } P \geqq \frac{\text{適用対象住戸に隣接する全ての住戸との間に開口予定部を設置した場合の箇所数 } Q}{2}$$

ⅱ）全ての適用対象住戸は、隣接住戸との間で少なくとも１箇所の開口予定部分を有すること。

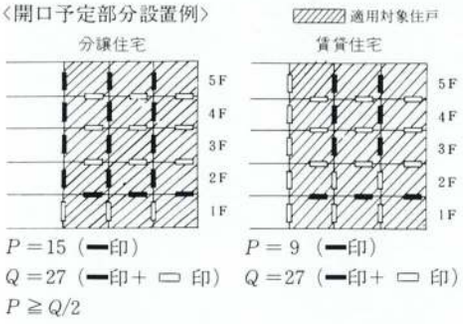
ⅲ）開口予定部分は、できるだけ壁部分に設置すること。

賃貸住宅の開口予定部分設置基準

ⅰ）全ての適用対象住戸は、隣接住戸との間で少なくとも１箇所の開口予定部分を有すること。

ⅱ）開口予定部分は、できるだけ壁部分に設置すること。

〈開口予定部分設置例〉



$P=15$（━印）
$Q=27$（━印＋▭印）
$P \geqq Q/2$

$P=9$（━印）
$Q=27$（━印＋▭印）

開口予定部分の位置は、将来、２戸１化を実施した場合の住戸計画を想定し、便所、台所等の水まわりを避けるなど適切な位置に設けること。

②　撤去可能な開口予定部分の大きさ

撤去可能な開口予定部分の大きさは、壁の場合は、幅１ｍ×高さ２ｍ程度とし、床の場合は、将来の階段位置等を考慮した適切な大きさとすること。

(2) 技術面について

①　建物の構造計画においては、当該開口予定部分が、全て撤去されたと仮定して、構造上安全な計画とすること。

②　開口予定部分周辺は、構造補強を十分に行うこと。

③　開口予定部分は、遮音性能、防火性能等を十分に有する構造とすること。

（ＲＣ造で周囲と一体的構造とし、撤去時にダイヤモンド・ウォールカッターを用いる方式、コンクリートブロック積みとする方式等）

④　開口予定部分の位置については、撤去時にも明確にわかるようにしておくこと。

⑤　ガス設備、配電設備、給水設備については、将来、メーターを容易に１箇所に集約化できるよう必要な措置を講ずること。

（分岐取出口、分岐スイッチ、貫通スリーブ等）

(3) 法律面について

①　管理組合規約に以下の点を明記すること。

ⅰ）２戸１化に対する区分所有者の同意について

（例）

（２戸１化）
第○○条
区分所有者は２戸１化が可能なよう設計を行った住戸を購入した場合、自己の費用で２戸１化を行うことができる。他の区分所有者は、これを承認すべきものとする。区分所有者が２戸１化を行おうとするときは、あらかじめ、これを管理組合に届け出ること。

ⅱ）撤去した隔壁部分の床面積の増加に対する対策

区分所有者建物の床面積の算定は、「内壁で囲まれた部分の水平投影面積」によると定められているため、左右の隣接住戸の２戸１化を行い、合併登記をした場合は、撤去した隔壁部分の面積が増加することとなる。この結果、建物の共用部分及び土地の共有持分割合に影響を及ぼすこととなるため、その対策として、次の規定を定める。

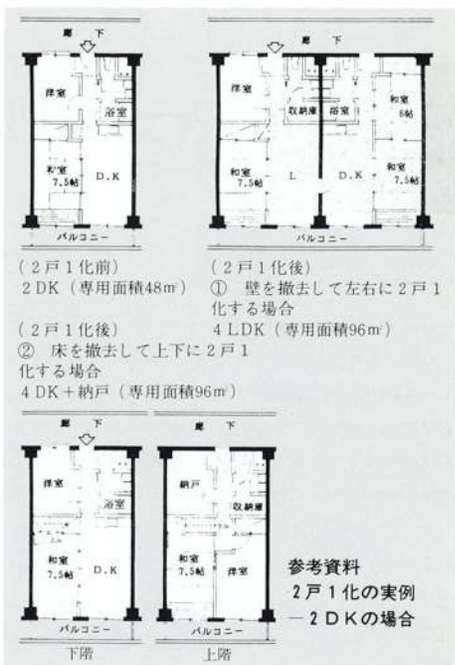
（例）

（共用部分（土地）の共有持分）
第○○条
第○○条に定める共用部分（土地）に対する権利は、建物専有部分の総床面積に対する各区分所有者の所有する専有部分の床面積の割合による所有権の共有とし、その持分は後記（表○○）のとおりとする。
２．第○○条に規定する２戸１化が実施され、実体法上も従前の２専有部分が合一して、１つの専有部分となった場合、その専有部分の床面積は、登記上の表示にかかわらず、前項の共有持分計算に関する限り、従前の２専有部分の床面積を単純に合計した数値とする。

②　販売時に２戸１化設計について、十分説明すること

２戸１化可能な中高層共同住宅を販売しようとする者は、募集パンフレット、契約の際の書面等において、購入者に対して２戸１化の可能性、撤去可能な開口予定部分の位置、工事手順等２戸１化実施のために必要な事項について十分表示、説明しておくこと。

③　２戸１化を実施するにあたっては、建築基準法、消防法等の関係法規に適合する必要があり、そのための措置を講ずるよう購入者に十分説明しておくこと。



（２戸１化前）
２DK（専用面積48㎡）

（２戸１化後）
①　壁を撤去して左右に２戸１化する場合
４LDK（専用面積96㎡）

（２戸１化後）
②　床を撤去して上下に２戸１化する場合
４DK＋納戸（専用面積96㎡）

下階　上階

参考資料
２戸１化の実例
―２DKの場合

読者の頁

「この人」シリーズの連載にあたって
建築にかかわるあらゆる分野の人々を訪問し、その人と仕事を紹介していきます。読者のみなさまから、いろいろな「この人」を募集していますのでよろしく。

この人 2　大隅 驍子　グリーンコーディネイター

ちょっとおじゃまします　　聞き手・黒川省二　竹中工務店

うるおい空間をデザイン

ランドスケープデザイナーというハードなイメージではないし、日本庭園の庭師といったタイプとも違う。〝グリーンコーディネイター〟という表現が可能なら、その言葉がぴったりなのが大隅さん、新鮮で優しいイメージが印象的である。〝森のあるビル〟として知られている大同生命（大阪・江坂）の〝森〟の作者と言えば、なる程と思われる方も多いと思う。

普通の勤めに物足りなさを感じ、一生続けるに値する仕事として選んだのが、緑にたずさわること。専門教育を受け直し、竹中工務店の設計部に入社。おりからの都市環境整備、緑化推進の波に乗り、次々と大きな仕事を成功させてきた。大阪国際ビル、くずはモール、ユニチカオークタウン等、当時竹中の代表的な作品のほとんどの植栽計画に関わってきた。そしてユニークな存在として新しい分野を確立し、惜しまれながら退社、独立する。どちらかというと器があってその中でのアレンジメントが中心だった竹中時代と較べ、デザインプロセスのかなり早いステージより関わる機会が増えているそうである。

独立後、高松塚歴史公園、林原生物化学研究所などの一連の作品に加え、海外での活躍もされている。シーザーペリの基本設計による大韓教育保険会社のソウル・馬山・釜山支店等一連のシリーズがそれである。外国の事例にふれ思いあたることは、日本に較べ、施主も建築家も、植栽を〝付属物〟とは考えておらず、ランドスケープアーキテクト自身も、環境に貢献しているとの自負を持って堂堂としていることだそうである。最近作は〝グリーンハウス〟というＤＩＹのお店。この計画では、建築家と一体となってコーディネイターとしての役割を果たしてきたが、彼女の今後目指す方向とかなり一致しているようである。

〝華美な花よりも普通どこにでもある木が好き〟、〝住宅よりも多くの人が集まる場所の緑にたずさわりたい〟というのが大隅さんの緑に対する基本的な考え方である。また〝目的の場所・建築にたどりつくまでの空間〟が好き、とも言う。彼女のコンセプトの一端をうかがわせる。

仕事をしていて最もやりがいを感じるのは、ともすれば〝飾り〟とか〝つけたし〟等付属物として考えられがちな植栽を、自分の考え通り、建築主に説得し得た時。そして職人とのねばりあいの末、思ったように施工できたとき。九州人独特の芯の強さを感じさせる一面である。そして〝最近は少しずるくなって、若い頃みたいになにもかも思い通りにさせるという気負いよりも、譲りしろを残す要領を覚えたようです〟と笑いながら、自分の仕事をやり遂げる本格派である。

〝緑蔭がなければ、太陽を恨まず、自己をとがめよ〟とは中国の古いことわざである。樹木は都市になくてはならないもの。生き生きとした緑の創造に静かな闘志を燃やす大隅さんに敬意を表したい。



大隅驍子（おおすみ　ぎょうこ）
出　身　福岡市生まれ
　　西日本短期大学・造園学科卒業
現　在　緑のある空間研究所所長（大阪市東区船越町１－31　渡辺ビル７Ｆ　Tel06－941－0796）
主な仕事　三輪そうめん山本本社（Ｓ55年）
　　京都センチュリーホテル（Ｓ56年）
　　林原生物化学研究所（Ｓ57年）
　　国立飛鳥歴史公園（Ｓ58年）
　　中国短期大学（Ｓ58年）
　　日本臓器生物化学研究所（Ｓ59年）ほか

マイ・フォト

ローマは何色？

ローマ

赤井 富弘
近畿地方建設局



ローマに白い建物はなかった。永遠のヒットカラーであり、私たちがクライアントに自信を持ってお勧めできる、その白がなかった。コロッセオに歴史の重みを感じ、サンピエトロ寺院のばかでっかさに驚いたローマではあったが、それ以上にローマの町の色は忘れることができない。一つひとつの色が個性的ですごい色で、なおかつ町全体が調和をもって私たちを包んでくれる。その色は、私たちの知っている緑、黄、茶などではなく、ローマの色だ。そのローマに白い建物はなかった。

イギリスでの生活点描 11

西村 一朗

ケア・テーカー(用務員さん)との会話 ——庶民生活の一端をかいま見る——

私は、機会があれば出来るだけイギリス人に生活実態について聞き出すことにしていました。これは、冬の寒いある日、ケア・テーカー（care taker＝用務員）に聞いた話です。妻が、せっかくロンドンにいるのだから何か勉強したい、と言うので Further Education（成人教育）を実施している地元のcollegeの適当な教室を探して一日歩きました。色々と聞き回ってNorth Finchley（ノース・フィンチリィ）の教室に行きました。この辺りは、サッチャー首相の選挙区で、割と立派な家並も見られ、中産階級の「上」の人々が主に住んでいる地域です。

教室（校舎）を見つけ、ドアを押して入って行くと、突き当たりのドアの蔭から年老いた「おじさん」と「おばさん」が顔を出して「何か用か？」と言います。かくかくしかじか、と言ったら「担当者（申込受付人）が今いないから、明日か明後日の午前九時半ごろ又来てみたら」とのことです。妻が一寸残念そうな顔をしていると、世話好きそうな「おばさん」が、「今、Jewellery（宝石飾り付け）のクラスが授業をしているが、のぞいて行かないか」と言って彼女を連れて行ってしまいました。残った私を見て、「おじさん」が、「寒いから、まあ部屋の中に入りなさいよ」と言ってくれました。入ってみると、「おじさん」と妻を連れて出て行った「おばさん」は、ストーブのまわりで丁度ティを飲んでいたところのようです。彼は、私にストーブの傍の椅子をすすめるので、坐って一寸暖まらせてもらうことにしました。部屋を見回すと、壁に時間割などが張ってあり、又、沢山の部屋の鍵がつり下げてあります。どうやら、用務員室らしいと見当をつけました。

案の定、彼は「自分は用務員（care taker）で、さっきの女は、ここに通っている世話好きな近所の人だ」と話を始めました。私も簡単に自己紹介をして、少し話を聞いてみることにしました。以下、その時のQ&A（Q＝私、A＝care takerのおじさん）です。

Q.「イギリスのWorking class（労働者階級）は、平均どれ位の給与だろうか？」

A.「さあ、140～150ポンド／週位だろうが、税金、保険や何やを引かれると手取り70～80ポンド／週位（当時3万円／週位）ではないだろうか」

Q.「イギリスの物価は、高いのだろうか？」

A.「給料の伸びに比べ、物価の上昇の方が早い。交通費などもバカにならない。自分は2マイル（約3.3㎞）離れている家からバイクに乗っている—日本製だよ—けれど、それで年に100ポンド（当時3.5万円）の節約さ。ところで、パブに行って話を聞けば何でも分かるよ」

Q.「パブの酒（ビール）は、高いのだろうか、安いのだろうか？」

A.「そりゃパブよりクラブの方が安いさ。パブじゃパイント（大びん分）70～80P（約300円）



クラブ例：「イースト・ハム労働者社会クラブ」（東ロンドン）の立派な建物

なのに、クラブじゃ58Pだぜ」

Q.「クラブって何？」

A.（証明書を見せて）「一寸前まで空軍にいたのだけど、そのクラブさ」

Q.「僕は、半パイント飲んでパブでねばるんですよ」

A.（けげんな顔をして）「俺は、飲めばまあ4パイント位は飲むね。だから、高いのはこたえるのだよ」

Q.「でも、日本ではパイント1ポンド位だから、パブでもそれより安いと思う」

A.「そりゃ少し高いな。でもアイルランドじゃパイント1.1～1.2ポンドもすると言うじゃないか」

Q.「ところで、care takerってどういう仕事をするの？」

A.「何でもだよ。朝7時に来てドアを開け、掃除をし、火を入れるのさ。3時半にいったん家に戻って、又、夜の部のため6時ごろ来て10時前に帰る。long dayさ」

妻は、ここの教室の講座にぴったりするものがなくて、結局別のcollegeの教室へ行くことにしたので、もうここへは来ませんでしたが、私は、この親切なcare takerの話が、ロンドンですごして数ヵ月、何とか通じ始めた英語とともに私の脳裏に残ったのでした。

（続く）

（にしむら いちろう／奈良女子大学助教授・住居学）

	男性				女性			
	ブルーカラー		ホワイトカラー		ブルーカラー		ホワイトカラー	
	1976	1981	1976	1981	1976	1981	1976	1981
農林漁業	51.0	94.4	··	129.1	36.4	··	··	··
鉱山採石業	76.2	154.5	87.9	195.1	··	··	50.3	105.5
製造業								
食品、飲料、タバコ	66.8	130.9	78.7	164.4	40.9	80.2	43.3	87.1
化学、石炭、石油製品	69.5	135.9	94.2	181.7	40.9	79.7	47.7	98.4
金属工業	72.9	130.7	79.3	152.6	43.3	77.5	45.4	82.7
機械工業	67.8	122.1	79.3	159.7	43.6	80.6	42.9	85.8
繊維皮革衣料品	59.2	106.2	82.4	154.2	36.0	68.1	37.4	75.9
その他の製造業	66.8	126.7	79.1	159.3	40.7	78.0	43.3	89.8
全製造業(平均)	67.4	124.7	80.9	161.8	40.3	76.3	43.1	87.3
建設業	64.6	120.9	78.0	152.0	··	··	38.2	80.1
ガス、電気、水道業	69.9	143.1	87.5	178.6	··	··	47.5	101.9
サーヴィス業								
交通通信業	70.8	129.4	85.1	169.1	51.8	98.5	50.3	97.2
運輸業	53.9	106.3	66.7	137.6	33.8	69.5	34.5	73.1
保険、銀行業	60.3	126.7	88.0	184.3	38.1	··	44.5	93.7
専門科学サーヴィス	57.3	105.7	87.9	171.6	39.8	71.3	60.8	114.5
その他のサーヴィス	51.0	102.5	69.7	143.7	33.9	66.0	43.9	93.5
公共行政	56.8	＊109.8	85.3	164.2	43.5	80.2	51.4	96.3
全サーヴィス業(平均)	61.4	115.5	81.9	163.5	38.4	72.4	50.2	98.5
全体の平均	65.1	121.9	81.6	163.1	39.4	74.5	48.8	96.7

イギリス（全土）の労働者平均週給賃金（単位ポンド）；『Social Trends 13』1983より　1ポンド＝350円（当時）、300円（現在）

＊は、ケア・テーカーが含まれるところ



武庫川学院音楽館







実験教室家具

今、クオリティを究める時。ヨーロッパの感性をお届けします。

FURNITURE LAMPS TEXTILE ACCESSORY
IMPORT CONSTRUCTION DESIGN

ACTUS
コントラクト事業部

■東京本社／東京都渋谷区／03-499-4841 ■六甲パインモール／神戸市灘区／078-854-0327 ■心斎橋ACTUS インターリビング／大阪市南区／06-241-1551

本城邦彦（ほんじょうくにひこ）

竹中工務店

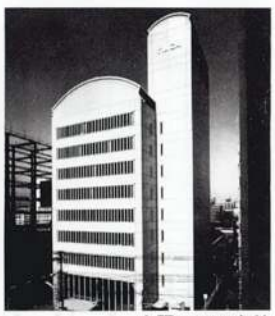
聞き手・編集委員　駒田哲男(日　建　設　計)
プロフィール撮影　島　修一(STUDIO　A・T)

略　歴

生年月日	昭和16年2月8日生(満44歳)
出身地	岡山市
最終学歴	神戸大学工学部建築学科昭和40年卒業
職場	竹中工務店大阪本店設計部設計課長
会社所在地	〒541　大阪市東区本町4－27
代表作品	武庫川学院公江記念講堂（西宮市）　武庫川学院丹嶺学苑（神戸市）　三宮国際ビル（神戸市）　六甲パインモール(神戸市)　大阪ＹＭＣＡ会館(大阪市)



武庫川学院北摂学舎



大阪YMCA会館



社会的存在

「オーナーと息を合わせて、つぎの世代にまで残るものを作る」ことを心がけている。「建築は設計者とクライアントとが1対1で対等に向い合って、ディシジョンメーキングしてこそ造れるもの」とも考えている。提案に至るプロセスでは、クライアントの諸要求に対しては、誠実にしかもさまざまな角度から検討を行う。若いチームメンバーとともに、建物のアイデンティティーを探ると同時にクライアントのメリットを追求するという。最終的に建物はつぎの世代に残る社会的なストック（資産）となるように、マテリアルおよび形態を考慮する。そのために多少コストが重む場合は、オーナーに追加費用を出してもらうか、工事を何期かに分けても、結果的に納得するものを造るよう理解を求めるという。

学校建築は商業ビルや企業の自社ビルと異なり、費やす金額の単位が、例えば1千円、1万円の単位でなく、極端には1円単位の神経がいる。その条件の中で、自分のやりたいことをいかに実現していくかを、つねに意識しつつ造ってきた。そうした生産の立場に立脚した設計を通じ非常に我慢づよい体質となり、しかも時間に耐えられるものを作るという方向性が育くまれてきたのではと自己を分析する。時間に耐えるもの造りを通じて、世の中をリードする以上、建築家は「どれだけ先がみえているか」が大事だと強調する。ところが、日本では建築家はそうした社会のヴィジョンより自分の意図ばかりを追求し、社会的な存在になり得ていないとも語る。

代表作品のひとつである武庫川学院では、体験と手法とが生かされ、「いちばん良いものを作ってほしい」と相談される依頼が得られたと自分の歩んだ道を確認する。

幼稚園の設計では子供と建築のふれあいという点で、とくに人間にもっとも身近かな家具に注意を払った。「子供たちは、イスが与えられると家庭的感覚で自分のものが与えられたように思う」。そして、もし、そのイスが壊れれば子供は泣く。「その子供の泣いている顔が解かるから、壊れにくくしかも良質な家具が欲しかった」と北欧まで足をのばし、デンマークの家具デザイナー、ジョニー・ソーレンセンを感嘆させた。同じく武庫川学院の丹嶺学苑では、年に8,000人が研修に宿泊するが、やはり家具は本物を求め、結果的に北欧製の一級品になった。食堂にはウェグナーのＹチェアーが用いられ、この種の研修施設としては、家具のグレードがとびぬけて立派である。それは、クライアントともどもつぎのように考えたからである。「将来、母親になる人間が本物を使って観る目を養い、良い物を肌で感じるようになってほしい」。建築物という単なる器だけを次代に残そうとするのではなく、内での豊かな生活を次の世代に伝えていきたいという姿勢もこめられている。インテリアに力点を置くことについては、また「坪単価1万円の上乗せをしても、視覚効果の高いのはインテリアだから」と明解である。

あたりの良い口調で、建築家の社会性から、幼稚園児の心理、さらには、家具とのインテリアのディテールにわたり、視野の広い理想と細かな観察にまでいきとどいて聴く者を魅きつける。じつに建築家とよぶにふさわしく、1個人の中にさまざまな能力がよく整理されまとめられている。大学時代マンドリンオーケストラの指揮に没頭していた話をきいてなるほどと感じた。チームメンバーをまとめ、歌わせ、ハーモニーをひきだし、ひとつの作品とすることはオーケストラーのコンダクターに要求される能力である。大学時代に涵養されたこの能力がそっくり建築設計に発揮されたと考えると、現在のオールラウンドなバランス感覚の良さの秘密が解き明かされるように思われる。

あらゆる組織体の中にあってこのようなバランス感覚の優れた人は、時の経過とともに、より大きな信頼をクライアントおよび組織内部からも寄せられていくだろう。

〔次号の登場者は宮田照久氏(昭和設計)〕

魅力あるすまいづくり（その1）

川村　真次

すまいづくりのステップ

これまでの公団住宅を顧みれば、公団を取り巻く社会情勢や需要者のニーズに対応して大きく変遷してきたと言えますが、とりわけすまいの調査研究から経営計画・設計・建設・管理・保全まで行うトータルオーガナイザーとしての提案とフィードバック、とくに居住者からのフィードバックの繰り返しといったことなどにもきめ細やかに対応することにより、より質のよいすまいへと変遷させてきました。

ここでは、まず公団住宅のすまいづくりが設計や生産の面でどう変遷してきたか、どう変遷しようとしているのかを簡単に紹介しながら、すまいづくりを論じることから始めましょう。

戦後のすまいづくりの歴史は、量の絶対不足の解消をめざした時期と、量がある程度充足し質の向上をめざした時期に大きく区分することができますが、設計や生産に関して力を注いだ技術開発について分けてみると**表－1**のようなステップに区分することができます。これらは、中身に多少の変化が生じているものの、現在のすまいづくりにとっても重要な事項であります。（今回はステップ1、2を紹介）

表－1　技術開発のステップ

第1ステップ	第2ステップ	第3ステップ	第4ステップ
標準化	工業化	多様化	オープン化
昭和30～	昭和40～	昭和47～	昭和54～

1　第1ステップは標準化から

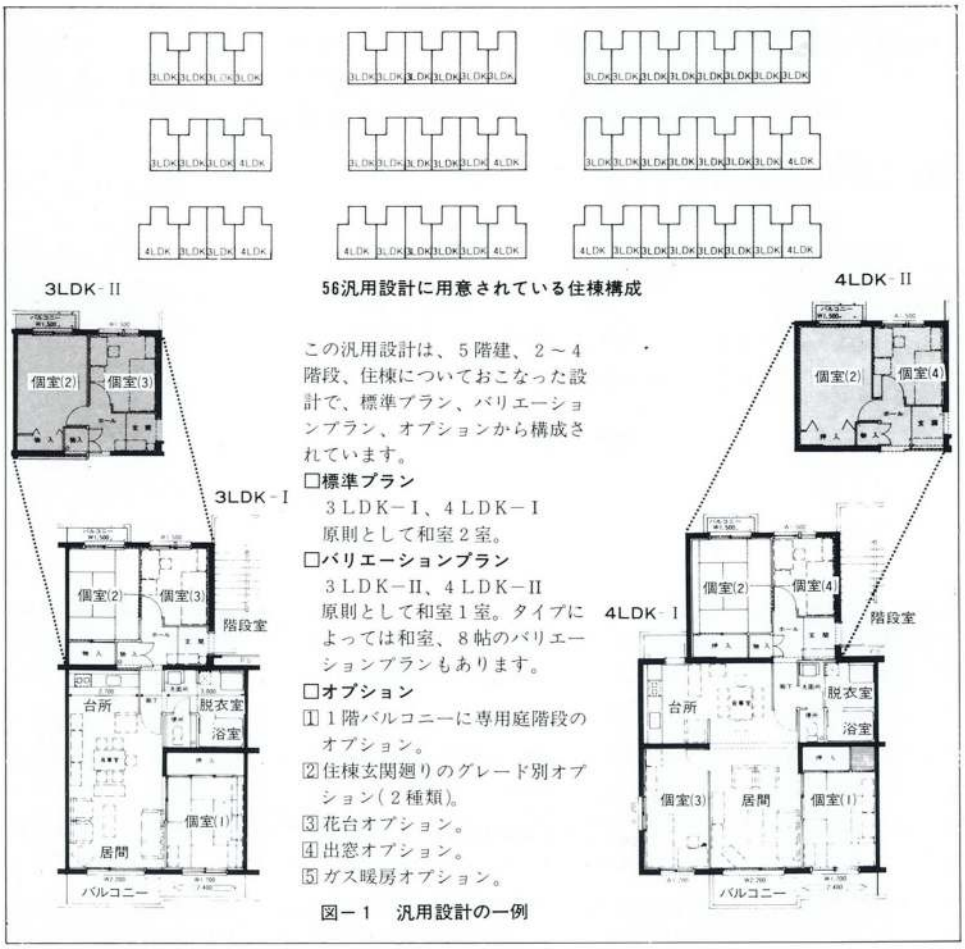
公団は立ち後れていた住宅建設の技術を補うこと、毎年数万戸の住宅を一定の質を確保しながら供給しなければならないことから、発足当初よりあらゆる標準化に力を注いできました。プランニングについては能率的で快適な家事空間や浴室、バルコニーをスタンダード仕様としたDK（ダイニングキッチン）タイプの食寝分離型や就寝分離型、L（リビングルーム）タイプの公私空間型などを各種の家族構成とからめて標準化し、○DK、○LDKで代表される新しいライフスタイルのプランパターンを暮らしの中に定着させてきました。またプランの標準化に伴い、内部構成材も公団独自に標準化し、部品についても洋風便器やステンレス流し台、防水パンなどを開発・採用してきましたが、標準化はこれら形の標準化のほか、生産や性能の標準化にも波及させ、工事の標準仕様、標準詳細設計、住宅の標準性能仕様なども作り、活用してきました。

標準化の意義としては

①大きな設計組織が大量に均質なすまいをつくるのに適している。
②供給するすまいの質レベルが設定でき、計画的な質の向上が図れる。
③設計の目標が明確になり、設計手法やすまいのつくり方が統一でき、設計各段階の作業の単純化・能率化が図れる。
④標準化されたものの反復使用によるフィードバックはすまいの質の改善を促し、標準化により建設されたすまいは質の信頼性が得られる。
⑤標準化されたものの活用により、浮いた時間を新たな開発に投入できる。

などがあげられます。しかしこの標準化に頼りすぎると、設計の停滞やすまいの画一化が進むことになります。

公団のすまいづくりの歴史をふり返ってみても、標準設計（居住



この汎用設計は、5階建、2～4階段、住棟についておこなった設計で、標準プラン、バリエーションプラン、オプションから構成されています。

□標準プラン
3LDK－I、4LDK－I
原則として和室2室。

□バリエーションプラン
3LDK－II、4LDK－II
原則として和室1室。タイプによっては和室、8帖のバリエーションプランもあります。

□オプション
1 1階バルコニーに専用庭階段のオプション。
2 住棟玄関廻りのグレード別オプション（2種類）。
3 花台オプション。
4 出窓オプション。
5 ガス暖房オプション。

図－1　汎用設計の一例

住宅・都市整備公団協力業者（PR）

大木建設株式会社
代表取締役社長　徳永　隆信
大阪支店長　渡邊　昭典
本　社　東京都千代田区神田須田町1丁目23番2号　電話03－255－4111（大代表）
大阪支店　大阪市西区南堀江2丁目12番10号　電話06－538－3071（代）

総合建設業
大都工業株式会社 大阪支店
常務取締役支店長　泉　資一郎
〒530 大阪市北区茶屋町6番23号（松柏ビル）　電話06－372－3671

対象世帯をある程度グルーピングした上、標準解として比較的幅広い普遍性を有する標準的な型のすまいをあらかじめ設計したもの）を建設地の条件に応じて選び、標準設計で対応できないものについてのみ特殊設計する手法を採用していた時期の団地は、住宅量の絶対不足を解消することや、均一で良好な質の住宅を大量供給するという面では成果があったものの、画一的で固定的なイメージを印象づけており、今では反省材料となっています。

近年は、すまいに対するニーズはますます高度化・多様化しており、画一化の払拭はもちろん、より質の良いすまいが求められています。それには標準化の意義で示したメリットを有し、かつ多様なニーズに対応するすまいの設計や生産方法の提案が必要となっています。

標準化から汎用化へ

現在、公団では、多様化に対応する設計手法の一つとして、従来の標準設計に代わる汎用設計を活用しています（**図－1**）。この汎用設計は、標準タイプのプランのほかに間取りのバリエーションや各種のオプションが用意されており、立地や建設計画条件に合わせて選択できるようになっています。またこの設計は過去の標準設計のように手直し禁止ではなく、立地や居住者のニーズに合わせてデザインや住戸プラン、住宅性能を変えて使用することができ、プランバリエーションで対応できない場合は汎用設計を参考にし、一定の住宅性能を確保しながら、よりニーズに対応したより良いプランを新たに設計するのに役立てるなど幅広く使用しています。

この方法により、若干設計や建設・管理などの作業が複雑化することになりますが、多様なニーズに対応した一定水準以上のすまいを、間違いなく供給することができます。謂わば、標準設計の汎用化利用とでも言うべきものです。標準化をベースにしながら多様化に対応する、これがこれからの設計手法であります。

2　工業化のステップ

第２ステップは、すまいを工場で生産し、現場に運搬・組み立てでつくる建築生産の合理化のステップを言います。

公団は住宅建設に携わる建設技能労働者不足などの傾向が年々顕著になっていくこと、また大量の住宅建設を必要としたことなどの社会情勢を踏まえて、当初から軀体精度の向上、施工の省力化など、住宅生産の合理化に取り組んできましたが、そのエポックは、なんといっても昭和40年に公団独自のＰＣ部材製造工場を建設し、作草部団地においてＰＣ工法による中層工業化住宅の大量建設に踏み切ったことであります。これより以降、構造軀体をコンクリートパネルとして工場で生産・現場に運搬、組み立てる中層５階建ＰＣ工法が一般化、工業化の技術は高層工業化工法にも発展、11階から14階建に適用するＨ－ＰＣ法、８階建に適用する８－ＰＣ工法などを開発、ほとんどのすまいの構造体を工業化することを可能にしました。一方、軀体の工業化に伴い、内部構成材である内装ユニットパネル、建具、浴室ユニット、洗面ユニット、設備機器などほとんどを工業化し、すまい全体を工業化部品でつくる本格的工業化住宅が大量に建設できるようになりました。

しかしながら、昭和48年頃までのコンクリートパネルや内装部品は、公団住宅用の標準設計に使用する規格部品であったため、多数のメーカーが、限られた公団というマーケットのクローズ部品を生産したことからメーカー間の自由競争とか、新商品開発の意欲を失わせ、結果的には同一規格部品を使ったすまいの大量建設につながり、それは第１ステップの標準設計住宅と同様「固定化された画一的住宅」というイメージを印象づけたと言えます。

しかしながら工業化も、

①品質の向上や安定化が図れる。
②技術労働者の省力化が図れ、建設労働者も工場において安定して仕事に従事できるなど労務向上が図れる。
③産業としての近代化が図れる。
④建設公害が在来工法に比べ少ない。
⑤工期の短縮、計画的管理ができる。

など国策として育成するメリットもあり、将来に渡ってどう発展・誘導させていくかが課題であります。

少品種大量生産から多品種少量生産へ……市販商品の活用

●民間開発工業化住宅の採用

工業化工法については低・中・高層それぞれについて民間の技術力も向上し、メーカーが独自に開発した民需にも対応した工業化住宅を保有するようになった現在、これらの工業化住宅の中から、公団の要求する規模・性能・デザイン・価格に合致するすまいを選び、公団住宅として建設する方式を採用することにより、工業化工法であっても、多品種のものを少量ずつ供給しながら、多様なニーズに対応する体制がとれるようになってきました。市販の建設大臣認定工業化住宅の戸建住宅、低・中層のＰＣ住宅、高層のＨ－ＰＣ住宅など各種のすまいがそれで、メーカーの工法によっては、公団の要求するすまいづくりに対応するために、従来の工業化工法では見られないかなり自由な展開も可能になっています（**写真－１、２**）。



写真－１
リバーサイドさぎすで採用したＨ－ＰＣ工法



写真－２
高層住宅がＨ－ＰＣ工法で、中層住宅が在来工法。工業化工法でも外部デザインはかなり自由に対処できる

●市販部品の採用

また部品の採用についても、公団が設計したクローズな規格部品を大量に採用するのではなく、性能・価格・デザインの異なった優良住宅部品（ＢＬ部品）などのオープン部品が多く開発されており、部品メーカーの独自性を生かした多品種の個性的な住宅部品が選べるようになっています。したがって現在では工業化工法であっても、従来の画一的な公団住宅のイメージを一新させるほどの、多種多様なすまいがつくられるようになっています。

（つづく）

建設大臣許可　土木・建築工事業
富國建設株式会社
代表取締役　藤本邦彦
本　社　大阪市北区神山町１番３号（新扇町ビル２階）
電話06－313－4591（代表）

――豊かな未来をつくる――
株式会社 福田組 大阪支店
常務取締役支店長　小菅曽登雄
大阪支店　大阪市浪速区中３－６－３（ヤマト卓球ビル）　電話06－649－2031㈹
本　社　新潟市一番堀通町３－10　電話0252－66－9111（大代）



けんちくの眼

荒木兵一郎
関西大学工学部教授

森内盛一郎
住宅・都市整備公団関西支社
都市再開発部長

瀧光夫
瀧光夫都市・建築設計事務所主宰

藤縄正俊
大林組本店建築設計第二部次長

正月号から6月号まで上記の4氏が担当

高齢化社会を迎えて——終の住処

最近、大阪と神戸で約千人の人たちに「あなたはどこを終の住処にしたいですか」と尋ねた。老若男女を問わず８割以上の人たちが、「我が家にきまっているではないか」と答える。たしかに昔から「畳の上で家族にみとられて」がみんなの願望であり、多くの人たちはその願望をかなえることができていた。しかし厚生省人口動態調査（「厚生の指標」昭和59年10月号所載）によると、昭和50年以降は自宅よりは病院で死亡する人の方が多くなり、現在では約３割の人しか自宅で死亡できないという。それも80歳以上に生き伸びれば、病院から治療の見込みがないからと追い出され、やっと自宅で死亡できる人が過半数となるのだそうである。将来はどのようになるのか分らないが、みんなが自宅を終の住処としたければ、それができるような環境づくりが必要となる。自宅は寝たきりとなっても自立生活のしやすい車いす住宅や周りの人たちが介護しやすいケアつき住宅に改造し、地域にも寝たきりの人を世話する家族の苦労を柔らげられるディケアセンターや短期療養施設、さらには徒歩で通院できる病院や医院などを整備するとともに、まさかのときには隣近所の人たちまでもが応援にかけつけてくれるような親密な関係を、平常から培っておくことが重要である。（H．A）

習慣

１月、２月は屠蘇、雑煮、七草粥、豆まきなど、昔からの習慣による行事が並んでいる。節分は春の始めに家を訪れて祝福を与えてくれる神を迎えて祭るために、はらいをする習慣からきたものだそうで、一般に行なわれているのは鬼打ち、豆まきだが、柊の枝に鰯の頭を刺したものを戸口に立てるところもあるときく。同じ年中行事でも各地各様の特色があるものだ。正月の雑煮も関西は味噌雑煮が多いが、全国的には各地各様の雑煮があるらしい。私は大阪の商家育ちで、子供の時は雑煮は日本全国、味噌の雑煮と思っていた。勤めだして各地の習慣をきき、白味噌雑煮は関西の一部の地方のみと知って不明を感じたものである。

仕事の上でも、これに似たことがある。ひとつのことを行うのに、つい在来の習慣にならってその方法しかないと思いこんでしまう。一歩退って考えると、目的は同じでも、いろいろなやり方があるものだが、ともすれば、あまり考えず在来の延長線上の考え方になりがちだ。問題解決に必要なのは、ひとつの結果にひとつの解決という単純な考え方でなく、あらゆる方向から見なおし検討する考え方ではないだろうか。忙しさにまぎれ、手なれた習慣に走りがちな平常を考えてみたい。（S．M）

言葉

たまに仕事が雑誌に紹介される。うれしいことだが、短い解説文をつけるのに意外と苦労する。立地や計画の主旨はともかく、自分でつくった空間を文章で記述するのはムツかしい。ソコをくぐると向うにパッと視界がひらけるが、じつはソノ横にはなにがあって、これを逆から見かえると……と身ぶり手ぶりよろしき書きぶりになる。それぞれの場所や素材に、思い入れや工夫・しかけ、その成否などがまつわりついているから、ついくどくなり紙数がつきる。

設計の意図などズバリ述べればいいようなものだが、一言でいい表わしにくいところをネラってつくっているのだからそうもいかない。あいにくと古今の名言、なまかじりの哲学用語をふりまわす趣味もない。画家・彫刻家・作曲家・小説家、およそ創作にたずさわる人は、自作を説明したりはしない。それができるものなら、絵や詩や音楽で表現する必要はないわけだ。しかしどういうわけか私たちの仕事は「写真」に撮られて「文」がつかなければ「作品」にはならない。建物が、他の作品のように動かせない性質のものだから、だろうか。（M．T）

見透かしの自然風景

急激に変貌する街の景観の中で、山並み・台地・河川といった自然の風景だけは、辛うじて昔の面影を止めて各都市の特徴を持続させている。建造物で埋め尽くされた都心の隙間からそういった自然風景を見透かせたとき、心の安らぎを覚えることがよくある。

巨大都市東京に比べて、自然地形を身近かに感じられる関西の諸都市は、極めて恵まれた環境の中にあるといえよう。かつて、大阪では生駒山系を始めとして、上町台地・淀川を、街の何処からでも見通すことができ、街の位置や方向を示唆するシンボルの役割も果たしてきた。高層建築化が進むにつれ、大阪の街からこれらの拠り所となる風景が一つ一つ埋没し、街の骨格が不明瞭になり、親しさや安らぎを喪失し始めている。

建物の配置や構成に工夫をこらし、かけ替えのない自然風景を見透かせるようにと心がけることも、街づくりに欠かせない姿勢だと考えている。（M．F）

構造物実験用・風洞実験用動的データ処理装置

昭和59年度施設整備事業に基づく構造物実験用・風洞実験用動的データ処理装置として、ビデオカセット式データ・レコーダＸＲ－510（ティアック社製）およびデジタル・スペクトラム・アナライザＴＲ－9404（タケダ理研工業社製）〔外観を写真－１に示す〕を導入致しましたので、その概要をご紹介します。

本処理装置は、主に本誌1984年３月号で既にご紹介しました既存の動的加力実験装置（20tf油圧サーボパルサ）および風洞実験装置等と併用したり、現場測定時に使用して、変位、速度、加速度、ひずみ、風速、風圧、風力等の動的データの収録・処理機能の充実・強化を図る目的で導入されました。

本処理システムのうちデータ・レコーダＸＲ－510は、14チャンネルのビデオカセット式のデータ・レコーダで、実験中又は現場測定中に検出されたデータをアナログ信号として記録し、実験・実測後、データの整理や解析を行なうのに有用です。また、本器は、パーソナル・コンピュータと連動させて、データの収録・再生の自動化・省力化を図ることができます。本器の主な仕様を表－１に示します。

スペクトラム・アナライザＴＲ9404は、２チャンネル同時にデータを処理することができます。本器は、計測されたアナログ信号をデジタル化し、時間領域での処理ができるほか、時間領域で取られた信号を確率統計的に処理し、周波数領域あるいは振幅領域に置きかえて信号のもつ諸性質をさらに詳しく知ることができます。本器もデータ・レコーダ同様パーソナル・コンピュータと連動させることができ、処理の自動化・省力化が図れます。その機能と主な仕様を表－２に示します。

これらの装置を用いることにより、今後、動的挙動に対するデータ整理の迅速化が図れるとともに、計測データについてさまざまな角度からの検討が行なえるものと考えます。

詳細については、当試験所機関誌「ＧＢＲＣ」37号をご覧いただきたい。

（構造物試験室主査　井上隆二）

表-1 TX-510の仕様

記録・再生方式	FM（広帯域G-I）
テープ	EIAJ規格　磁気録画用VHSカセットテープ T-120　248m長　12.7mm(1/2in.)幅
チャネル数	14＋1メモアナウンス 13ch：データ/メモアナウンス/ID情報の切換 14ch：データ/ノイズ補償/テープサーボの切換 15ch：メモアナウンス専用
コントロール	トランスポートコントロール：押ボタンスイッチ （REV、FAST、FWD、STOP、REC、PROGRAM） サーチコントロール（IDナンバー、テープカウンタナンバー） パーソナルコンピューターからのコントロール （GP-IB）
テープ速度偏差	±0.2%以下
フラッタ (IRIG118-73に準ず)	38.1 cm/s　0.25%p-p（0.2～2,500Hz） 19.05cm/s　0.30%p-p（0.2～1,250Hz） 9.52cm/s　0.45%p-p（0.2～　625Gz） 4.76cm/s　0.55%p-p（0.2～　313Hz） 2.38cm/s　0.65%p-p（0.2～　156Hz） 1.19cm/s　1.0 %p-p（0.2～　78Hz）
入力	インピーダンス：１MΩ不平衡 電圧：±0.1、0.2、0.5、1、2、5、10Vp 7段階　FINEボリュームによる微調整可能 AUTO RANGE設定：±0.2～10Vp MANUAL RANGE設定：±0.1～20Vp（FINE併用）
出力	電圧：±１～５Vp（100kΩ負荷） ボリュームにより可変 電流：10mA以上（20kΩ負荷）

テープ速度、周波数特性、SN比、記録・再生時間（248m長テープにて）

テープ速度 (cm/s)	周波数特性 $\left(^{+0.5}_{-1.0}\text{dB}\right)$	SN比 (rms)	記録・再生時間
38.1	DC～10,000Hz	50dB	約11分
19.05	DC～ 5,000Hz	50dB	約22分
9.52	DC～ 2,500Hz	48dB	約43分
4.76	DC～ 1,250Hz	47dB	約１時間27分
2.38	DC～　625Hz	46dB	約２時間53分
1.19	DC～　313Hz	42dB	約５時間47分

歪率	１%以下（高調波歪率）
クロストーク	各チャンネル間ノイズレベル以下
直線性	±0.5%以下
ドリフト	±0.5%以下（ヒートラン20分後）
校正電圧	DC：±100%、０%　AC：100% AUTO CAL可能
周囲温度・湿度条件	０～40℃、20～80%
電源	AC90～130V　DC11～15V （AC/DCはバック交換）
外形寸法、重量	約420W×365H×260D(mm)、約22kg

写真－１

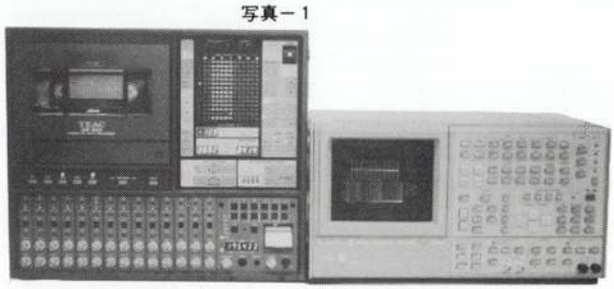


表-2 RX-4094の機能および仕様

測定機能	１．時間領域データ ２．時間領域平均化データ ３．リアルタイム・スペクトラム ４．パワー・スペクトラム ５．クロス・スペクトラム ６．伝達関数 ７．伝達特性 ８．コヒーレンス関数 ９．コヒーレント・アウトプット・パワー 10．インパルス・レスポンス 11．振幅確率密度関数 12．自己相関関数 13．相互相関関数 14．オクターブ分析
入力特性	入力チャンネル数：２ 入力形式：差動入力形式、シングルエンデッド形式 入力インピーダンス：１MΩ 入力結合：AC、DC、GND 入力レンジ：±1.41mV～44.7V　フルスケール 最大差動入力電圧(耐圧)：±100Vp-p
解析特性	周波数レンジ：1,2,5,10,20,50,100,200,500,1K,2K,5K,10K,20K,50K,100KHzの16レンジ リアルタイム解析レンジ：１KHzレンジ サンプリング・データ数：最大64Kデータ 分解能：時間領域データ　最大2048ポイント 周波数領域データ　最大 800ポイント 振幅領域データ　256ポイント データのサンプリング：設定した周波数レンジの2.56倍のサンプリング周波数で12ビットのA/D変換器によって、データをとり込む ウェイティング：方形波、ハニング、ミニマム、およびフラット・パス
表示機能	時間領域データ：入力波形、時間領域同期平均化波形、オービット表示、自己相関関数、相互相関関数、インパルス・レスポンス 周波数領域データ：リアルタイム・スペクトラム、平均化スペクトラム、ズーミング・スペクトラム、利得、位相／ボード線図またはナイキスト線図、実数部、虚数部、コヒーレンス関数 振幅領域データ：ヒストグラム
その他の機能	トリガ機能 アベレージング機能 自動ピーク・サーチ機能 ３次元表示機能 演算機能

本試験所●所在地……〒565 吹田市藤白台５－８－１（阪急北千里駅より北西約１km、国立循環器病センター西隣）
●電　話……(06) 872－0391(代)
●営業時間　平日：午前９時～午後５時、土曜日：午前９時～正午

東邦ガス

住まいの新築・増改築をご計画の方に

暮らしにうるおいつくりましょう

ペアライフIII



いつでも、あったかいね。



給湯からお風呂の追いだき、さらに暖房機能も組込みました

●《3缶3水式》とは……

給湯用のお湯と暖房用のお湯、さらにはお風呂まで、それぞれ専用の熱交換器でつくるしくみです。そのため、給湯・暖房・お風呂を同時に使用しても能力は低下することがなく安心してご利用いただけます。

●使いやすいお湯

給湯能力は13号。比例制御方式ですから湯温調節も簡単で、お湯もたっぷり使えます。フロリモコンでお風呂からも湯温コントロールができますのでシャワーが楽にできます。

●安全で使いやすいシステムの一例です。

1台3役!! 給湯付風呂がまに、温水暖房器をドッキング。

ペアライフIIIは給湯付風呂がまに、温水暖房器をドッキングした3缶3水式熱源器FT-204RFAを中心とした給湯・風呂追焚・暖房システムです。



●清潔・安心な快適暖房

約80℃の温水を利用した温水暖房ですから、清潔・安心です。また放熱器からの温風によって暖房しますから室温のムラがなく快適です。小さなお子さまやお年寄りのいらっしゃるご家庭にも最適です。

●省エネの工夫

給湯も暖房も負荷に応じて自動的にガス量を調節する省エネ設計です。

●ひろがる用途

温水暖房は床暖房をはじめ、暖冷房、温水サウナ、衣類乾燥などいろいろな用途にも利用できます。

●いつまでも安心

無償保証期間もBL部品ですから2年という長期。アフターサービスも万全です。

●お手頃価格

2室暖房(放熱器2台)、給湯・風呂追焚機能付でわずか43万円というお求めやすい価格です。

ペアライフのお求めには、
便利なクレジットもご利用いただけます。

東邦ガス
合同ガス・岐阜ガス・岡崎ガス

ペアライフのご相談は、最寄りの営業所・サービスショップへお問合せください。

東邦ガスサカエサービス・ステーションの増改築相談コーナーをご利用ください。

東邦ガスサカエサービス・ステーションでは、台所・浴室・洗面所の増改築相談コーナーを設置。併せて、システムキッチンの各種製品を展示しています。とくに、毎月第1・第3日曜日(AM10:00～PM4:00)には、建築の専門家がご相談に応じます。お気軽にご来場ください。

★東邦ガスサカエサービス・ステーションのご案内 営業時間／AM9:00～PM6:30(日曜日はAM10:00～PM6:00)祝日休み

特集　東海の現在と近未来

作品作風

- 名古屋国際センタービル
- 恵那文化センター
- 名古屋共済会館三の丸会館
- 江南地域文化広場
- 伊勢シティプラザ
- 瑞浪市総合文化センター
- 名古屋合同庁舎第3号館
- 知多市民病院
- サカエ東栄ビル

スケッチブック

最近竣工した東海地方の作品18点



座談会1

東海の現在と近未来

出席者：足立省三／佐々波秀彦／後藤侃／越智福夫／中島一

座談会2

愛知県・名古屋市の景観整備

出席者：石川桂一／井上昭彦／桜井大吾／中島一／高橋大善

建築地場産業ルポ

1．高浜(三州瓦) 2．常滑(常滑焼) 3．瀬戸(やきもの) 4．岐阜赤坂(大理石)

本特集企画：日本建築協会東海支部
特別編集委員会

委員長：中島一　委員：宮崎辰敬／一圓俊郎／盛田輝勇／太田信二／手塚二郎／高橋大善／長谷部利夫／森征一／小川利光／町田哲／広田外雄／桝林宏二／畑中啓助／広瀬敏郎／林金之／森口雅文(順不同・敬称略)

写真：名古屋港ポートビル　設計：村瀬卯市　撮影：田中昌彦


コーミソース

名古屋国際センタービル

設計監理　名古屋市計画局泥江再開発事務所
　　日建設計・名古屋
施　　工　清水・大成建設共同企業体

名古屋国際センタービルは、名古屋都市計画泥江市街地再開発事業の施設建築物として建設されたもので、後日竣工オープンされた別棟多目的ホールと一体となるものである。土地の合理的な高度利用と、都市機能の更新を図ることを目的とした再開発事業の特長を最大限に発揮した当事業の最後をかざる建物である。

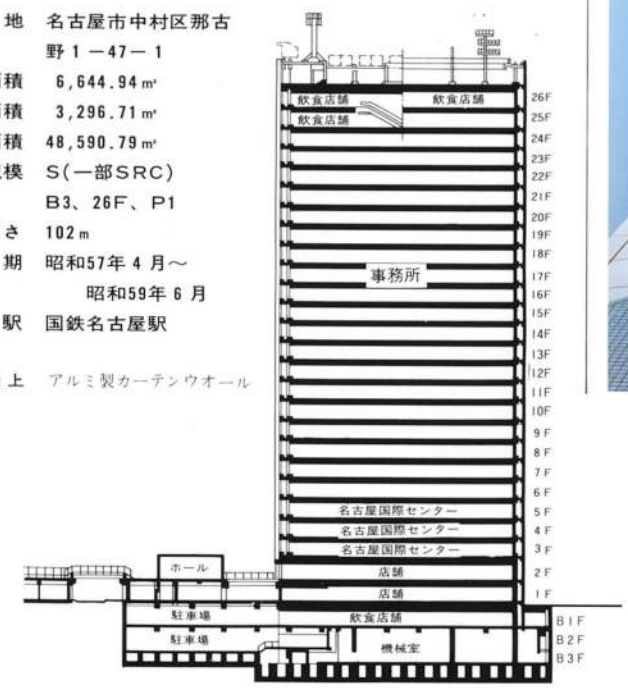
当建物は総合設計制度を活用し計画され、当街区のみならず周辺街区を含めた都市環境の向上を図っている。同事業によって拡幅整備された都市計画道路江川線に沿って多面体形状の高層棟を配置し、周辺地域へのほぼ住宅地並みの日照条件の確保、周辺への風害及びテレビの遠方反射障害への影響をできる限り少くするなど、周辺環境への配慮を特に行っている。

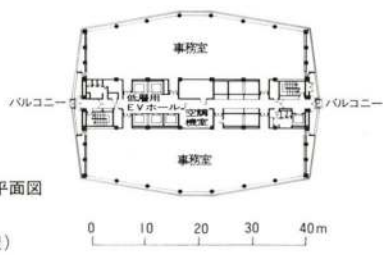
基準階は南北両端において外気に接したバルコニーを結ぶ避難径路となる廊下の両側に、約500㎡の事務室を配置したリニアコア型式としているが○形の特徴ある均一のとれた平面形は、構造・設備・防災面でも有利な、フレキシビリティある事務室空間となっている。

当ビルには、名古屋市の国際化施策の拠点として位置づけされている名古屋国際センターを始め、国際連合地域開発センター、アメリカンセンターなどの公共公益施設が入居し、ビル名も国際センタービルとモダンなイメージとしたことで、供給過剰と言われる貸ビル業界の中で、ビルオープン時には全館満杯の状態でスタートしている。

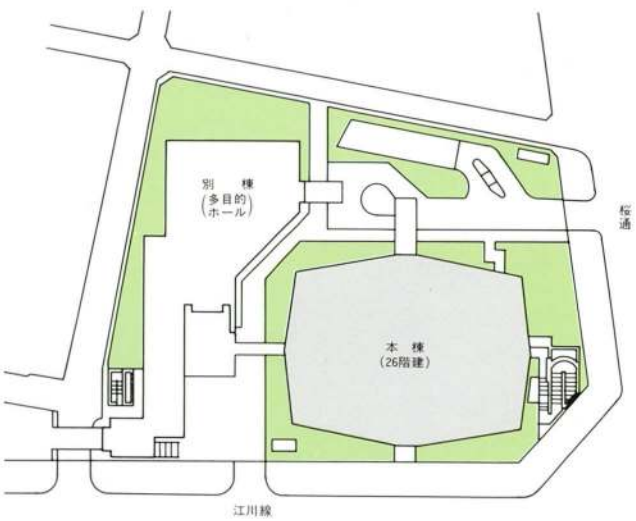
（川瀬友造／日建設計・名古屋）

所在地	名古屋市中村区那古野１－47－１
敷地面積	6,644.94㎡
建築面積	3,296.71㎡
延床面積	48,590.79㎡
構造規模	S（一部SRC） B3、26F、P1
最高高さ	102m
工　　期	昭和57年４月～ 昭和59年６月
最寄駅	国鉄名古屋駅
外装仕上	アルミ製カーテンウオール





基準階平面図



撮影　湯川盛昭（SS名古屋）



西正面見上げ



地下鉄出口より南面見上げ

恵那文化センター

設計監理　岡設計名古屋支店
施　　工　日本国土開発名古屋支店

恵那文化センターは、緑豊かな自然環境と調和し、歴史と伝統を踏まえた恵那市のこれからの地方の時代を拓く、文化活動の中心施設として、又、市民にとって親しみやすく、利用しやすい真の市民生活に根ざしたものとして計画された。
当文化センターは、文化会館・中央公民館・図書館という三つの機能をもった複合施設であり、各各の機能を満足するだけでなく、相互に有効利用ができるよう複合施設のメリットが最大限に生かされることと、これらの施設の中心に位置している広場が、この施設の「核」として、市民の多種多様な活動・集会・催しの場として、又屋外のホールとして大いに活用され、常に時代の動きに歩調を合わせた先端の文化をはぐくむ施設であることを念じて計画した。
又、この建物は、多数の市民が利用する大ホール・集会室等があり、安全性の高い建物、わかりやすく使いやすい平面計画、維持管理しやすい設備計画などを考慮した施設とした。

（田辺健一・森辰治／岡設計）



大ホール



ホワイエ



所 在 地　岐阜県恵那市長島町中野441－1
敷地面積　12,000.00㎡
建築面積　4,517.81㎡
延床面積　6,103.35㎡
構造規模　ＲＣ(一部ＳＲＣ)、３Ｆ
工　　期　昭和57年11月～昭和59年３月
最 寄 駅　国鉄中央線恵那駅

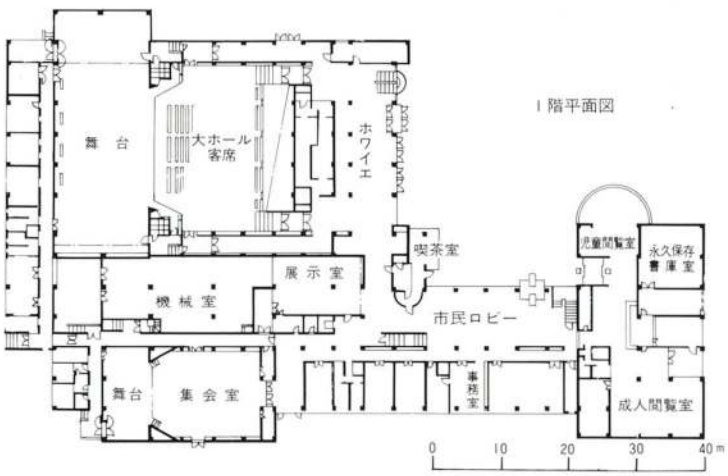
外装仕上　磁器質２丁掛タイル

給排水衛生　三機工業
電　　気　八千代電設工業

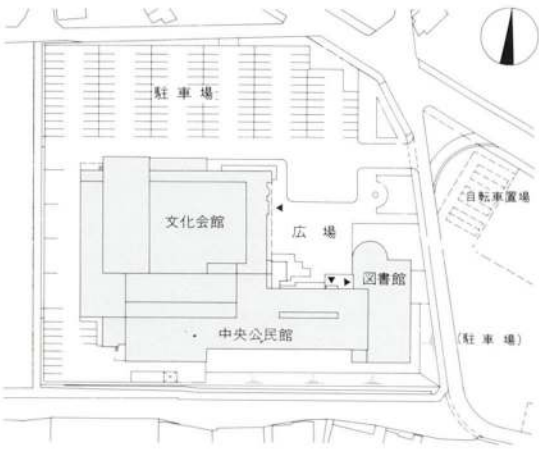
撮影　田中昌彦


恵那文化センター

全　景


舞　台
大ホール
客席
ホワイエ
喫茶室
児童閲覧室
永久保存
書庫室
展示室
機械室
市民ロビー
舞台
集会室
事務室
成人閲覧室
0
10
20
30
40m

1階平面図


駐車場
自転車置場
文化会館
広　場
図書館
中央公民館
(駐車場)

名古屋共済会館(三の丸会館)

設計監理　伊藤建築設計事務所
施　　工　佐藤工業名古屋支店



南西外観と名古屋城



1階エントランスホール

所 在 地　名古屋市中区三の丸1丁目
敷地面積　4,998.08㎡
建築面積　1,258.29㎡
延床面積　10,397.46㎡
構造規模　SRC、B1、10F
工　　期　昭和58年3月～昭和59年9月
最 寄 駅　地下鉄丸の内駅

国家公務員等共済組合連合会の施設の一つとして、当会館は、組合及び一般の人々のための宿泊・会議・結婚式の用に供されるもので、都市ホテルと同等の機能をもつ建物である。

敷地は、名城郭内地区の一画を占め、官公庁等の公共施設が整備されている地域で、壁面後退・緑化等の環境景観に対する特別の規制が図られている。三方が広い道路に囲まれ、北側道路の向こうには名城公園と名古屋城天主閣を望める景観に恵まれた位置にある。

従来この敷地にあった建物も、共済会館として永く使われてきたが、老朽化が進み新しいニーズにも対応が難しくなっていたので、これを解体撤去して新会館が建設された。

会館への来客動線は、周辺道路の交通状況からみて東側道路からのアプローチが最適と考えられた。西側道路にも在来の乗り入れ口を活かして会館へのサービス出入口や職員通用口とすると共に、構内通路によって東西両口の連絡を図っている。駐車場は建物周辺の屋外地上面に設定し、芝の保護材を用いて駐車スペースの緑化も考えた。周辺の樹木は既存のものを極力残して修景を行った。

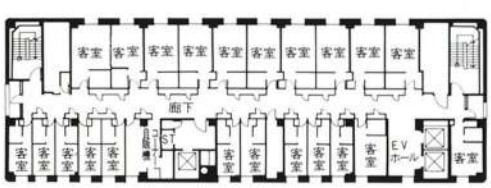
建家は、用途を大別して、階層によって次のようなゾーニングをしている。低層部（1階～4階）はパブリックな施設として、ロビー・レストラン・会議・結婚式場とその関連施設などを設けている。高層部（5階～9階）は客室に充てている。

建物の外観は、特殊タイル打込みPC版の壁面と機能的に設けられた彫りの深い窓の開口部とで構成し、マッシブな造形としている。縞紋様に貼り分けたタイルの色彩も、この建物の用途とこの地域の環境に留意して選ばれた。

（高木淳一郎・岡田満弘／伊藤建築設計事務所）
（作業所長　鈴木康右／佐藤工業）



1階平面図　0　5　10　15m



基準階平面図



外装仕上　屋根　陸屋根、アスファルト防水、コンクリート金鏝押　　外壁　タイル打込PC版

南東正面外観

撮影　加藤敏明(SS名古屋)

江南地域文化広場

基本設計　黒川建築事務所
実施設計監理　江南市建築課・黒川建築事務所(市事業)　愛知県営繕課・大崎設計(県事業)
施工　清水建設・昭和土建共同企業体(市事業)　清水建設(県事業)

所在地　愛知県江南市北野町川石25－1
敷地面積　26,082.310㎡
建築面積　6,768.726㎡
延床面積　9,742.967㎡
構造規模　SRC 3F
工期　昭和58年4月～昭和59年8月
最寄駅　名鉄犬山線江南駅

外装仕上　50二丁平タイル(特殊ラスタータイル貼)



ホール玄関前



大ホール



小ホール

撮影　水野励治(ＳＳ名古屋)

この施設は、濃尾平野の北部に位置する江南市が、市制30周年記念事業として、愛知県と共同して整備した「地域文化広場」と呼ばれるもので、市事業施設部分と県事業施設部分とからなる。前者には大ホール(1400席)、展示室、大中小の会議室、練習室、管理事務室、レストラン、歴史民俗資料館が、後者には小ホール（427席)、音楽室、美術工芸室、和室及びはなのき広場等の機能が要求された。

平面構成としては、上記の諸機能をそれぞれの独立性により、大ホール、小ホール、公民館的機能を有する部分（大小ホール以外を総括して）の３つのブロックに大別し、これらをエントランスロビーの大きな吹き抜け空間を中心にして展開している。

敷地は26,000㎡余りと十分の広さがあり、北側は中央公園に、東側は江南高校に接しており、開かれた視野が確保されていた。このめぐまれた環境を生かして、外部空間を公園の緑と一体化し、更に建物の前面広場との連続感を出すように努めた。

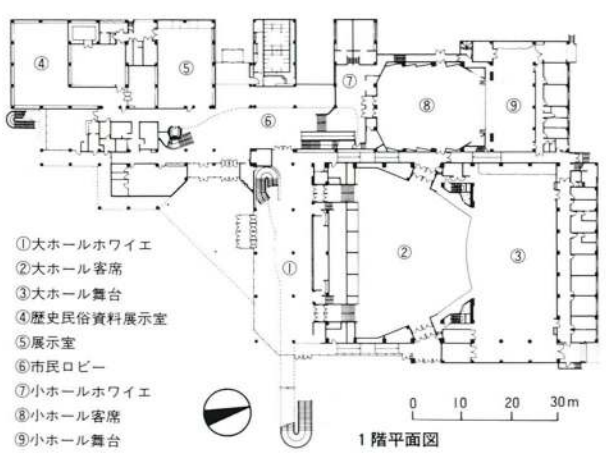
この広場は、敷地のほぼ中央部に位置し、前面道路からの並木のある長いメインアプローチ及び北側の中央公園と一体化した建物東側の緑地帯にそったアプローチに継がり、はなのき広場と連続して屋外の各種催物広場としても利用できるような計画となっている。

外壁に使用されたラスター仕様の磁器モザイクタイルにはメタリックな光沢があり、鏡面効果を有する。巨大な外壁面をスクリーンに見たてて、天候、時間、視点の変化にともなって発する光と色を微妙に反映させて、マッシブな形状からくる圧迫感をやわらげると共に、タイルの地の色も明るいサンドベージュを選び一層軽快で親しみやすい感じを高めるように心がけた。

多目的ホールとしての音響計画は特に慎重を要するところである。室内音響性能についてはコンサートホールとしても十分機能するように、室形、内装などを考慮したのは勿論であるが、完成後の測定結果によれば、残響時間は500Hz、空席時1.8秒、満席時1.6秒（推定）程度であり、設計目標値にほぼ一致している。多目的ホールとしては、ややコンサートホールよりになっていると思われる。

（森　鉦一／黒川建築事務所）

市事業	管	須賀工業・杉本工業JV
	空調	新菱冷熱工業
	電気	八千代電設・酒井電気JV
	舞台機構	三精輸送機
	外構	林本建設
	汚水処理	東武産業
	舞台音響	松下電器産業
	造園	尾関造園土木
県事業	管	須賀工業
	空調	新菱冷熱工業
	電気	八千代電設・酒井電気JV
	環境整備	清水建設



1階平面図



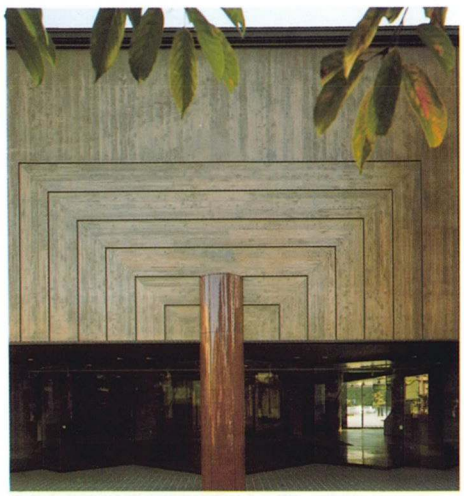




上・上空南側より　中・南東外観夕景　下・大ホールホワイエ

伊勢の外宮の正面、伊勢市役所のならびの用地の一角に、霊友会が会員の集いの場をつくり、残りに市が希望する300ホール、集会場、ギャラリー、レストラン、パールショップ等を建設して、市に寄贈したのが「伊勢シティ・プラザ」である。

できあがったとき、以前からずっとそこにあったような、そんなたたずまいの環境をつくりたい、というところから出発した。そのためにはまず敷地にもとからあったりっぱな樹々を活かすこと――広場入口の大ケヤキも、伐るにしのびず移してみた――活着を祈るばかりである。伐った雑木は広場のベンチに甦っている。これらの樹々と外宮の濃い緑を、ミラーガラスが映しだす。ところを変え、向きを変え、多様に映し込む。同時に建物のボリュームも消去される。



外壁は、コンクリートの打放し面に水彩画のタッチで飴色をしみ込ませ、建設に携わった各職の手仕事のあとを残している。

平面形は、正方形を原型として展開しており、屋根も単純な方形（ほうぎょう）になっている。棟の四隅をはね上げたのは、神宮の棟持柱の連想である。棟持柱は棟木を支える柱だが、ここでは柱にひそむ上向きの力が、勢いで屋根をはね上げた、というかっこうになっている。はね上げは排煙口でもある。

霊友会館の法座室には、4つの天窓と排煙口があるが、屋根は普通の勾配屋根に見える。見えないところに技術者の知恵が集められている。

（澁谷盛和／一樹設計企画）

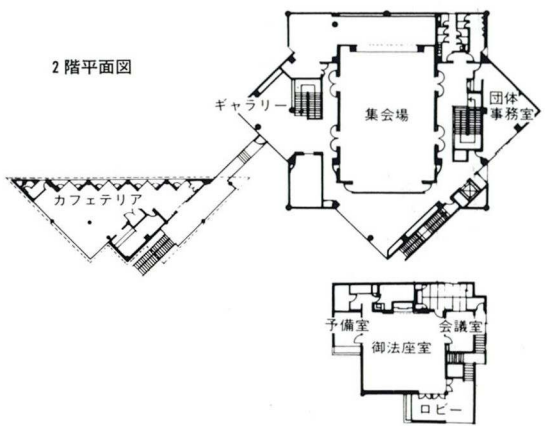


上空南西側より広場と全景を見る

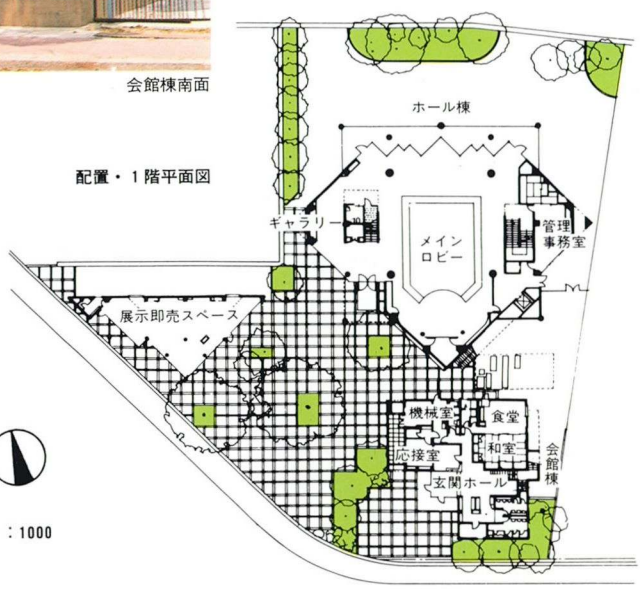


会館棟南面

2階平面図



配置・1階平面図



1：1000

伊勢シティプラザ・霊友会館伊勢

設計監理　一樹（かずき）設計企画

施　　工　竹中工務店名古屋支店

所 在 地　三重県伊勢市岩淵１－２－29
敷地面積　3,208㎡
建築面積　1,260㎡
延床面積　2,526㎡
構造規模　SRC、RC、S　B1、2F
工　　期　昭和58年４月～昭和59年３月
最 寄 駅　近鉄宇治山田駅



ホール棟ファサード

撮影　門馬金昭

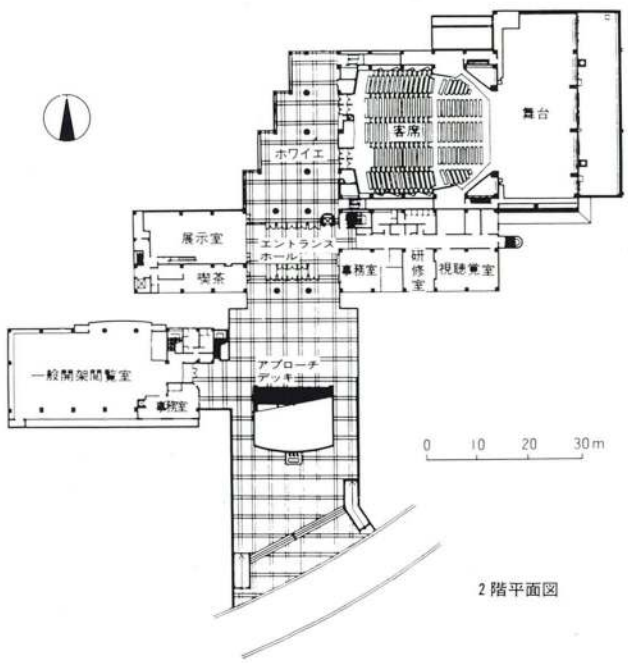
全景

外装仕上　屋根：アスファルト露出防水シルバー吹付　外壁：施釉磁器二丁掛タイル（ビブラート工法）　アプローチデッキ床：特殊大型施釉炻器質タイル

瑞浪市総合文化センター

設計監理　伊藤建築設計事務所

施　　工　銭高・徳倉建設共同企業体



2階平面図

撮影　田中昌彦＋加藤敏明（ＳＳ名古屋）

所 在 地　岐阜県瑞浪市土岐町
敷地面積　14,760.00㎡
建築面積　（図書館）　758.45㎡（公民館）4,418.79㎡
延床面積　（図書館）1,239.82㎡（公民館）6,002.21㎡
構造規模　（図書館）RC２F（公民館）RC　一部S　３F
工　　期　昭和57年９月～昭和59年５月
最 寄 駅　国鉄中央線瑞浪駅

岐阜県東濃地方の中心に位置し、緑と水に恵まれた広大な人口４万人の瑞浪市に、散在する公民館を統括する中央公民館の建設と、老朽化した市民図書館の建替えを望む声を一つにまとめて、この総合文化センターの計画がなされた。

設計のポイントは、メインアプローチである堤防道路と敷地地盤との高低差というハンディキャップを逆に利用して、アプローチデッキ（人工地盤）を２階レベルに設け、２階をメインフロアとすることにより、人と車の動線を明快に分離するとともに、約1,000㎡の市民広場、約200台の駐車場といった多くの機能を、細長い不整形な敷地に納めることであった。

建物は、敷地に沿って雁行しており、関係諸室は全て南面させている。804席のホールは、客席での臨場感を平等とする為にワンスロープ方式を採用しており、多目的利用を考慮して、ゆたかな響きと明瞭な音を兼ね備えたホールとした。図書館閲覧室は、自然の光を充分に採り入れ、高い天井と低い家具が落ちついた雰囲気とゆったりとした空間を創り出している。

川のほとりに建つ淡いベージュ色の外観は、焼物の町にふさわしい明るく落ちついた佇まいを見せながら、市の文化の交流と発展の場として活発な活動をいま開始している。

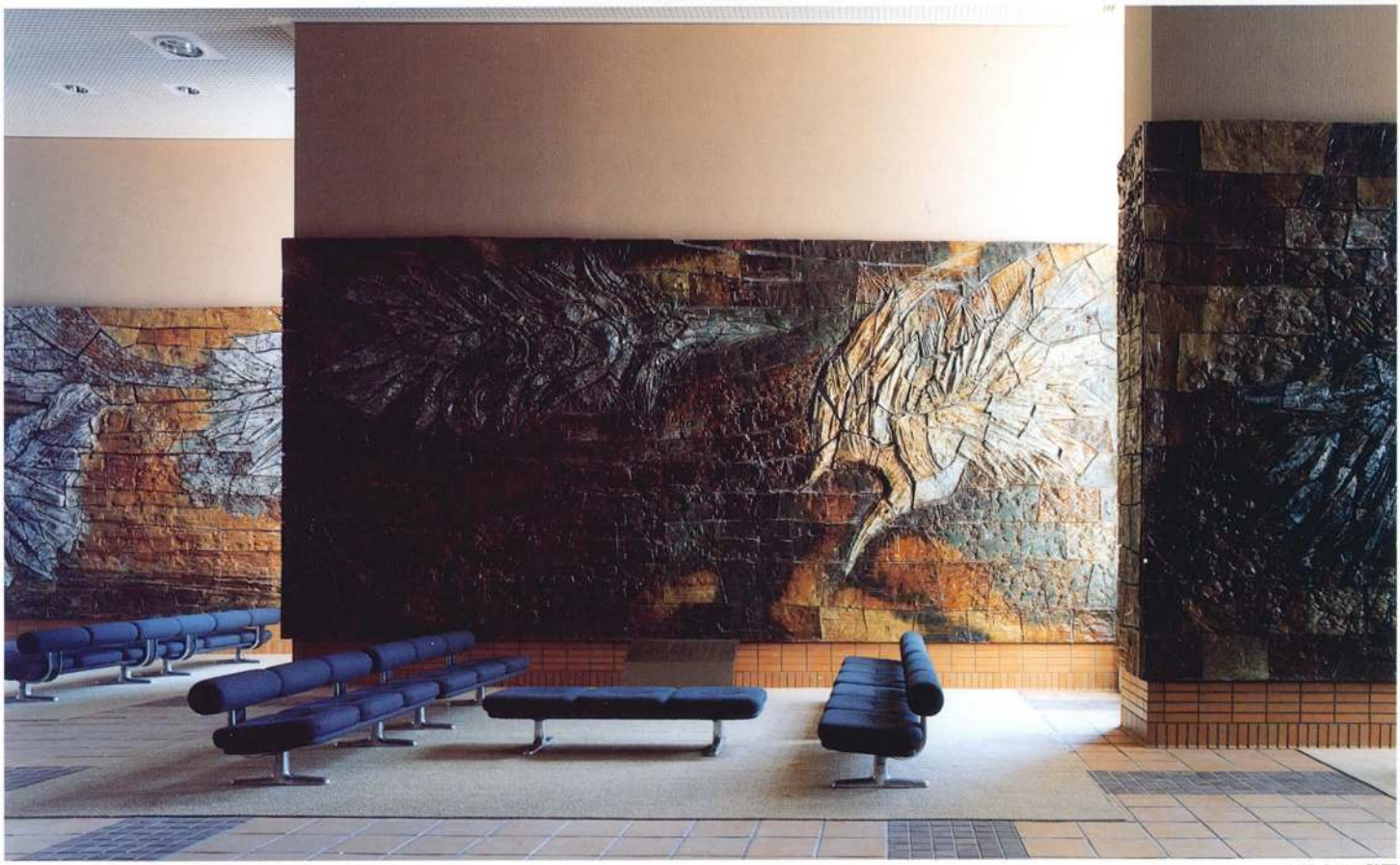
（高木淳一郎・小田義彦／伊藤建築設計事務所）



正面外観とアプローチデッキ・市民広場



ホール



ホワイエの壁画

名古屋合同庁舎第3号館

設計監理　建設省中部地方建設局営繕部

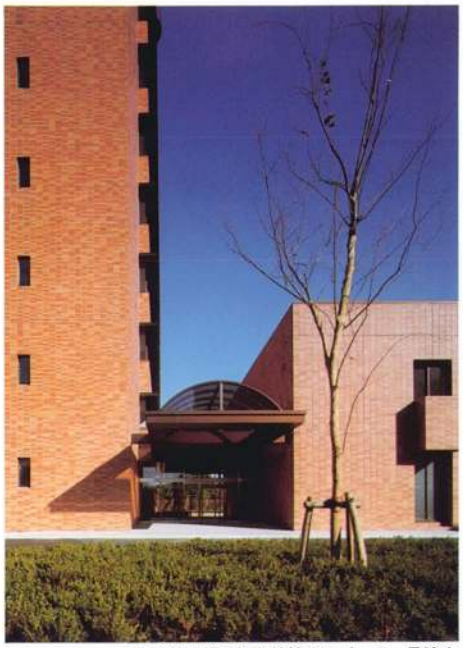
施　　工　大林組名古屋支店



南西面外観

撮影　センターフォト

所 在 地　名古屋市東区白壁町１－15
敷地面積　6,216.7㎡
建築面積　964.5㎡
延床面積　8,606.5㎡
構造規模　ＳＲＣ、Ｂ１、８Ｆ、Ｐ２
工　　期　昭和58年１月～昭和59年10月
最 寄 駅　地下鉄名城線市役所駅



庁舎棟と附属棟を接続するポーチ・風除室

名古屋合同庁舎第３号館は、名古屋市内に散在する官庁を集約・合同化して、公衆の利便と公務の能率増進に寄与するとともに、土地の高度利用を目的として建設されたものである。

入居官庁は、名古屋矯正管区、矯正研修所名古屋支所、税務大学校名古屋研修所、東海北陸地方医務局、東海電波監理局である。この合同庁舎は、一般行政事務部門と研修部門が入居するという特徴があり、施設の構成は、事務室と研修教室を収容した庁舎棟のほかに、矯正研究所の使用する体育館と屋外訓練用の操練場からなっている。

場所は、名城郭内の官公庁施設に近接したところで、敷地の正面の北側は県道新出来町線に面しており、西側は道路をはさんで名古屋拘置所であり、南および東側は住宅地である。この北側正面道路に沿って庁舎棟を建て、その奥に、西側の細い道路に面して体育館を配置し、操練場はこの二つの建物に囲まれた形で庁舎棟の南側に設けた。

庁舎棟には、北側道路に面して歩行者用の玄関を設けており、この周囲の緑化に努めることによって、落ち着いたレンガ調のタイルの外観に合わせて、町並みのひとつとして上品なファサードとなるように配慮した。又、庁舎棟の屋上の電波監理用鉄塔３基も、できる限り建物にフィットするように心掛けた。

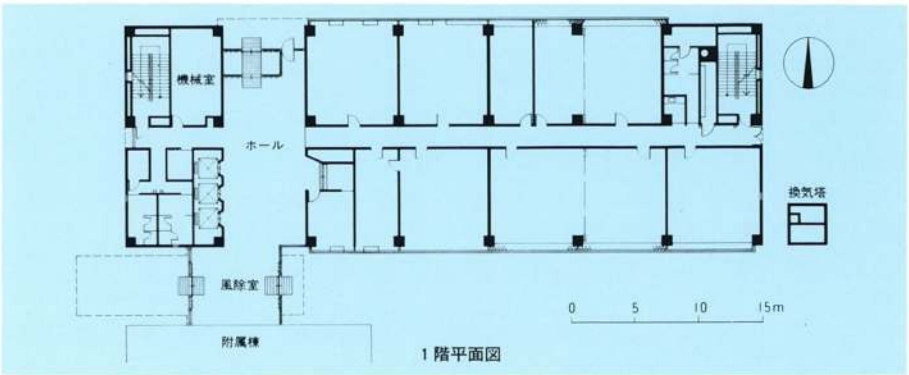
この合同庁舎には、外来者が多数見込まれるのでわかりやすいプランとするとともに、体の不自由な方でも使いやすくするためにスロープを設けたり、車いすの人でも使用できるエレベーターや便所を設けている。

（船戸和生／建設省中部地方建設局営繕部建築課）





上・北東面外観　下・１階エレベーターホール



１階平面図

知多市民病院

設計監理　石本建築事務所・建築計画連合 設計共同体
設計指導　名古屋大学柳沢研究室・中原研究室
施　　工　鹿島建設



正面外観

知多市民病院は、名古屋市近効の人口約７万人の知多市にある300床の病院である。敷地は約４万㎡で周囲は緑豊かな環境にある。
建物は大きく３棟から成り、特に病棟は居住性を重視し、中心でくの字に折り曲げ、一番静かな緑の庭に独立させた。正面は２層からなる外来診療と管理部門で、中間棟は地下１階地上３階の中央診療、供給サービス(給食、補給部、機械室)である。
複雑な動線（患者、職員、サービス、設備等）を、３棟をうまくからみ合わせることによって上下、水平にわかりやすい病院を心がけた。
新しい試みとして、病棟に於いては５床室、病棟配線と病棟患者食堂、又中間棟には院内の無駄と合理化、在庫量の管理の補給部をもうけ、移動収納棚による定期搬送がある。
計画当時から省エネルギーを考えて、設備面に於いては中央診療部屋上に冷暖房と給湯用に特殊高温収熱型のコレクター（約1350㎡）を設置した。
また還元井方式による地下水ヒートポンプターボ冷凍機の熱源利用もある。
建物は、屋上に外断熱アスファルト防水層、外壁面は北・東側窓がブラインド内造２重サッシとし、南・西面は庇とバルコニーと竪型ルーバーを設けた。　（松島孝彰／石本建築事務所名古屋支所）

撮影　加藤敏明（ＳＳ名古屋）

所 在 地　愛知県知多市新知字永井地内
敷地面積　43,899㎡
建築面積　 6,810㎡
延床面積　19,769㎡
構造規模　RC（一部S）、B1、6F
工　　期　昭和57年3月～昭和58年10月
最 寄 駅　名鉄常滑線古見駅

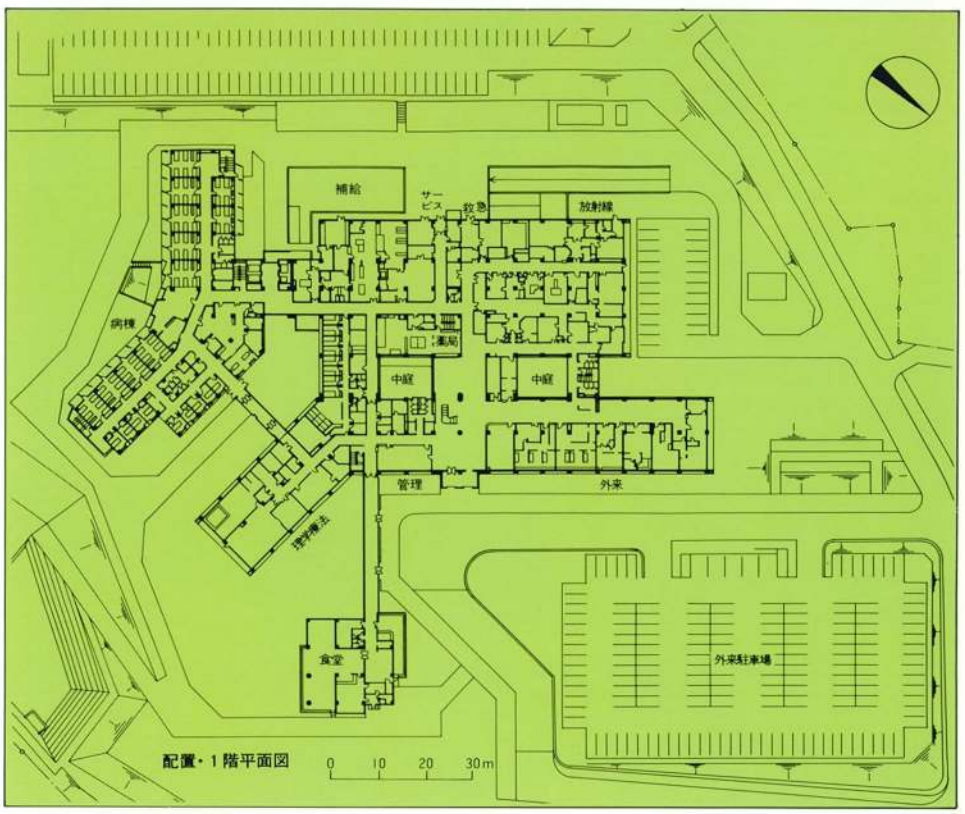
外装仕上　屋根：アスファルト断熱防水
　　外壁：磁器小口タイル貼り







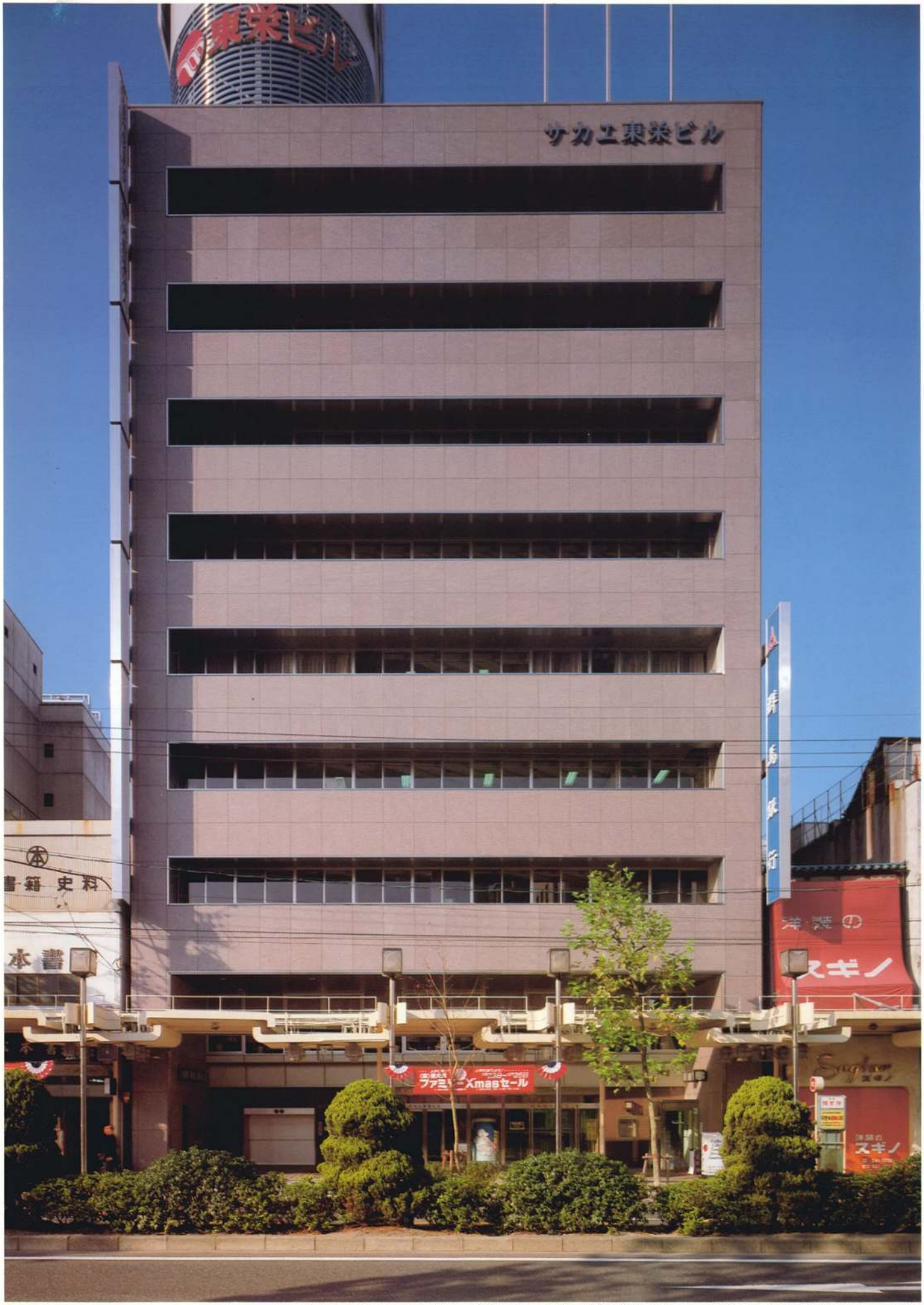
上・上空北側より　　下・1階玄関ホール



配置・1階平面図

主な協力業者（順不同）

電気	川北電気工業	名古屋市中区栄4-6-25 Tel 052-251-7111
衛生	三晃空調 名古屋支店	名古屋市中村区名駅南2-14-19 Tel 052-581-8571
空調	大阪電気暖房 名古屋支社	名古屋市中区栄4-16-12 Tel 052-251-7151



正面全景

外装仕上　屋根：アスファルト防水、豆砂利コンクリート金鏡　外壁：花崗石バーナー仕上　外部建具：アルミ製電解着色、ステンレス製HL

撮影　田中昌彦

サカエ東栄ビル

設計監理　伊藤建築設計事務所
施　　工　竹中・日本国土・フジタ・戸田共同企業体(建築)
新菱・東熱・中部・菱和共同企業体(空調衛生)
東海・川北・大阪共同企業体(電気)　豊島(昇降機)

所 在 地　名古屋市中区栄３
敷地面積　771.84㎡
建築面積　683.00㎡
延床面積　7,217.88㎡
構造規模　SRC、B2、9F、P1
工　　期　昭和58年４月～昭和59年10月
最 寄 駅　地下鉄栄駅

サカエ東栄ビルは、名古屋の中心栄地区にあり、前面の南大津通りは、古くから広小路と並んで名古屋随一の繁華街として栄えたが、昭和30年代から地下街の発達と平行して、銀行、証券会社、保険会社などの大型ビルが相次いで建設され、商店街としてはすっかり活気をなくしてしまった。かつての活況をとりもどすべくいくつかの再開発計画が提案されてきたが、昭和60年度を目途に、いよいよ名古屋市の「広小路・南大津緑道計画」が実施され、官民一体の魅力ある街づくりが実現することになった。この計画は、具体的には車道の車線数をへらしてその分歩道を広げ、植栽や噴水などを設けようというもので、当然既存のアーケードの形状についても再検討されることになると思われる。このような状況にあって、当ビルの建設は、新しいビルと南大津通りとのかかわりという点から当地区再開発の一段階として、官民からその計画が注目された。

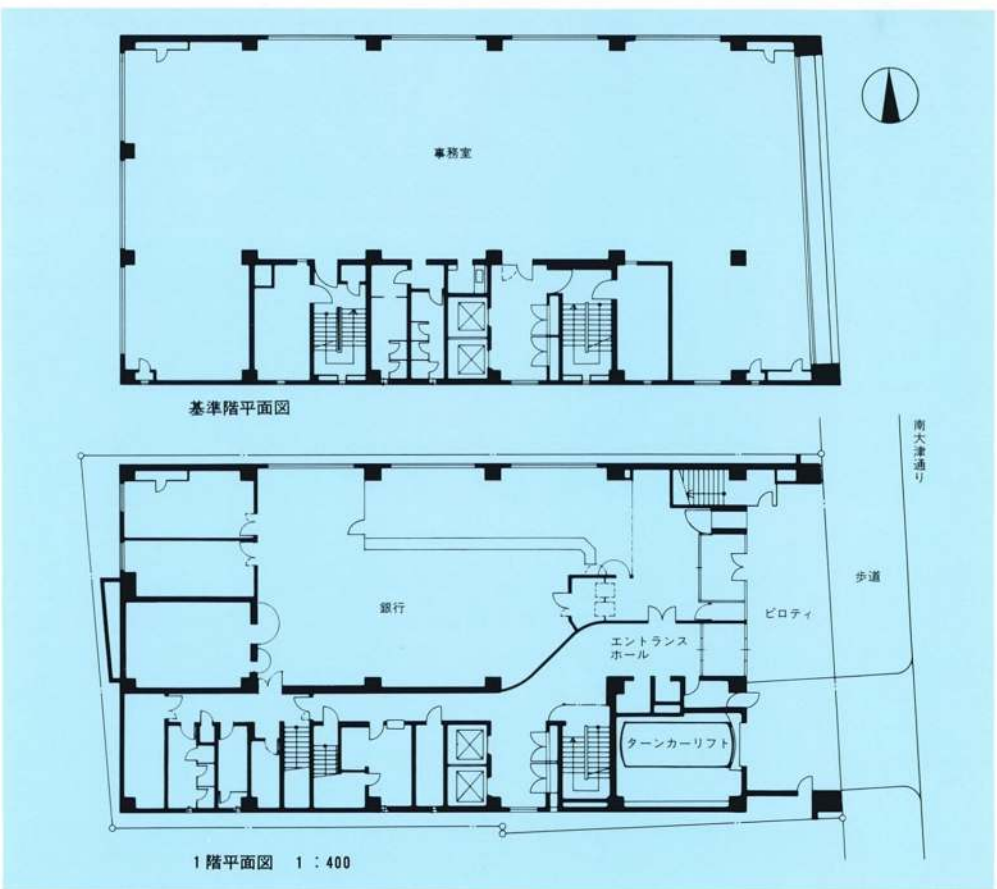
建築計画上からは、前面道路とのかかわりについて、解決すべきいくつかの点があった。一つは間口約18ｍの間に、駐車場への車の出入りとその待避場所を設け、店舗とビルへの出入口を設け、その上極力１階の銀行の間口を広くとること。第二は、敷地の形が整った形ではあるが平行四辺形で、前面道路とは矩（直角）になっていないため、敷地の形通りに貸ビルとして効率よくスペースをとることにつとめれば、前面道路に斜にかまえる格好になるため、何とか整形のレンタルスペースを確保しながらうまく正面性をもたせること。第三点は、既存のアーケードはそのまま生かして、なおかつ将来どんな形に造りかえられても対応できること。以上の三点であった。

具体的な方法としては、建物の正面全面にわたって奥行約５ｍ、建物の１、２階部分を歩道より後退させて、２階分吹抜のピロティを設けることとした。歩道と連続させて考えれば、約170㎡程の小公園が実現した訳で、歩道と同じレベルの花崗石の舗装も美しく、夜間は充分な照明を施し、休日にも開放されたミニパークの今後の利用のされ方が楽しみである。貸ビルとして１、２階の高収益を期待できる場所を割くことに、建築主の新しい街づくりへのなみなみならぬ協力の姿勢がうかがえる。当ビルに限らず新しい建物が建設される際に、このような配慮を一つひとつ積み重ねていくことが魅力ある街づくりへの道を開かせるのではなかろうか。

（森口雅文／伊藤建築設計事務所）



北東側から全景と街並を見る



東海特集
座談会●1

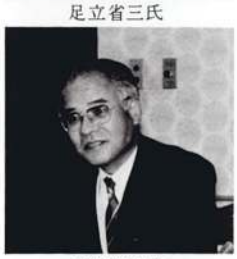
東海の現在と近未来

出席者

佐々波秀彦（国際連合地域開発センター所長）
後藤　侃（建設省中部地方建設局企画部長）
越智　福夫（愛知県建築部長）
足立　省三（中日新聞編集委員兼論説委員）
司会
中島　一（本会東海支部長・愛知工業大学教授）
（発言順・敬称略）


足立省三氏


佐々波秀彦氏


越智福夫氏


後藤侃氏


中島一氏

東海には自然がある。広い平野がある。東京と大阪の中間にある。生産力が大きい。さまざまな特徴をもつ地域である。また平均的な地方でもある。そこで、いま一度東海の現在を見つめ、ここから近未来に何を期待するか、皆さん方に語っていただいた。（中島）

場所　名古屋市王山会館　日時　昭和59年12月17日

中島（司会）　地方の時代といわれて久しく、また、同時に地方に活性化をということもいろいろなところで研究されております。ところで20世紀というのは、農村から都市にどんどん人口が移動してきており、都市化というのが積極的に進められたわけですが、集積のメリットはあるにしましても、いろいろな問題を抱えながら、いよいよ21世紀に突入することになるわけです。

そのような背景のもとに、東京と大阪の中間にある東海は、今後どうあるかを中心にお話を承りたいと思います。

自然だとか、文化だとか、生活環境などをみますと、東海は何か日本の平均的な位置のように思うわけなんです。しかし、見方によりましては、そうでない個所もあるだろうと思います。佐々波所長さんから一つ。

歴史と自然の中に東海の可能性をみる

佐々波　地方の時代というようなことで東海と地方というのを組み合わせて考えますと、東海地方というと、恐らく例の織田、豊臣、徳川ぐらいの、まさに日本の中で非常な脚光を浴びた時代というのがあって、それから今度は明治維新というようなことになる。どうも徳川の影響が強かったせいもあるかと思いますが、この東海地方というのは乗り後れた地方であった。

今度は三つ目の節といいますか、第二次大戦後の40年ぐらいとそれから21世紀を踏まえての、ここ50年ぐらいをひっくるめて考えてみますと、東海地方というのは工業化、都市化という、この戦後の大きな波の中で相当な役割を占めた。しかし、中枢管理機能的な、頭脳的なセンターとしては東京、首都圏が非常に伸び、つぎに大阪、それからずっと下って中京圏というような位置づけがされるんじゃないか。とくに1960年代でしたが、一時、首都圏整備委員会ができ、つぎに近畿圏整備委員会ができ、それから中部圏というようなことで、中部圏開発本部ができてきたときに〝中部は一つ〟というようなスローガンなんかが出まして、この東海地方だけでなくて、中部を含めての大きな視野に立ってのスローガンとか、提案等が1960年代の初めごろに提唱されたわけです。20年たちまして、中京圏を含めたこの東海地域というものが、いま再び見直される段階になってきている。

工業化、都市化の中でのこの東海地域ということで考えますと、東海地域は日本の生産基盤になっていたんじゃないか。二次産業においてもしかりでありますし、第一次産業でも結構活動はしていたわけです。ただ、今後、こういった生産基盤がどのように変ぼうしていくか、二次産業がどうなるか、それから将来、情報化時代という中で、第三次産業がどうなっていくか、…そこら辺は、東京と大阪の間にあるというような地理的好条件にあり、そういう点では東海地方のこれから21世紀に向けての開発ポテンシャルは非常に高いものがあると考えます。

中島　中部地方というのは、普通東海と北陸を含めて位置づけされておりますけど、ちょうど真ん中に大きな山脈がありまして、東海はまさしく水系が太平洋に向かって入っているわけです。そういう水系からくる文化というものが古来から築き上げられてきているのが現状です。こういう環境が人が働き、休養し、たのしむという場の中で、とくに自然だとか、地形などが生活に大きな影響を与えてきたことがあると思いますが……。

後藤　先ほどもお話にありましたように、東海地域は江戸と京・

大阪の中間にありまして、尾張地域は、東海、中仙道にしても、北からの道にしても結節点にあったわけです。その段階においては結節点で、通過点ではなかったと思います。現在、高速道路は東から来て西へ行きあるいは北から来るということで、その中で名古屋のまちの中まで入ってこなくて、通過的な格好になっておるわけで、現在、まちの中心と高速道路とのアクセスの問題で非常に苦労しているわけです。当然このアクセスというのはきちっとなされるはずだという予想のもとに道路の計画が立ててあったんですが……。

それから河川ですが、この地域は日本列島の中で一番幅が広くて、非常に流域面積も大きいし、また流延長も大きい河川が流れ込んでおるわけです。その水の恩恵を受けて繊維にしても、紙の生産にしても、そういったいい水、あるいは地下水が豊富ですから、水を利用した産業というものが発達してきたわけです。

その後、木曽川とか、天竜川など電力の宝庫として早くから電気が開発されたと思いますが、自然に恵まれているというか、交通の要衝としての名古屋、あるいは河川の流量の豊富な恩恵を受けて第三の都市としてやってきましたが、佐々波先生のお話じゃないが、その後いろいろな後れも出てきて問題になっておるようです。たとえば生活環境整備の投資をみますと、この東海4県の人口が11%、面積は8%です。東名とか、名神高速とか、東海道新幹線とか、そういう大規模な投資がなされておるときは多かったわけですが、このごろは公共投資のフローが少なくなってきている。それでは、ストックがいままで十分尽くされたかといいますと、道路にしても、公園にしても、下水道にしても、全国平均より少し下回っているという形が出てきています。

中島　中部あるいは東海という、この中で生活していますと、残念ながらわれわれには外に向かってみる方法しかなかったわけですが、国レベルで越智部長さんは中部をご覧になってきたと思いますし、同時に、こちらにお越しになって、逆にこの地からの見方もしておられると思います。その辺で東海というのをどういうような位置づけとしてお感じになっていたのか……。

越智　個人的というか、具体的なインプレッションから申し述べてみたいと思うんです。

私は関西で生まれ育ち、東京で仕事をし、この4月（59年）こちらの仲間に加えていただいた。そういう意味で東海といっても、やや愛知県センター的にものをみるのかもしれませんが……。

先ほど佐々波先生もおっしゃったように中部圏構想等々というものが、首都圏、近畿圏、中部圏という並びでかなり前から十分にいろいろ練られておったことは事実だと思うんですが、私がこちらに来て関心が強くなったからそう感じるということでは恐らくなくて、いまの時点で中部圏というのが、東海というものが、この地域自身のみならず、日本全体としても大変に興味をもたれてきはじめているんじゃないか。なんといっても日本の中で、土地とか水というような非常にベーシックな資源として、他の地域にない非常に強いものがある。もう一つは、佐々波先生が歴史にややアップ・ダウンがあったといわれますけども、私はここへ来て住んでみて、あらゆる生活のセグメントで強い歴史といいますか、あるときにはブレーキをかけるような意味もあるんでしょうけれども、非常に強い歴史性をもっているんじゃないかというような感じがしました。

たまたま、ここ1、2年、国の方でも21世紀の中部圏計画についてというのが急ピッチでこれから詰められようとしていますし、それよりもっと大事なのは、中部、東海の方たちによってビジョンを自ら生み出していこう、たとえて言うならば〝中部元年構想〟というふうなものとか、そういうものが具体的に、しかも絵ではなくて、きわめて戦略的な構想として描かれようとしはじめている。そこに私は現代的な意味、あるいは活力があるんだなというような感じを強くもつのです。

中間思想からの脱却

中島　足立先生にお聞きしたいんですが、中部圏開発整備法というのがありますね、そうして時折、中部圏内の知事さんと名古屋市長さんらがお集まりになって、いろいろと意見交換しておられますね。中部は一つということですが、中部は何が一つなのか、あるいは各県ごとに開発をしていこうとしておられるが、どんなことをやって、そして中部圏開発整備法の目的に合うようにやっていかれるんでしょうか。

足立　首都圏整備法、近畿圏整備法というのは国で決めた政府立法です。当然これは東京・大阪の過密をいかに防ぐかという形でその法律ができているわけです。

三つの都市圏の一つの名古屋ですが、ここは日本海側まで全部入っているわけです。先ほども後藤さんがおっしゃっていたように非常に胴体の長い大きいところでございますから、東京・大阪と比べますと、それほど大都市圏の成熟はしておりません。これからぼちぼち発展をしていくという地域です。そうしますと東京・大阪の間にあるいわば広域のブロックというようなところが、北陸、中部内陸、それから中京圏というか名古屋大都市圏です。こういうところが、一体的な広域的な関係を強くこれからもちたいという願望を含めてつくった法律で、あくまでも議員立法でできた法律です。やはり名古屋大都市圏を中心にして、たとえば中部内陸なり北陸というものがお互いに関係を強めていく、そして一体的な広域ブロックに成長しようじゃないかというのが法律の基本になっています。だから開発整備という考え方の法律になっておるわけです。たとえば地方には地方の開発法というのがありますね、そういう開発と、大都市圏の整備というようなものを一つにした法律であるというところが、いまおっしゃったように少し東京・大阪とは違う。確かにいろいろな問題があるわけですが、やはり、なんとしてもその中心になる名古屋大都市圏が、まず中部内陸なり、北陸にいい影響を与えるぐらいの強い力を育てていかないとなかなかむずかしいじゃないかというところが、いま最大の条件になっておりますね。

この地域には、東京・大阪にはわからない一つの考え方があります。つまり東西の中間的地帯、中間的思想というもので、絶えず東西の比較から何かで自分たちは伸びていきたいという考え方がある。名古屋を中心にして大都市になりたいというようなことが非常に謙虚にリーダー層から出てくるのが大正の末期から昭和初期ごろで、当時の新聞にもそういうものがぼちぼち出始めている。それから昭和の7、8年ごろになってまいりますと、東京、大阪、名古屋という意識が非常に強くなってくる。その時分に人口も名古屋は100万を超えるとかというような背景があるわけでございますけれども、そういう考え方があるわけです。

戦後は比較論の中で中間思想になって、ここのオリジナルなものの考え方というのがなかった。ということは、中間思想の中から焦点を合わせて何かに一挙に進んでいくということは非常にむずかしいわけです。

ところが幸いにして、戦後いろんなものが出始めてきた。つまり東西の中間思想に対する、一つのオリジナルです。一つは都市計画が

あります。もう一つは外国の金を借款してつくった愛知用水、三つ目は、昭和30年代に青年都市であるということ、つまりここは重化学工業の都市にするんだということ。名古屋商工会議所も昭和30年代はなりふりかまわず工場誘致していった。そういう点がありました。

ある程度工場誘致もできたし、製造出荷額日本一になったと、それでいま、焦点がここ当分は決められずにぼやぼやしておった。何か決めにゃいかんじゃないかと。ここで生産機能を高めていくことをやってきたわけです。今度はそれを土台にして、中間思想からいかに脱却するかと…。もう一点は、日本のD. I. D. は国土面積にして2.7%ぐらいです。そこに人口の6～7000万人いるわけです。都市が強くなろうと思えば、それを支える資源的な、自然型な背景がないといけない。ところが首都圏はだんだんおしまいですし、大阪は琵琶湖の辺りです。そうすると、名古屋大都市圏が最大の自然型のうえに、恵まれている。ここが要するによそ見しないで、中間思想からいかに脱却するかというと、昭和30年代の感覚にかえろうと私たちは申しているわけで、現在では生産機能、いま佐々波先生がおっしゃったような、そういう方向の中から新しい模索が始まりつつあるんじゃないかという期待をもっておるわけです。

コアとしての名古屋の現在と近未来

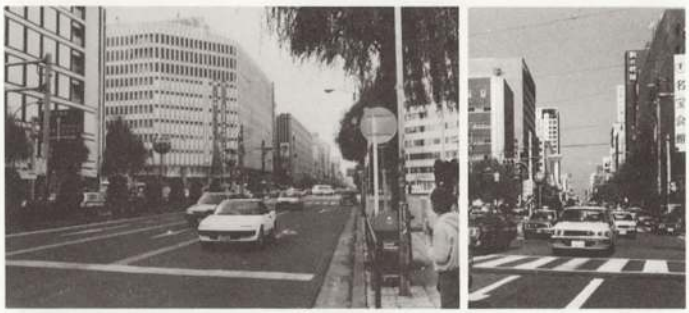
中島　中部圏の中で、あるいは東海地方を考えますと、確かに名古屋が一つのコアとしての役割をもたなければいけないし、ある程度もっていると思います。

先ほど、名古屋の都市計画のお話があったんですが、名古屋はわが国での慶長年間までのいろんなまちづくりの中で、恐らく一番最後にできた城下町だと思います。逆にいいますと、いろんなところで試みた城下町づくりの一番いいところを御三家の一つである尾張に、名古屋につくったと思うんです。現在の都市計画と、たとえば街路計画をみても、あるいは天守を中心とした家老屋敷の周辺いわゆる丸の内というところをみても、あまり変わらない。逆にいえば、慶長年間のまちづくりというものが非常にすばらしくて、現在に伝承している。この辺に名古屋の文化の大きな未来を語る何かがあるんじゃないかというような感じがします。

越智　土曜日に、名古屋城の天守閣に登ってみました。そうすると天気がよかったんですが岐阜城が見えるんです。それから南アルプス、西の方では鈴鹿山脈がみえる。なかなかなところに城をつくったんですね。

それは別として、名古屋の方たちは、あるときにはかなり思いきったことをやる一つの力、決断というのはあると思いますね。やっぱり戦後にこれだけの都市計画をやった。区画整理は日本で最高を占めています。東京と大阪に比べて地価が安いからできるんじゃないかとおっしゃられるが、かなりそういう面での先行的な仕掛けに名古屋大都市圏は優れていたと私は思うんです。しかしながら、それはあのときのまちづくりの判断であって、これがさっき後藤部長がいわれた外に通過あるいは街道的な交通という形のものと、中の都市計画、これが港とか空港だとか、もう少し活性化するためのいろいろな機能という考え方でいうならば、それをモディファイしたいろいろな現代的な都市づくりのものをきちっと付加しておかないと、せっかくのいいものが生きてこないんじゃないかというのが私の率直な感じです。


名古屋城


広小路通り


100m道路の久屋大通り中央に建つ名古屋テレビ塔


官庁街


名古屋港


名古屋港ポートビル

後藤　将来においては、大きな高速道路と幹線道路とのネットワークといいますか、そういったものとか、あるいは地方への定住化が図られていくそういう中にあって、工業においても臨海の大規模集積的なものでなくて、内陸で高度化された技術のもとに、そう大きくない立地がたくさんになってくる…、それのための住宅あるいは都市的な施設の整備をしていかなければいけないわけで、そういったための道路というのも、これから重要になっていく。そこでは大都市圏でのレベルぐらいのものが要求されてくるわけです。
それから大都市圏あるいはまちの中へ入ってきますと、住民と車とがうまく融和し合っての道路というのが必要になってくる。そうしますと歩車道の分離はもちろんのこと、環境帯的な高速で走るものと低速で走るものとのうまい分離と、それから振動、騒音、排気ガスとかそういったものとの分離というものを考えていかなければいけない。もう少し道路のスケールが小さくなってきますと、低速化的で自転車、歩行者、自動車も、みんなで使い合う、そこには緑の入った、あるいは危険の少ないような施設も十分入れていかなければいかん。

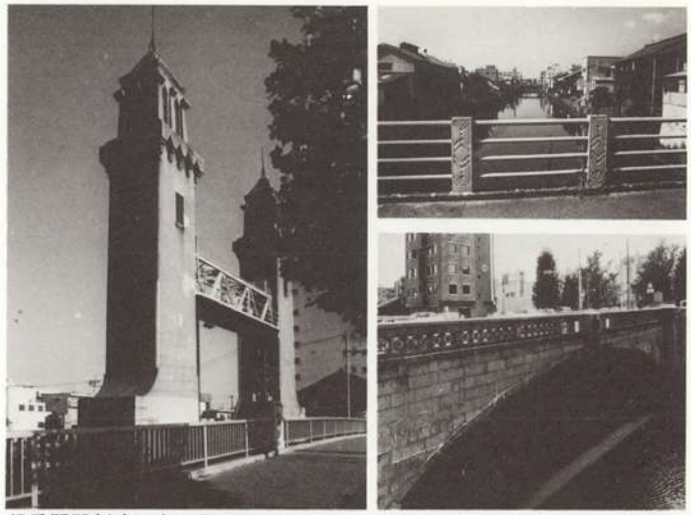
都市の魅力度を高めるために
―水、そしてストックの活用

中島　ところで江戸にしても、大阪にしても、水のあるまちです。名古屋は木曽三川はございますけれども、少し離れたところにきれいな水が流れている。人工的に愛知用水なり、明治用水というものがつくられていますけれども、この水とのかかわりというのは相当注目したいと思うんです。

佐々波　有名な都市計画のわれわれの先達で石川栄耀という大先生がいて、石川さんいわく、世界のいい都市といわれている都市は、みんなうまく水を使っている。だから水をうまく使うかというのは、その都市の魅力度を高めるうえで非常な貢献をしているということをいわれています。
たとえばかつて、城から船で必要物資を運びましたから、堀り割を掘って運河をつくって、その両脇には蔵屋敷で土蔵を並べているのがいまでも残っていますけど、名古屋にもあいうのが実はあった。それが戦後の都市計画では、水運の方が停滞して衰微したせいもあったんでしょうけど、車の道路というものが最優先している。名古屋市はいままさに一生懸命に都市景観を見直そうとしており、古い町並みあるいは中島先生がおっしゃっていた古い史跡の保存、再利用をどうするかというのが問われている。
産業貿易館というところに私の在職する国連地域開発センターがございまして、あすこから旧外堀がみえるわけです。堀は水を抜いていますのでカラカラになっているんですが、何も利用していない。ああいうところも含めて、もっと名古屋市として都市の魅力度を増進するようなことをやらないと、そこら辺で非常に欠けている点があるんじゃないか。

後藤　名古屋のまちの中で唯一の水面をもった河川・堀川は、昔は周りに料理屋さんがあったくらいですから、非常にいい川だったわけです。ここに、木曽川の方から木津用水沿いに、つまり木津用水と人工の河川で水をもってこようという計画で、いま地元に説明しておるところです。その水で堀川を浄化しようということです。これは県が管理しておられますが……。

佐々波　外国からの訪問客が来ますと、やはり東京からすぐ京都なんかに行ってしまうわけで、たとえば京都は1000年の都で、応仁



松重閘門(左)は中川運河開さくに伴い、昭和5年につくられた。この閘門は堀川(右上・下)と中川運河を結んでいたが、昭和51年に廃止されている

の乱などで大火に遭って相当焼けたにしても、京都というと、そういう印象ももつし、またそういうたたずまいが残っている。それに比べて東京は江戸開府以来せいぜい400年程度の歴史しかないけども、それでも東京は東京としての外国からお客さんが来た場合につれて行くようなところが相当あるわけです、浅草観音も含めてね。最近ですと、例の表参道のファッションストリートなんというのも含めてあります。名古屋でつれて行くとすると、名古屋城はあるとしても、あととたんに駅前とか栄の地下街だと(笑)、どうもね。名古屋でもっとそういうもの、何も外国人用の観光名所じゃないんですが、住んでいる人々にとってもアメニティを増進するような施設とか、または都市景観、地区景観、結構そういうストックはあるにもかかわらず十分活用していないというところを私は強調したいと思います。

越智　私も本当にそう思うんです。あるんだけども、俗にいえばＰＲ、あるいは逆にそう認識していないという面があるんじゃないですか。

足立　それはそうです。先ほど申しましたように産業面では青年都市でやりかけた。いまは自分たちのそういう文化財なり、アメニティの資源、これをもう一度再発掘しようという気持ちになりかけているんじゃないかと思う。典型的な例が徳川美術館です。あれは日本でも大変な一つの財産です。いままで倉庫に眠っていたわけですが、いまでは一部展示してあります。
名古屋市内でも、都市文化的なものと、地場産業をいかに結びつけるかという関係のものは随分とあるわけです。たとえばここは焼き物では日本の最大の産地で、古く奈良朝からの焼き物の実績をもっているところです。そこへ愛知県陶磁器資料館、それから愛知県立芸大をつくりましたが、なんとかしてあすこへ陶芸の講座を設けたいということでいまやっているわけです。この県立芸大も、いま美術学部と音楽学部しかありませんが、そういうようなものをみましても、在来的なものと、そういうものを都市的文化に伸ばしていく、大都市文化に上げていこうというような生かし方、そういう気風が、中間思想から少し脱却の方法をもち始めてきたという考え方を、私はもっておるわけです。
ただ、水をみました場合には、都市としての水よりは、地域の水という考え方の方がここは強くて、たとえば、ここでは農業的なものが主体になった水の感覚が強いわけです。都市まではいっていないところがあります。それでも水に対する水質の公害苦情の中では、愛知県の件数が日本一なんです。ということは水への関心度が高い地域である。大きい川は近くにないけど、大阪だって新淀川を昔あ

すこへやったわけですから、ここではスケールの大きい河川をもった都市に考えたらどうか。木曽三川公園、日本一の最高最大の河川公園ができますが、あすこまでハイウェーで20分ちょっとで行きます。もう少し広く地域を考えて、水を引けといっても、名古屋は洪積台地にできた城下町ですから、ここへ川を引いてくるわけにいかんわけですから、やはりその水を最大に生かせるような新しい都市機能を広域的につくっていくということも必要じゃないかなと思います。

ねらいを頭脳の誘致に向けて

越智　ここは二次産業、工業生産でいっているわけですが、二次産業の中でも、もう少し高度化した二次産業化へもっていかないといけないという議論がある。

アメリカの例をみておりますと、シリコンバレーだやれなんだというときには、従来のように北東部のあるいはシカゴを中心にしたというような昔の企業立地でなくて、むしろ知的な、あるいはクライメットをも含めて知的なものが集積しやすい地域というものへ随分動きました。名古屋の場合も、それをどうやって造成するか…。戦後、京都できわめて理論物理的なものがどんどん出た、哲学も出た。というふうなことと同じように、今度は生産的な結びつきでいくと、私はここの場所というのはポテンシャルもあり、また、そうしないといかないところだと思うんです。

足立　これは愛知県の知事が提唱していることですが、愛知県の計画の中でも短期計画の見直しの中で、産業首都構想というのを出しているわけです。要するに産業面のキャピタルをねらおうというんで産業構想の推進というのが、鈴木知事の公約になっているわけです。私は産業首都というものの中身をもっと突いていくということに意味があると思う。だから中間思想からの脱皮というのは、目的をはっきりさせる。ここで東京と同じことはできないわけですから、都市をつくっていったり、ある力をつけていくという、非常に多様なものを補充していかなければいけません。一つは、よその人も集まってこなければいけませんし、魅力がなければなりません。埼玉と名古屋というのは、ださいという、全国的にちょっといやなイメージを若い娘さんたちはもっているらしいけれども(笑)。

越智　この前、足立先生から電車の中で伺ったんだけども、これからの先端的な産業というものは、バイオにしても、生物学的なものだとか、ただ単なる機械工学だとかなんだとかを超えて、非常に多角的なものとして出てくるんでしょうね。そういった学際的なものがすでに立地しているけど、意外とわれわれ自身は知らない……。

足立　京都大学の霊長類の研究所—あれは名鉄電車が犬山につくったモンキーセンターが、呼び込んできたわけです。もちろんここの場合は東京・大阪の間にありますから立地条件もよかった……。リトルワールドも名鉄電車がつくっているわけです。一緒に向こうの民博もこっちへ移った方が仕事がしやすいんじゃないか(笑)。梅棹さんもつまらんこといっていないで、こっちへ来たらどうかと、そうしたら霊長類も横にあるし……。それから岡崎の共同研究機構、これは日本というより世界的なノーベル賞候補が5、6人いるわけです。地域の人はそういうものに対してありがたみも、全然知識もないです。それとか国際的にも注目されている佐々波先生の国連地域開発センター、中部圏をモデルにして発展途上国の人たちにプランニングを教えようという、こういうものは、近代学問の翻訳学で



犬山市の右上の丘陵地には、モンキーセンターや霊長類研究所がある

家元になった人が多いようなところはだめなんです。東京・京都はだめだと(笑)。いまや翻訳学問の家元がたくさんいるところはいかんのであって、新しい分野の方が……。

佐々波　やっぱりねらうとすると、立地的に名古屋は便利なとこなわけです。東京へ行くにしろ、大阪へ行くにしろ、便利なところ。しかも非常に自然環境がいい。だから文士とか、研究をやっている連中、さらにそれに関連して大学、また、京都と大阪と奈良が第二の筑波研究学園都市めざして国際学術研究センターをつくろうとしていますけども、ああいうのをこっちにもってこいと横取りするぐらいのつもりでやる。霊長類センターしかり、プラズマ研しかり、それから生体分子、生化学の研究所しかり、みなそうですけど、ああいったのがぼこぼこ来るようにもっと大々的に誘致する。木曽三川もそうですし、山あり、川ありでしょう。それをいかにうまく活用するかというのが問われている。

実は私は東京に長くいたのですが、かつては武蔵野というのは非常にいい雑木林があったわけです、それがいまは壊滅しましたけど。名古屋のいま話している東海環状都市帯なんというところは、そういったものを結構残し得る、それから川も利用できる、山もあるというようなところだと…。そういった日本の頭脳センター、それから文化センターとして、ちょうどいまアメリカの南部が非常に開発が盛んですけれどもそれとは違った意味で、日本のとくに名古屋を中心とする地域は、非常に大きなポテンシャルをもっていると私は思います。企業誘致を熱心にといわなくても、結構そういった頭脳集団的なセンターがこの周辺にあるということですと、結局関連して出てきますから。ねらいをつけるとするとそういうところじゃないかと思います。

後藤　既存の地場産業をもっと高度化していかなければいかんということで、各県の計画書などをみますと、基礎的な研究あるいは高度化の研究をしていこうという施設が計画されています。展示場とか、産業、文化をみせるための会館とか、そういうものが計画されております。

それからちょっといいなあと思ったのは、基礎的なものと、いまあるのをベースにした応用的な高度化したもの、その販路を求めるための研究、そんなことが県の計画書に載っています。

近未来のイメージ —東海地域は開拓地

越智　佐々波先生がご覧になって、外国の人が、いまこの東海をどうみておられるのか、あるいは将来の東海に何らか期待している

というふうな、そういう感じのものはありますか。

佐々波　外国の連中は、まず名古屋といっても知らないわけです。日本だって知らないのにどうして外国が知るかというと、名古屋市というのはトヨタのすぐそばでといったら、あのトヨタかと、そっちはよく知っている(笑)。だから私は名古屋というのは、まさに、これからの都市圏だと思います。いま皆さんの話を聞いていて、東海地域というのは、ヨーロッパ、アメリカという分け方でみると、どちらかというと北米の開拓地のようなところだと、北米の中でもボストンみたいな……。

足立　南部といってください、農業もあるから(笑)。

佐々波　カルフォルニアから、サンベルト地帯、そういうような地域です。そういうところがまさに東海地方のイメージだろうと…。

越智　国際的に開かれていく可能性、あるいは開くためには何と何がいくとうまくいきそうだと、どういう感じなんでしょうか。

佐々波　すでに西海岸のカリフォルニアの開発はわれわれ知っているわけです。どういうふうにしてあれだけになったかというと、気候がいいということもあります。もう一つは企業も来たし、あすこにカリフォルニア大学が位置して、企業が来てもそれを受けて研究的なものもそこでできるというようなことで両々相俟って……。日本の場合、奥さん方が名古屋を敬遠するというけど、私は名古屋はこれだけ便利がいいと、まさに日本のカリフォルニアか、南部はこれからですが、そういう同じような要因をもっていると思う。ただ、うまくそういう自然を使って魅力的なことをもっともっと整備しないと、まだだめでしょうね。

白いまち名古屋で建築家に何ができるか

中島　ところで町並みの景観について先ほどお話がありましたが、名古屋市だけでなくて愛知県建築部を中心にいろいろと検討していらっしゃるわけです。とにかく白いまち名古屋という…本来はいい意味だったんですが…、しかしそれが現在ではどうも無味乾燥なまちだと、それを表現しているような言い方に変わってきておりますけれども、いま建築関係のわれわれが何をやらなければいけないのか。われわれはその中に埋没していますと、うっかり見失う危険があると思うんです。

足立　どこでもあるような町並みじゃなしに、地域地域のオリジナルをどういうふうに探しだしていくかということが大事だと思うんです。高度成長期のときの“駅前”というのは、どこへ行ったって同じ駅前なんです。そういうことで地域の中のまちの特徴が全部なくなっちゃっている。だからもう一度特徴、個性の取り回しをする時代になってきているんじゃないか。建築家の方だけではなく、土木もありますが、そのイニシアチブをとっていただきたいということです。

それから、私が思いますに、名古屋はかつては確かに道を広く取りましたから、この道の空間をうまく生かせる方法はないかと…。これは東京、大阪にない一つの強味です。都心にこれだけの大きいものがある。これは、ただ緑化するだけが能じゃない。木を植えることも大事ですが…、立地条件を最大限生かすような、もう少し新しい余裕をもって、あの道路の空間を大事に使いたい。昔の商家の場合には奥に坪庭があって、坪庭の分だけ奥に下がったというわけですから、坪庭の空間というのは、ただ緑だけでなしにほかの多様な要件もあったわけです。だから、たとえばそこへ寄り合い広場をつくってもいいし、あれだけの大きな空間は多様な形に使っていただきたい。

もう一つは、近くに非常にたくさん山がありまして、いっぱい木があるわけです。そういうところの材をいかに使うかということです。建築家というよりは、これは行政の問題かもしれませんが、公共団体ほど木を使っていないですね。学校の廊下というのは板張りのものをみたことがない。公共団体は場合によって必要なら使えるわけです。もちろん経費の問題があるかもしれませんけど、たとえば県や市の教育委員会が、地元でそういう基金をつくって、その部分市民の上乗せをしてもらってやるとか、とくに公共団体を中心にしながら、建物にそういうような伝統的な特徴を生かしてつくっていただく、そういう設計指導を建築家にもっとやってもらわないといかんのじゃないかと……。

それから東京、大阪、名古屋と比べると、名古屋が一番持ち家率が高くて、住宅の面積が一番広い。女房なんか生まれも大阪で、住んでいたところは堂島ですが、私も、もう帰る気がせんですよ。なつかしいけど、あすこは住んだら息がつまる感じです。ところがこちらだと伸び伸びするわけです。やはり、そういう特徴を生かした家とか町並みとか、そういうものをつくっていくイニシアチブを……。もう一つ大事なことは、大阪は過密とはいっても、それでもきちんとたたずまいがうまくできているわけです。なんらかの形で、ビルがあって…。名古屋では、そういうつなぎのところがみなだめです。これは単に公共団体指導だけじゃないと思います。金も出したくなるような設計をやる人材が集まらんかと思います。むしろ東京、大阪でせせこましい仕事している技術者は、いまや東海へ集まれと、名古屋へ集まって知恵をどんどん出していただければ非常におもしろい新しい建築と社会ができるんじゃないかと思いますので、ぜひ一つお願いしたいと思います。

見直しの中から、新しいコンセプトを見出す

中島　名古屋およびその周辺には公団の有名な住宅団地などもつくられていますし、県営なり、市営住宅団地も精力的に新しい手法をもってつくられているわけです。ああいうところへ入りますと、何か心にやすらぎを与えてくれるような景観もあると思います。人間が住みついてこその都市なんですが、その辺でお考のことを……。

越智　このごろつくづく感じますのは、われわれ、いままで非常にスケールの大きなものと、それから割合小さなものとを、同じ計画・技法みたいなものでやり過ぎてきた。大きいものの、ただスケ



高蔵寺ニュータウン



久屋大通り

ールを小さくしただけというような計画・技法であって、大きいものが念頭にありまして、小さいものはしようがないからこうやっているんだというふうな感じがあったわけです。これからは、それぞれに先ほど佐々波先生がおっしゃったように地域オリジナル、個性、小さいということの個性をもった計画というのがあるんじゃないかと思います。

もう一つは、経済性の追求ということもあるでしょうけども、道の空間も含めてわれわれの建築が、奥行きというか、見栄えというか、そういったものを失った感じがしないだろうか…。先ほど京都の町家の話が出ましたが、京都の町家も住んでみますといろいろ不便なところがあるんですが、表のあるところまではややパブリックな、セミパブリックな空間があって、そして全くプライベートな空間があるというふうなところがあって、道路だけがパブリックな空間で、家に入ると途端に全くプライベートの空間だというのではない一つの面がありますね。コンセプトとしては、私はやっぱりこれから考えるべきものと思います。

三番目、これは結論ですが、初めてアメリカの土を踏んだとき、フレズノというまちへまいりました。そこは再開発をよくやっているという小さなまちですが、そこで迎えてくださったお家の奥さんが、私が建築をやっているということでだと思いますが、新聞の切り抜きをもってきて、明日みに行きましょうと…。これはフレズノのまちの中の再開発ビルなんですが、そのビルについて非常に関心が強くて、市民の中である人は賛成であり、デザインを含めてある人は非常に問題だと、活発に議論をされている。

やはり建築がよくなっていくためには、今度はあすこにこういうビルができたぞと、あれはちょっといいじゃないか、そういう皆さんの声が活発に交わされるというプロセスがどうしてもいるんじゃないかと思います。もちろん名古屋市で景観賞をやったり、中日新聞でいろいろな都市景観の問題をやっていただいている。愛知県でも中島先生にもご協力をいただいて一生懸命にそういうガイドラインをつくったりしておりますし、具体的に活発に議論をぜひしていただくという中部建築賞というものもありますが、本当に市民に大いに議論していただくようなプロセスがほしいというふうな感じがしております。

コアをつくり、つなぎ、人と人との出会いのある空間へ

佐々波　さっき名古屋は白いまちだとか、何か印象がないという話が出ていましたが、もう一つは、どこを取っても金太郎アメみたいに……(笑)。

たとえば栄地区なら栄地区の中心オフィスビルと、伏見なら伏見の中心オフィスビル、それから飲み屋街みたいなところ、飲み屋街でも高級、中級、庶民向きとかいろいろあると思いますけど、そこら辺をもっとコンパクトにまとめ、あすこにはそういうのがあるというのがはっきり出ると、もっと名古屋としてそれぞれの地区特性に応じて機能が出てくると思うけど、どうもそれがなくて、ずっとダラダラと続いている。

今後直していくとすれば、意識的にそういったまとまりというか、そういうもので各地区の特色、その中のコアみたいなものを出していくべきでしょうね。いま栄地区でも、コマーシャルセンターとしてデパートなんかがいくつも出てくるというんですが、あすこら辺は今後一種の商業センターとしての機能をはっきり出せるだろう。それと、たとえば中区ですとテレビ塔があったり、久屋大通りがあったりしますが、ああいった施設と、行政センターみたいなものをうまく結びつけて、名古屋市のストラクチャープランみたいなものをつくる…。いまみたいな自動車の走る碁盤地目の道路で形成されているというんじゃなくて、もう少し機能的に遊歩道で堀川と久屋大通りとそれから外堀とか、こっちはショッピングモールだというような格好でずっとつないでいくと、名古屋として、いまよりはもっと変わった、しかも鮮明なイメージが出てくるんじゃないか。それに応じてのそれぞれの地区の特色のある建物みたいなところで、結構建築家のデザインも期待したいし、それから都市計画家、造園の人々も、もっと動員しなければいかんのじゃなかろうか。

この名古屋というのは、まだまだ可能性は秘めていると思います。グリッドアイアンの格子状のパターンをうまく利用すれば、いかようにでも新しい21世紀をめざしての都市パターンが出てくるんじゃないか…。かつてイタリアの中世の都市―中世の都市というのは非常に道路が入り組んでいるんですが、真ん中に広場をとり、うまく広場を点在させています―、中世の都市はそういうことで非常に魅力的な都市景観がつくられています。名古屋は城壁で囲まれているわけではなく、オープンのシステムですし、そういうオープンなシステムの中での都市形成はいかにあるべきかが、今後の課題であろうと思います。

足立　それからね、東京、大阪のように、あんまりばかでっかいビルを建てないほうがいいんじゃないかという感じがするんですが、どうですか。

越智　スモールイズビッグですか。

足立　そうじゃなしに、ある程度の高さは維持して立体化していかなければいかん。ところが50階建てとか、100階建てにする意味があるかということ、あれは19世紀的発想じゃないですか。

中島　快適な市民生活というのはいろいろあると思うんです。たとえば地下街にしましても、あれは営業空間であって、生活空間ではなくなってしまっています。歩道にしましても、あれは交通空間かもしれません。やはりもう一度人と人との出会いがそこでできるような、そういった考え方もあるんじゃないか。

かつて広小路は夜歩きますと屋台があって、市民の生活のにおいがぷんぷんしていたということを聞いております。先ほど申しましたように慶長年間にできた名古屋の城下町とスケルトンは同じですけれども、現在の街路の割り付けにしましても、今日的な要求を十分満たすような方法というのが出されなければいけないわけです。

きょうは、皆さん方、ご繁忙のなか、いろいろとお話をお聴かせいただきありがとうございました。時間がまいりましたので、この辺で終わらせていただきます。　□

東海特集
座談会● 2

愛知県・名古屋市の景観整備

出席者

石川桂一（名古屋市計画局都市景観室長）
井上昭彦（ＳＤ設計室代表取締役）
桜井大吾（RIA建築綜合研究所名古屋支所計画部長）
中島　一（愛知工業大学教授・本会東海支部長）

司会

高橋大善（愛知工業大学助教授）

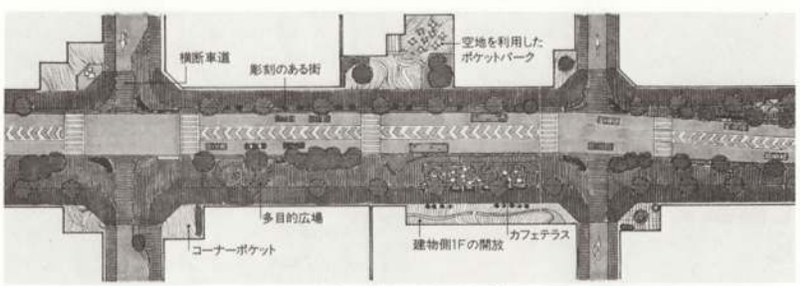
（50音順・敬称略）


桜井大吾氏


井上昭彦氏


石川桂一氏


中島　一氏



緑道計画例（都心の場合）

日時　昭和59年12月12日　場所　愛知建築士会会議室

高橋（司会）　東海地方と言いましても、とくに愛知県、名古屋市にしぼりましてその整備の方向と考え方、それの意味するところについて、本日はお話をお伺いしていきたいと思います。

不可視領域もとらえ、景観をクリエートする名古屋の景観行政

司会　４、５年前になりますか、景観懇談会というのが発足いたしましたが、これをいま専門に取り扱っていらっしゃいます石川さんからお話をいただければと思います。

石川　名古屋市で都市景観という問題が公に出てまいりましたのは昭和55年で、名古屋市基本計画をつくり、その中にすぐれた都市景観をつくっていくんだというまちづくりの目標が立てられたんですね。その時点では都市景観を何となく視覚的な領域と言いますか、絵になる景観と言いますか、都市の美観というイメージで取り上げてきたと思います。具体的には基本計画ができました後で、市長の非公式の諮問機関として、名古屋市都市景観懇談会を設置し、各分野の専門家の方々を中心に、とくに名古屋のアイデンティティをもった都市景観というものがどうあるべきかというようなことをご検討いただきました。その結果が懇談会の報告書および政策提言という形で57年に出てまいりました。

現在、名古屋市が行っています都市景観行政は、ほぼその提言に沿ってやっております。名古屋は城下町だったわけですけれども、戦争で城下町の大半を失いまして、戦後の経済の高度成長の時代には、周辺市町村を合併しながら急激な人口増に対応するための新市街地の開発・整備を、いわゆる組合方式による区画整理事業を非常に大規模に展開することにより、道路、公園、下水道、高速度鉄道等の都市施設の整備をはじめ、宅地や住宅の供給も行ってまいりました。それはそれなりに評価を受けたんですけれども、高度経済成長が止まった段階から、今度はそういう基本的なまちづくりというものが果たしてそれでよかったのか、問い直される時代がきたわけです。そういったときに、非常に狭い意味の都市環境の整備というような考え方から、快適性＝アメニティと言いますか、そういう問題が浮かび上がってきました。

ところで名古屋の景観に対する考え方の特殊性に重点を置いて申し上げますと、不可視領域と言いますか、目に見えないものそういうものも広く含めて考えている。具体的には、たとえば形で無形という言葉をわれわれは使っておりますけれども、形のないもの、心象風景ですね、それからイベント、伝統的な祭りだとか、地名とか……それから現代的な面で言いますとまちの雰囲気、ナウイまちだとか、かっこうのいいまちとか、そういうものも含めて景観をとらえる。

それと景観というのは従来、いまあるいいもの

を守っていこうと、そういうものが強調されておる。しかし、名古屋の場合は、むしろ主体は21世紀のまちづくりみたいなものを最終ゴールに置きまして、景観をつくっていく、創出していく、クリエートしていく、そういう面に重点を置いて景観行政を進めるべきだということになっております。その結果が、景観行政を進めていく上でのシステムとして、59年4月に都市景観条例ということで制定施行されておるわけです。もちろん、歴史的な建造物とか町並みとか、ランドマーク、そういったものを保全していく面での配慮も条例の中に盛り込まれておるわけです。

都市景観審議会というものも条例制定と同時に設置しまして、その審議会の中でいろいろと景観基本計画を検討しておりますが、その審議会の中心的な考え方は、景観は上から見るものではなく、地に立って見て初めて景観が出てくるというもので、ヒューマンスケールで考えるという立場に立脚しているわけです。神戸とか横浜のように、定着したイメージというものが名古屋にはないわけですから、名古屋市職員で構成されたプロジェクトチームをつくり、全市をくまなく歩き、そうして地区ごとの景観の現状を把握することから始めました。その景観の現状を把握してそれを分析評価して、望ましい方向を出す。その望ましい方向を実現するためにはどういった課題があって、それを解決するにはどういう施策を講じなければいけないか、そういうことを景観基本計画に盛り込もうということです。いままでいろいろな都市でつくられている基本計画を見ますと、住宅地域景観は、商業地域景観はどうあるべきか、それから道路は、河川はどうなのか、そういう類型でとらえた基本計画が多いんですが、名古屋市の場合は、文字どおり地域地域の特性を実地に把握しながらつくっていく、そういうプロセスで作業を進めておりますので、自画自賛になりますけれども、大変おもしろい特異性のある基本計画ができ上がるんではないかと思っております。

基本計画ができていないため景観条例は効力が停止されていますが、効力を生じている規定もあるわけで、その中で大事なものは、行政の先導的な役割といいますか、行政が率先して景観という問題に対応していくということです。それに関する規定はすでに効力を生じておりまして、それを受けていろいろな施策が行われております。

非常に景観行政というのは特殊な行政だと思うんですね。行政だけが一定のことをやっても景観行政というのはできない。市民の景観に関する意識とか関心を高めるということが非常に大事な要素になってくるわけです。そういう市民意識を高揚させるためのいろいろな施策を条例に基づいてどんどんやっております。その一つは都市景観賞ということで、すぐれた都市景観の形成に寄与している建築物、工作物、広告物などについて、その所有者、設計者、施工者等を表彰し、広く市民に知っていただくというようなことをやっております。

名古屋市の景観行政

昭和55年	名古屋市都市景観懇談会発足
昭和57年	同上報告書「名古屋の魅力ある都市景観を求めて」
昭和57年	名古屋市都市美観建築賞制定
昭和59年	名古屋市都市景観条例制定
昭和59年	名古屋市都市景観賞制定（都市美観建築賞を改称）

まちの営みを反映する景観形成—愛知県—

司会　愛知県の町並形成検討委員会の委員長を務めてこられました中島先生からその概略をお伺いしたいと思います。

中島　町並景観形成検討委員会は57年にでき、59年にはこれに関するレポートをまとめて提言をしたんです。その後、4月1日からは愛知美観誘導研究会というのができておりますが……。

町並景観形成検討委員会で最初に議論したのは、景観というのは、あるまちの人々の生活の姿で、どのまちも与えられた自然環境があり、つくり上げてきた建築物や都市施設がある。しかし、そうした視覚でとらえるものばかりでなく、そのまちの歩んできた時間、生み出されてきた文化、生活する人々、今後のまちの目指す方向性、そういったものを含めたトータルなものとしてとらえる必要があるということです。

現在のまちの姿の混乱というのは、たとえば他の地区を模倣したまちづくりを行ったような、固有性の希薄さに原因があるように思われます。その地区にそぐわないまちづくりというのは、住民の環境に対する関心を失わせしめることになり、まちの姿の変化に歯止めがかからなくなってしまうという心配があるわけです。すぐれた景観形成のためには、住民が周辺環境に対して関心をもって、その整備主体となってくれることが要件で、住民の生活欲求をうまくまちづくりに、そして景観形成につないでいくことが非常に重要であるという観点から、まちのあり方を共有できる地区といった空間把握を重視して、そこでの人々の生活の姿を町並み景観だと定義づけたわけです。

しかし、愛知県の場合は非常に範囲が広く、太平洋から日本アルプスに至るまでの広範な場所で、それぞれのもっている歴史、伝統の中に培われた風景が存在しているわけです。文化財保護法で言うところの伝統的建築物の保存もあるでしょうし、歴史的な町並みなどもありますが、こういったところについては保存修景を図るということが一つの考え方として出てきます。二番目に、積極的に開発修景をしていこうという、美しい美的空間の創造ということもあるわけです。また、文化行政の動きとともに美的空間をどのようにつくっていくかという積極的な景観づくりということも忘れてはならないことですけれども……。たとえば兵庫県とか神奈川県、鹿児島県、広島県、東京都、岡山県等は文化行政の動きについては敏捷にとらえまして、あるところでは公共建築の文化的な環境づくりということに焦点を置いて、積極的に取り組んでおられるところもありますが、文化のデザイン事業ということが大体中心になっております。しかし、いずれにしてもこれはまちづくりの一環という広い意味のことで取り上げていかなければならないということが反省の中に組み入れられております。

町並み形成の手法として愛知県では……

中島　町並形成検討委員会では景観形成の役割を分析しまして、地元主導でやる町並み形成の方法、地元主導と行政対応というやり方、三番目に行政主導というものがある。行政主導と住民参加もあるでしょう。その他というものもあります。

まちづくりを発展させるためには、住民と行政がそれぞれ個別に役割を分担するのではなく、常に両者が共同関係にあって同時に進行して互いのやりとりの中で発展させていく、そういうまちづくりが可能になるといった視点に注目すべきだという考え方で進めてきたわけです。そこで、じゃあ町並み景観の形成のためにはどういう手法があるのか、また具体的にどうしたらいいのかというマニュアルをつくって、広く一般の方々はもちろんですけれども、直接かかわっておられる行政各組織の中にも理解を深めていこうとしたわけです。先ほど報告書をつくって出したというのは、そのマニュアルのことです。

しかし、何と言いましても住民の参加ということが必要ですので、愛知県下の人々を対象に、「私の好きな町並み、街角」というテーマで写真コンテストを5年来行っております。生活の中にあるちょっとした風景など、美しいと感ずるところがあれば写真でとどめておいて、もう一度それを見直していただこう、また、美しい風景を探し出していただこうということです。

もう一つは、建築にかかわっている皆さん方にも理解を求めて、建築美観誘導研究会というものが引き続き県の中にできました。これは、道路だとかあるいは街路だとか、環境の中で外部の空間というものは公共的な空間であるという認識を深めながら、建築設計にも大いに留意いただきたい、協議いただきたいということです。

愛知県の景観行政

昭和55年	街並・街角写真展の発足
昭和57年	街並景観形成検討委員会発足
昭和59年	同上報告書「愛知県における街並景観の形成について」
昭和59年	建築美観誘導研究会発足

名古屋市内でのまちづくりの実際と夢

司会　愛知県の守備範囲としては多くの市町村を抱えているということで、一律にこういう景観のあり方がいいなという話ではなくて、どうしてもそのマニュアルの方にお話がいくんじゃないかと思うんですけれども、その辺の名古屋との対応の仕方の違いというようなことも含めてご意見を伺いたいと思います。

井上　いまのお二人のお話がちょっとむつかしいというか、抽象的ですので、実務に携わる人間として実例的なものをお話ししてみたいと思います。

私が景観という形にかかわってきた状況を申し上げますと、もうすでに10年くらいもたつのですが、名古屋の都心のメインストリートである広小路通りのサントピア構想を打ち上げたことがあります。これの概略は、名古屋の都心部が地下街の発達とともに次第に銀行や証券会社等の業務街化してゆき、昭和40年代前半までのように誰もが楽しめる盛り場でなくなってしまった。このままでは名古屋の核がない、いま一度、地上で市民の楽しめるまちをということで、栄から笹島までの約2kmの区間の車をとめ、人間が楽しく歩ける空間にしようという構想なのです。

名古屋は石川さんのお話にもあったように基盤整備が整っていて、非常にいい都市計画であるという評価を受けた時代があったわけですが、現実に車社会で、経済の高度成長期の産業優先の時代では広い道路が有効であり、それが縦横に走る名古屋の都市計画はいいということになるのですが、車優先の思想から人間復権のまちづくりの思想に変わったとき、名古屋の広い道路はヒューマンスケールを越えているように思います。幸い先人の残した広い道路は大いなる遺産であり、都心部をとりまく4本の広い道路のうち1本は人間のための〝みち〟として活用してもいいのではないか、そうすることによって、名古屋の都心の活性化を図ろうというのが構想の概略です。

広小路通り

広小路通りは名古屋駅（笹島）・栄・今池・東山公園を結ぶ都心部を東西に貫ぬく幅員30mの幹線道路であり、栄周辺の都心部では百貨店、大型店の立ち並ぶ名古屋のメインストリートである。昭和30年代までは専門店、劇場等が連なって名古屋の盛り場を形成していたが、地下街の発達とともに銀行等の業務街化しており、夜は人通りも少なく、盛り場としての魅力に乏しい。現在、栄を中心とした都心地区近代化協議会が結成されたり、カラー舗装等の環境整備による近代化、活性化について地元で熱心な検討が行われている。市でも広域系買い物緑道に指定してショッピングモール等、都心の活性化を検討中の路線である。なお、久屋通りと栄地区で直交している。

それ以後、この広小路通りは都心の広域系買い物緑道として南大津通りとともに指定され、ショッピングモールとしての整備が計画されていますし、地元では5つの商店街が都心地区近代化協議会を結成し、都心の近代化、活性化のために努力を続け、各商店街の近代化計画や、都心地区の近代化計画を立てています。緑道計画や地元の近代化計画で共通して言えることは、やはり人間復権のまちづくりであり、現在3車線ある車道を1車～2車線減らし歩道を拡げて緑を植え、ベンチや水呑み場、また広場をつくってイベントのできる場、彫刻広場、買い物広場等の楽しい雰囲気を道路という公共空間に創ろう。一方、民地側はそうした楽しい公共空間にマッチするように1階部分は店舗化していくとともに再開発や共同ビル化で近代化を図ろうとするものです。ただ名古屋の都心部は業務街化していますので、簡単にアメニティを創り出すことはむつかしく、昔のように屋台が立ち並び、夜通し人がぶらぶらできるような思い切った方法も必要だろうと思います。

その他、久屋通りではセントラルパークができるとき地元の皆さんと地上部分のあり方について検討したことがありますが、このときも川中島である現在の公園を地域と一体化させ、公園の活用を図るとともに、歩いて楽しい久屋通りをつくることを計画しましたが、この思想は石川さんの関係されている久屋地区の景観整備の中にも活かしていただいています。

久屋通り

名古屋市の中心地区に位置し、名古屋テレビ塔をシンボルとし、地上を散策公園、地下を地下商店街や駐車場に利用。都心の貴重なオープンスペースで、都市景観の整備がとくに望まれる地区であるところから、都市景観整備モデル地区となっている。また、市を挙げての催しや各種団体の集会にも会場として使われたり、市バスや地下鉄のターミナルとも直結している。

名古屋のヘソづくり、白いまち名古屋でなく、楽しい名古屋のまち、ナゴチョン族でなく奥様が一緒についてきたいまち名古屋にしたいというのが私の夢なのです。

間尺に合わない国の制度―中小都市での現実

桜井　中小都市における景観形成の問題を考えてみたいと思います。景観整備ということで、いわゆる歴史的なまちだとか、大都市、および広島、仙台など地方中核都市においていろいろと取り組まれているわけですが、全国的には、まだそういった特徴的な都市を除いては景観整備には取り組まれていないように思うんです。むろん愛知県下をながめてみた場合でもそうだと思います。

最近では常識的になりつつあるかと思いますが、中小都市の一番大きな問題というのは活力不足です。これには、都市全体として活力がないということが一つあるのと、それから既成市街地とそうでないところというふうにゾーン分けしたときに、既成市街地の衰退というかつて大都市でドーナツ現象云々と言われたんですけれども、中小都市でもそういう問題が著しく進行しています。そういう全体的な地域の衰退化に合わせて、既成市街地内の商店街もどんどん衰退しています。そういう現実があるからこそ要するに活性化がテーマになるし、中小都市の魅力を高める有効な方法の一つとして、景観整備があるのではないかと考えています。

ところが、一般に景観整備の問題というのは非常にむずかしいということで、そこから議論をするのではなくて、商店街として人を呼び込むためには大型店をつくったり、あるいはイベントをやったり、実施するなど即効薬を追い求める考え方になるわけです。しかしそういう大型店をつくりたい、商店街を全部再開発したいといっても、残念ながら経済力が伴わないものですからなかなかそういうものが実現していかない。国の方の制度も、私は実務を通していつも思うんですけれども、やっぱり大都市向きに、とりわけ依然として高度成長期のように人がどんどん集まっている関東圏に役に立つような制度が増えつつあるように思うんです。先ほど行政の先導的役割という、景観整備における一つの位置づけがありましたが、極端に言いますと、関東圏以外では間尺に合わない制度なものですから、その制度が使えない、したがって行政の先導的役割を果たせないというようなことになってくるわけです。

そういうふうに考えていきますと、どうもいままでの計画の立て方といいますか、問題の解決の方法についてやはり考え方を少し変えていく必要がある。段階的整備を着実に実施していくことが重要だと思います。当たり前ですが、初段階はできるだけ費用をかけないで町の活力を呼び起こすような手だてが必要です。その有力な手法の一つとして景観整備ということがあると思うんです。たとえば、具体的にはカラー舗装であるとか、あるいは小さな広場の整備であったり、これは商店街の中でやる広場の整備ですね、こんなものが商店街に活力を及ぼす、あるいは小さな都市の中心部の活力を呼び起こすというようなことが事例としても少し出ております。

経験を踏まえたいくつかの試み

桜井　そんな考え方あるいはいままでの経験を踏まえまして、私自身としては二、三実践を試みてきました。

その一つは、名古屋のテレビ塔から東の方向、布池教会のところですが約1.5kmの間に20mの道路

があるんですね。両方Tの字になっておりまして、基本的には通過交通が余りない道路で、ちょうど桜通りと広小路のスーパーブロックのまん中を走っている道路です。東の教会から始まりまして古い屋敷跡、それから小学校が二つ、中学校が一つ、それから名古屋市の芸術創造センター、幼稚園が一つ等々。

緑道の要素として非常に恵まれている道路があることがわかって、そこで何とか、先ほど井上さんがおっしゃったような歩行者空間のいいものができないかということで、いろいろ地元の人々に問題提起をしながら、名づけて「みちひろば構想」というような計画をいろいろ詰めていったことがあります。時あたかもオリンピックの前でして、市の緑道整備基本計画にも正式に位置づけられ、仄聞するところでは、整備優先度も高く、実現寸前までいきました。しかし、地元では、車に不便なまちになるとの評価が一部なされるなど、計画に対する合意が得られないため、着手されないでいます。歩行者空間整備の意義が地域住民の間に徹底して討議されなかったところに問題があったわけですが、少なくとも行政に実施に踏みきらせる要因が、同構想にはあったと評価できます。

名古屋市緑道整備計画

昭和52年に作成された「名古屋市基本構想」に基づく「緑の総合計画」の一環として、実施されつつある。

緑道は、車の通行を抑制した安全で快適な歩行者・自転車のための道で、散歩、サイクリングなどのレクリエーション、景観の向上、さらに災害時の避難路などに有効であるとしている。

昭和65年を目標として、36路線・総延長170kmの緑道整備事業である。予想される緑道の利用形態（買い物・散歩）から4種の基本分類を設定、さらに空間形態（歩車分離・河川沿いなど）から5種の路線形態分類を設定したうえで、両者を組み合わせた12種類のバリエーションで緑道整備を実施しようというものである。

もう一つは、名古屋西北部に位置し地域人口が減少しつつある商店街（弁天通り、江川端など3振興組合、1発展会が集積している）の景観整備例です。当該地区の商店街改造の問題を実務の中で取り組んでおりましたが、ここは一つ組織としての業務から離れてでも参画していかないと、計画の成果が絵にかいたもちになりそうな感じがしましたので、個人的に参加していったんです。たとえば、市の緑道整備基本計画に弁天通りも位置づけられているんですが、商店街の方では緑道整備ということがよくわからない。それから地元負担が相当要るからちょっとうかつにそういう話に乗れぬぞという空気があったりして、行政としては積極的にそういうものを整備していきたいんですが、地元の側にそういう意識があるわけです。これはもう完全に理解不足だということで、地元の方に一つ一つ不安を取り除いていきまして、結局

弁天通り

名古屋城の北西隣に、「浄心地区」という古くからの繁華街があり、そのメインストリートが弁天通りである。当地区を、日常生活圏の中で楽しめる文化・レクリエーション機能を併せもつ複合的な地域中心商業地として整備してゆくという「まちづくり構想」が、昭和55年に具体策とともに打ち出された。

若手芸術家による彫刻作品20点が散りばめられた、緑道を兼ねる幅員7mのショッピングモールは、単なる商店の集積した商店街とは異なり、アメニティの高い都市空間を形づくっている。

手を挙げてもらい、事業に入ったという経緯を経たんです。また、いわゆる商店街での緑道整備ですから、カラー舗装プラス植栽を少し立派にするというようなものが計画の内容ですが、せっかくやるならそれにとどまらないでもう少し特徴づけをいろいろやったらどうかということで、彫刻を並べる構想を検討しました。彫刻も一体一体購入していって並べるということではなくて、やはり下町には若いエネルギーが導入される必要があるということで、愛知県下の彫刻をやっている4大学の学生諸君に協力してもらって彫刻を並べるというように企画が発展していき、59年6月に「'84浄心緑道彫刻展」として開会しました。その過程でおもしろいなあと思いましたのは、私も実務の中では商店街改造の方法として、たとえば看板や日除けテントの整頓、共同建て替えの促進など、要するに町並み景観づくりを何度も何度も提案しているんですけれども、実はほとんど理解が得られていなかったことが、その彫刻展を企画していく中でわかったことなんです。それはどういうことかと言いますと、「こういう彫刻を置くときに当然周囲の環境がきれいに整頓されていないといけない、現状は置き看板がめちゃくちゃであったり、建物も一軒一軒違うから彫刻がきれいに映えない、今後の課題として環境を整頓していくことが必要なんだ」というふうに彫刻の専門家から指摘され、はじめて景観整備の必要性が認識されたわけです。そんなことを目の当たりにしまして、おもしろいなあと思ったんです。

このような個人的な実践の中で、改めて感じていますのは、中小都市では、まちづくり制度が間尺に合わないとか、いろいろ述べましたが、もう一つ加えて人材に乏しいことが非常に問題だと思います。中小都市といえども、中心部は建て替えなどにより少しずつ変わっていっているわけですから、景観を整備していくチャンスはいくらでもあります。しかし担い手としての人材不足によってそのチャンスを逃してしまうというのが現状でもあるということで、考える土俵をうまくつくれぬものかと、そこにいろいろ人材が入っていけるようなことがあるといいんじゃないかと感じています。



久屋通り



広小路通り



弁天通り



名古屋市都市景観賞受賞作品

地元主導か、行政主導か—岡崎市の場合

司会　景観整備が単独で達成されていくことはきわめて困難であるというお考えが、実務家の方におありのように思うわけです。たとえば抽象的な話ですけれども、計画と設計というお話があったときに、計画は客観的なものである、そして設計はそこに個人的な主観なりセンスなりが入って形としてでき上がっていく。どうも景観整備というものが、そのデザインというか、何かの計画があって、しかも、それが客観的に妥当な計画があって、その上にそれを実現していく上での景観整備が乗っかってきてはじめて実現していくような感じがある。これはかつての機能重視からきている、アメニティというものを余り考えない時代から今日までの間の一つの警鐘というんでしょうか。これではいけないという意味で、景観整備が強く叫ばれているということはわかるんですが、今後は景観整備単独じゃなくて、主目標に何かがあって、その主目標を達成するときの一つの足かせというんでしょうか、枠組みとして景観整備がなければいけないんだというお考えじゃないかと思うんです。

中島　私は、岡崎市の都市景観の整備についてもかかわっていますが、乙川という比較的きれいな流れの川があります。その一部の地区を指定して水辺の景観をつくっていこうと、こういうことを提言するためにいま作業を進めているんですが、ところがよく見ますと、この乙川は一級河川なんです。建設省が維持管理をしているわけです。その隣の堤防のすぐ横にあります道路は県道で、県が維持管理をしている。そのそばにずらっと立っているコンクリートの電柱は中電の所管である。そしてその隣左右に立っている建物は建築基準法という法律の中でやっております。そして乙川の護岸を見ますと、コンクリートブロックの間知積みなんです。グレーの規則的な色と形をしたものが並んでいますから、景観ということからいうと非常に無味乾燥である。しかしその護岸は人命にもかかわるような非常に有効な防護措置だと思うんです。で、堤防の隣にある県道は、もう少し道幅を広げて、緑道も平行して走ってほしいとか、あるいはゆとりのあるような蛇行も必要だろうということを提言しましても、足かせがあるわけです。コンクリート柱にしても、建てるについては借地料を払っているというようなこともあるでしょう。コンクリート柱なんかは地下埋設なんてことを言いますと、とんでもない経費がかかるということになります。これにどういう対応の仕方をしたらいいのか。先ほど行政主導という話が出ましたけれども、やはり地域の中で維持管理されることで本当の意味をもつわけですが、じゃあそれを適切にするためにはお金が要るわけです。だれがどのようにやっていくかということは非常に大きな問題ですね。

その近くに康生町というまちがあります。これは岡崎で一番の商店街で、ここは都市再開発をやった地域です。商店街の活性化ということです。ところが、商店街ということよりも、個々の商店をどういうようにしていったらいいかということに、商店主の強い関心がある。一歩でも目立つようなことをやることによって、より自分自身の収益が上がるんだという潜在的な観念があるわけです。ですから、そういった点をさらに考えていきますと、実は地元主導型もありますけれども、行政主導型ということも非常に強く要求されるわけです。それならば、商店街の振興対策のために県なり市が助成金を出して、景観というものに焦点を合わせた何か助成の仕方があるのではないかと思うんです。まだそこまで県自体も考えておられないし、岡崎市もそうです。名古屋市の場合は近代計画のための調査費として300万円予算化しているけれど、まだまだ景観ということを中心にはやっておられないというのが現状ですね。予算だとかあるいは実施するための経済的な問題、あるいはそれをペイするためにどうしたらいいのかということが先立ちまして、景観は残念ながらそのつぎにならざるを得ない。それをどうフォローするかということはこれから非常に重要な問題になってくると思います。

公共先導で、公共と民間の両輪はまわり出す

井上　実は、栄の隣になります東新町の近代化整備事業の一環として、歩道のカラー舗装、街路灯、ストリートファーニチャーの整備のお手伝いをさせていただきました。それをやってみまして一番感じたのは、先ほどから問題になっております外側、公共空間がきれいになると同時に、内側の方と言いますか、民間側がきれいにするという形が結構出てくるということを感じました。といいますのは、表の通りがカラー舗装されて非常にきれいになった。じゃあ、このままではいかぬからということでお店そのものが外装も改装されるし、取り扱い商品そのものが全然違ってくるという現象が起きてくるのが実例としてあります。ある程度行政主導型という形で公共空間の整備をやっていただくと、商店街なんかも一生懸命自分のところも何とかしなければいかぬと…。確かに商店街の活性化というのは、公共空間と民間側の車の両輪みたいに、両方がやらなければいけないことなんです。その火つけ役を行政側である程度やっていただかないと、民間側だけで意識を高めようとしてもなかなかむずかしい。実績としてきれいになりますよ、そうしたらあなたのところはこのままの状態でやっていたらどうしようもないだろうという話ができるし、現実にそういう感覚でお店の改装もされる、あるいは大型資本も入ってこようという感じになる。そういう機運が生まれてくるということは、ある程度環境整備が必要になってきているということだと思うんです。そういうことを考えますと、やっぱりある部分行政がちゃんとやらないと民間がついていかないという気がするんです。現実には東新町だけでなくてあちこち都心部の商店街の近代化のお手伝いをしていますが、車の両輪の片方、卵か鶏かという話になるかもわかりませんけれども、公共空間の部分をある程度整備することによって民間がついていくというこの辺のスタイルじゃないかと思います。民間がきれいになったから公共が後をついていくという話はとてもやっていけぬと思います。

東新町

都心である栄地区の東隣に位置し、スナックやバー、飲食店が多数集まっている夜の大娯楽街である。現在、都市高速道路の建設が当地区でも行われており、近年中に景観が一変しようとしている。

中島　大都市で、商店街が比較的発展しているところはついていけると思うんですが、余力のない中小の商店主あたりはとてもついていけないと…。結局、絵にかいたもちにすぎないということです。

確かに地元主導型の整備の方が非常にきれいですしやりやすいかもしれない。しかし、一人ひとりの商店主に説得して理解を求めていくということは大変難儀になります。ですから、やはり何と言いましても理解を求めると同時に、何らかの応援をしなければできないんです。

たとえば、中小都市の駅前の商店街を歩いていますと、アーケードが部分的に切れているところがあります。聞いてみますと、自分のところの間口に該当するアーケード作製に要する持ち分が負担できないということの哀れさを切々と物語ってくれるんです。切り捨て的な、ついていけない商店街では活性化ということをいくら叫んでもだめなんです。井上先生のおっしゃった、このカラー舗装そのものが、たぶんにその商店街の個性化、活性化のために、まず第一段階でカラー舗装、それに対応する突き出し看板の整備、デザインの統一だとかに続いていくと思うのですが、やはりそれだけのことをやるためには、当然、それについてきてくれるであろう商店街の皆さん方に対する理解を求められてはじめて、行政側は進めていっておられると思うんですが、非常にそういう点はつらい点があると思います。

全体と地区—重点地区をまず手がけていこう

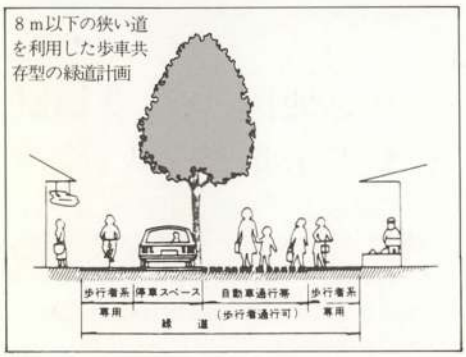
司会　いま、地区としての景観整備というお話が出ているわけですが、たとえばもっと大きい目で、都市全体の景観整備の話と地区との整備のかかわりみたいなところというのは、とくに行政と


白壁町




四間道（しけみち）


有松町―紋問屋



してむずかしい点でしょう。お困りになられることもあると思いますが、そういった意味も含めて、名古屋市の場合をお伺いしたいと思います。

石川　これまでの施策が実っていかなかったのは、やはりいろいろな行政のセクションがそれぞれ別々に計画を立てて、ばらばらに対応していたということも大きな原因の一つなわけです。全市的な見地からはやはり長期的な展望に立ったまちづくり指針みたいなものが、先ほど申し上げました景観基本計画などそういうものが必要であろうと思うんです。その策定によって市民の目指すべきまちづくりの方向性とかイメージというものも理解できるし、行政のセクションをそういった一定の方向に統括するというか、あるいは総合していくような方向も出てくる。

もう一つは、足もとの問題ですが、景観条例をつくる３年ほど前から、久屋大通り地区で、これは100ｍ道路と呼ばれているところですが、都市景観整備モデル事業というのをやってきたわけです。そこで感じたことは、たとえばごみの処理の問題とか、それから自転車の駐輪場の問題とか、それから道路とかあるいは街路灯とか、公園の植栽などのメンテナンスの問題、いわゆる足もとの問題からスタートして、さらには全体のまちづくりの方向性みたいなものまで全部ひっくるめて考えていかなければいけないということです。そういうところからいきますと、景観整備というのは、人間を中心に考えた広い意味での快適な都市、文化的な都市、国際化も入りますし、いまの活性化も入ります。これすべて景観という考え方が出てくるわけです。景観整備というのは取りも直さず、いままでのまちづくりの方向とは違った面から視点を当てた総合的なまちづくりであるというふうに考えております。

いまのお話にありました全体と地区との問題ですけれども、全体の中で、ある特定の地区、それはたとえば先ほど来お話が出ておりますように、だんだん活力を失ってきた商店街とか、それから歴史的な町並みもあるでしょうし、要するに市域全体を長期的な目あるいは広域的な目で見て、大事なところというのを決めようというのが私どもの考え方です。重点地区という言葉を仮に使うとしますと、重点地区というものを決めて、そしてその重点地区についてまず手をかけていこう。その重点地区に手をかけていくについては、これは財源との絡みがありますので、その重点地区相互間の優先順位とか、それからどこまでやるかという話ももちろん出てくるわけですが…。そういう重点地区で景観整備事業を実施していくというやり方と、重点地区以外の地区での助成制度で、名古屋市はバックアップを考えています。

先ほど中島先生からお話がありましたように、行政のフォローアップの一つとして、やはり助成制度、これはきちんと整えていかなければいけないということで、名古屋市では助成制度を実際に準備しておるわけですが、非常にむずかしい面があります。公共空間の景観整備については問題はないんですが、公共空間と民有空間の接点みたいなところですね、たとえば、準公共空間というような言葉を用いるとすれば、その準公共空間における景観形成というものをどう考えるか…。それから純然たるプライベートな空間の景観形成をどう考えていくかというようなこと…。助成といってももともとは税金ですので、納税者が納得するような助成制度でなければいけないわけで、景観のための助成となると、そこに限界がある。

実際に久屋で都市景観整備のモデル事業をやって、住民の意識を呼び起こすことの重要さを痛感しました。いわゆる景観意識を住民にもってもらうために、オピニオンリーダーといいますか、そういうような働きをとくに建築家の方々にぜひお願いしたいと思いました。

市民の理解を深めるための方策は

中島　町並みの景観というのは、行政が主導であるべきかどうかということに対していささか疑問を感ずるんです。やはり公的な空間というものは、確かにこれは行政が独占しているものではなくて住民のものなんです。ですから、住民というものが中心で、行政というのにはそれをフォローアップしながら啓発していく行政の役割があります。しかし、住民の意思が固まっていくには何かの形で規制をしなければいけない、それが条例であるわけです。条例があるから助成金を出すことができる。そういったことがあると思うんです。いろいろな市民の人たちと会う機会がありまして意見を聞いていますと、余りにも拘束があってわれわれの意見というのはどういう形で表現してくれるのか、どうもわかりにくいんだという声があるんです。住民はそれについていけないという、この辺のところが私は景観形成のために一般市民の理解を深めるには、何らかの形で整理をしておかなければならないという気がするんです。

条例をつくるについて、私どもいくつかの市の条例制定にかかわっていますが、いつも疑問を感じながら、つい意見が余り固まらないうちに網をかぶせよう、条例だ、ということになってくるんです。

石川　景観基本計画では、これはあくまで全市的な広域的な視野、あるいは長期的な視野からの一つの方向を示すということで、実際に町並み景観形成をどうしていくかということを具体的な中身として決めるものです。それぞれの地区において、その地域ごと、地区ごとの都市景観整備の計画あるいは景観形成基準の策定は、これは住民参加でやっていこうという考え方です。現実にモデル事業でも行政と住民とそれから商店街、それから企業ですね、そういったものが全部参加をして一つの委員会をつくって、その委員会で中身を決めていくというやり方をやっております。

町並みに建築物の個性をいかに表現するか

石川　これはぜひともつけ加えて言っておきたいんですが、話し合いですべてやっていける問題と、どうしても法規制という手段を使わなければいけない問題と両方あるんですが、少なくとも建築物についてはこれは非常に大事なことだと思うんです。個性という表現がいいのかどうかわかりませんけれども、そういうものを非常に大事なことだと考えています。大阪市では一部でスカイラインの統一を行い、また、建築物の色を決めているような都市もあるんですが、名古屋の場合はいまのところそういったことは一切考えておりません。とくに建築物は一つの芸術的な創造物だと思うんですが、その創造性みたいなものが非常に伸び伸びと発揮されるような形で行政がバックアップしていく、こういうのが条例の本当の精神、理想ではないかというふうに思っております。

司会　いまのお話を建築家としてはどう受け止められますか。

井上　私が、都市計画の話にかかわってきた一つの要因は、建築の単体だけでは町並みそのものを形成するということが非常にむずかしい話だと思っているからです。やっぱり、都市計画の中で単体というものを位置づけていかなければどうにもならぬという、そこから都市計画みたいなものに興味を覚えてきたことが始まりなんです。現実にいまの学生たちもそうなんですが、課題を与えるとやっぱり建築としてしかものを考えていかない。周囲の環境というものをどちらかというと無視しがちだと、そういうところが、建築家全般に言える状況じゃないのか。やっぱり目立たそう、目立とうということで、さっきの話の商店街のことじゃないけれども、自分のところが売れればいい。逆に言ったら建築家も自分の作品が目立てばいいという、その辺の観点がかなりあったんじゃないか、いままでの状況で考えますと……。そういうのが競い合うことによって逆にばらばらのまちづくりになっている可能性もある。個性ということもさることながら、やっぱり町並みにマッチしたということを建築家に考えてもらわなければいけないだろう。歴史的なまちの中にとんでもない近代的なビルが建つというようなことがないような感覚を、建築家自身が養っていかなければいかぬのじゃないかということをずっと思っています。

桜井　恐らく、その地区固有の何かを目指そうとしているわけですから、一般的にそれを考えるというのもやっぱりむずかしい問題があると思うんです。そういった意味で、別のところで石川さんから伺った名古屋市がやっておられる事前協議制は、いま伺った委員会とセットになって非常に重要な仕組みじゃないかと思うんです。
事前協議というのは、ある地区の固有の景観整備の方向というのがあって、その方向づけに合わせた具体策を検討でき、だれからも強制されるわけでもないという点で非常に創造的なものが出てくる仕掛けじゃないかと期待しています。そこの中で建築家も創造力を発揮できるんじゃないかという感じがするんです。

中島　事前協議制は、個性のあるまちづくりということで言いますと、きわめて抽象的なんです。あるべき姿というもので〝協力をお願い条例〟みたいなものですね。たとえば久屋大通りであれば、久屋大通りはこういった形のものが望ましいという一つのビジョン的なもの、ある程度視覚に訴えるようなものを打ち出していただいて、その中でデザイン性というものを建築家の皆さん方に最大限度発揮していただく、そういったものがあるべきです。できた設計図を事前協議という名で後から手直し的な協力要請では、果たしてそれでいいんだろうかという疑問が少し残るんですが。

桜井　作業にとりかかる前の段階から事前協議を行えば良いと思いますが……。

石川　実際の場合は、まちのビジョンみたいなものを掲げて、整備計画というものをつくっております。事前協議を実際にやっておりまして、経費の問題とかいろいろあり、施主が市の助言、指導に対してなかなか「うん」と言わないというときに、行政のサイドに立って建築家の先生方が一緒になって施主にこうすべきですよということを言ってくださるんですね。やはり全体として地元の住民も参加してそういうまちにしていく、専門家の方々もそういう形で施主に対していろいろなアドバイスなり自分の考え方を話される。
久屋の場合は、あくまでモデル事業ですから法的な拘束力が全くないわけです。何が行政指導の実効性の担保になっているかというと、やっぱり地域の人たちのまちづくりに対する熱意みたいなものですね。そこへ入ってきて建物を建てるという人も、やはり今後の近隣関係があるものですから、そういったことが一つの実効性を確保する担保になっているみたいなところが確かにあります。

行政と住民と建築家のコンセンサス

中島　ある県で屋根のある文化をつくろうということで非常に強い意志統一がありまして、私もかかわっているわけです。屋根があればいいというんで、とんでもない屋根が出てくるんです。そこに、北欧風の屋根あり、日本古来の屋根もありで……。抽象的に屋根と言いましても、そこにはやはり、個性のある、特色のある、あるいは住民の期待する、その地区の風景を展開するためにはどういうものかという十分なコンセンサスがなければいけないと思いました。この辺もしも一つ間違いますと、違った方向に、別の風景が展開されるということを心配するわけです。

桜井　とかく東海地区というのは、先取りの気風に欠けるということが言われています。これが実態であるとすれば、規制のある方が景観整備を行いやすいということになりかねません。しかしむろんそれは問題です。したがって事前協議のような非常に緩やかな創造のための考え方が行ったり来たりする「場」の設定が、ここしばらくは半分くらい常識となり、いずれは完全に常識になると良いと思います。景観というものはどっちみち現時点では最終ゴールが見つかりっこないですし、むしろ一種の運動体、常に景観形成を図っていく仕組みとしての運動体が地域ごとに用意されればよろしいかと思うんです。

中島　行政と住民と建築家の三者の共同作業でまちをつくっていくということでしょうね。

司会　お忙しい中、本当にいろいろな貴重なご意見をありがとうございました。まだまだおっしゃりたいことがおありと思いますが、残念ながら時間が参りましたので、この辺で終わりにしたいと思います。

久屋大通りの景観整備モデル事業の一部



日本の瓦は、今をさる1400年の昔、飛鳥時代に百済の国から瓦博士によって伝えられたといわれています。

瓦という名の語源は、梵語「加波羅」(kapāla)から来ているといわれるように、仏教の伝来とともに招来したものと思われます。当初は、瓦屋根は寺院に限られていたのもこのような事情によるものと考えられます。

室町から安土・桃山時代にかけては城の屋根に、江戸時代に入ると、武家屋敷でも瓦が使われるようになり、やがて商家や民家へと広がっていきました。

三州瓦のおこり

三州瓦は、矢作川の下流近くの桜井村から西尾地方にかけての台地で始められ、碧海台地の良質で豊富な粘土を利用して発達したが、その後、海上交通の便利な衣浦湾岸に進出してきたものであるといわれています。

江戸時代も中期となった８代将軍吉宗（1716年～1745年）の頃、当時の三河地方は幕府の直轄領であったこともあって、幕府の奨励政策に呼応した瓦産業が発達し、この頃はすでに「三州瓦」の名が成立していたものと推定されます。

三河地方において瓦産業の発達した理由として、つぎのようなことがあげられます。

1. この地方一帯の洪積層台地下には、良質の粘土が豊富に産出したこと。
2. 大浜をはじめとする良港が近くにあったこと。
3. 当時の三河地方は、幕府の直轄領であり、その奨励を受けるのに好都合であったこと。

このような理由によって、江戸での瓦の需要の大部分を三州瓦が担うほど瓦産業が発達していきました。

三州瓦の発展

明治維新の動乱期には、瓦製造業者もその影響をもろに受け、瓦産業は不振の時代が続きました。回復に向かったのは明治10年（1877年）の西南の役以後のことでした。その後、東京など都市部のめざましい発展にともなって次第に生産が伸びていきました。

その後、大正・昭和と産業技術の発達にともない、瓦の製法にも新たな工夫がなされ、いぶし瓦、塩焼き瓦、釉薬瓦が誕生し、現在に至っています。

釉薬瓦が今日の隆盛を招くようになったのは、トンネル窯による大量生産が可能になったことと、釉薬の研究が進み、さまざまな色どりの瓦が生産できるようになったことが、最大の理由であるといわれています。そしてこれらの技術開発は、いずれも三河の業者の努力の結果によるということです。

長い伝統を持つ三州瓦は、いくつかの盛衰を繰り返しながらも、良質で豊富な粘土と地理的条件をもとに、伝統的な技術に支えられて、いぶし瓦から始まり素焼き瓦、大量生産の可能な塩焼き瓦を経て、さらに釉薬瓦へと発展をとげ、今日では日本一の産地としての地位を獲得するに至っています。

（昭和57年度地場産業総合振興事業により作成のパンフレットより）



高浜市立武道館（いぶし瓦）



高浜中学校柔剣道場

三州瓦
―高浜―

東海の建築地場産業●ルポ１

高浜市役所
川角年比古



高浜勤労者体育センター



高浜市立福祉作業所

1 瓦原土として名高い三河地方の粘土を採掘。良質粘土を使用。



2 良質粘土数種類を配合機で配合し、真空土練機で土練する。



3 よく練られた荒地を高圧プレスでスピーディに瓦の形に成型。



4 プレスされた瓦を窯の余熱乾燥装置と高速乾燥装置で乾燥する。



5 乾燥された素地は、自動施釉機により釉薬がかけられる。



6 焼成台車に積まれ、1150℃のトンネル窯で24～30時間焼成。



7 焼成された瓦の形状・色・キズ、また吸水性・耐荷重性を検査。



8 チェックにパスした製品をしっかり梱包し、全国に向けて出荷。



トンネル窯の製造工程　参考資料：「建築設計のための屋根マニュアル：瓦」愛知県陶器瓦工業組合発行

三州瓦の主要品目

種　類	特　徴
陶器瓦（ゆう薬瓦）	陶磁器と同様に、ゆう薬つまりうわ薬によってさまざまな色を焼き出すことができる。大規模なトンネル窯によって生産される。日本型、S型、フランス型、スパニッシュ型、特殊型などがある。
いぶし瓦（黒瓦）	いわゆる黒瓦である。従来は土窯（だるま窯）による松割木や松葉でいぶし出していたが、現在はＬＰＧガスによっていぶしを出している。独特な渋い色つやが魅力である。単独窯および大規模なトンネル窯によって生産されている。新暦および磨瓦がある。
塩焼き瓦（赤瓦）	一般に赤瓦と呼ばれている。焼成中に食塩を投入し、その作用によって瓦の表面に赤褐色のガラス状被膜を作る。窯の種類は倒えん式角窯である。現在生産数は少ないが、寒冷地において需要はかなりある。

58年わが国におけるシェアの割合　（下記組合資料による）

	全国生産量（出荷数量）	三州瓦生産量（出荷数量）	割　合
陶器瓦	1,244,187千個	495,768千個	39.8%
いぶし瓦	344,813	46,426	13.4%
合　計	1,589,000	542,194	34.1%

組合名	主要製品	地　区
愛知県陶器瓦工業組合 Tel 0566－52－1200	陶器瓦(ゆう薬瓦) 塩焼瓦（赤瓦） トンネルいぶし瓦（黒瓦）	高浜41社 碧南20社 刈谷その他６社
三州瓦工業協同組合 Tel 0566－53－1420	単独窯いぶし瓦（黒瓦）	高浜70社
三州碧南瓦工業協同組合 Tel 0566－41－0424	単独窯いぶし瓦（黒瓦）	碧南30社

常滑焼
―常滑―

東海の建築地場産業●ルポ2

福田泰造建築設計事務所
福田泰造

焼き物（陶磁器）を人類の生み出した最初の人工建築資材と考えるのは危険な推測かもしれない。しかし、新石器時代に土器、陶器がわれわれの生活の中に入り込み、エジプト、アッシリア、バビロンでは紀元前1400年頃に今日のタイルの原形が建物の装飾、防水等の目的で使用されていた事実は、歴史が証明している。

日本におけるその歴史は、輸入品を除くと西洋建築の導入以後、具体的には英国人建築家コンドル氏の来日までさかのぼり、その後淘汰開発されて現在にいたっている。ことに戦後の建築様式、生活様式の変化が与えた影響は周知のごとくである。このような焼き物の淘汰、発展、一陽来復がいかにわれわれの生活の美化の中にかかわってきたのか、常滑焼を通して尋ねてみよう。

源頼朝が伊豆の配所で朝な夕なに古常滑の壺を鑑賞し、来るべき日に備えていたのは、そのテクスチェアーの持つダイナミズム、人と土との葛藤を読み取っていたのかもしれない。常滑の焼き物の歴史は、遠く平安後期にまでさかのぼり、日本六古窯に数えられ、その中でも一番古く、規模も最大なものと言われる。宗教用品として誕生し、国焼の源流となっている。西暦1100年頃から経塚が著しく普及し、経塚壺（写経を納める容器としての壺）の多くは常滑焼である。

南北朝から室町にかけて、国の経済機構が整えられると、次第に生活用の壺、瓶（かめ）の需要がおこり、地理的な有利さから海運の便に手伝われ、各地に広まることになる。

戦国時代に入り家康の母、於大の血縁にあたる緒川水野氏の一族が知多半島を制し、常滑城三代目城主水野監物は茶道に通じ、千利休とも親交を持ち、文化の中心的存在であった堺衆に常滑の壺を紹介しているが、本能寺の変で明智方に組みしたため、千利休が銘づけた不識壺（ふしきつぼ）の呼び名が残るに留まった。

その後文政、文化年間の頃、現在の伊奈製陶の源にあたる初代伊奈辰三郎が辰三と号し、二代目辰三は藻（も）がけ作品を創製している。江戸末期に入り名工が輩出し、初代杉江寿門の手によって朱泥焼（しゅでいやき）の誕生を見、初代山田常山の轆轤（ろくろ）の完璧なうまさも手伝って朱泥急須の質は高まっていった。

明治以降は朱泥焼、土管、タイル、衛生陶器および植木鉢などの生産に活路を見出し、とくに登り窯や倒焔式（とうえんしき）窯をいち早く採り入れ、建築資材の分野では多大な評価を得、生活様式あるいは建築様式の変遷にも対応して現在にいたっている。その中でもとくに半磁器タイルの分野では国内を独占し、アメリカ、東南アジアでの需要も増加している。陶芸も今日では朝日陶芸展でグランプリを受けるなど、1972年のヴィエンナーレ国際陶芸展で名誉最高大賞に輝いて以来脚光をあびつつある。

現在、常滑市の産業別工場数構成比において窯業関係の占める割合は65.2%にまでおよび、その従業者の割合は65%に達し、名実ともに焼き物の町としての性格をあらわしている。しかしその将来を問うとき、彼らの顔は曇る。世は、まさに世紀末に突入し、科学技術のめざましい進歩、そしてこの春開催される科学博はわれわれに来世紀の可能性を示唆してくれよう。そんな中で焼き物の持つ炎の結晶の美の追求と、産業廃棄物などのエントロピーに立ち向かう研究開発に敬意をこめて18世紀の偉大な学者ロバート・マルサス氏の言葉を贈り、焼き物のますますの普及を祈る。

「希望は永遠(とわ)に、人の胸にぞ湧く、よしやめぐみはいまだしとも、いつかはそのことあらん」

資料：伊奈製陶㈱タイル事業本部藪井氏／常滑市役所商工課山西氏

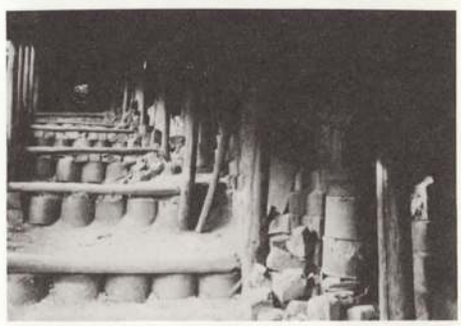




焼き物散歩道からの風景



焼き物散歩道



登り窯

常滑物のタイル使用の主な建物

・日本橋丸善	・名鉄バスターミナルビル
・帝国ホテル(旧・新)	・東京ヒルトンホテル
・大阪中央電話局	・兵庫県庁舎
・総理大臣官邸	・朝日新聞大阪本社
・警視庁	・新建築会館
・名古屋市公会堂	など



常滑市民俗資料館



常滑文化会館

やきもの
―瀬戸―

東海の建築地場産業●ルポ 3

愛知工業大学建築学科
建部謙治

千余年の伝統を誇る「やきもの」の町・瀬戸の周囲に広がる丘陵地は良質の陶土の豊庫であり、この土なくして瀬戸焼はありえなかった。町を見おろす瀬戸公園に建つ陶祖藤四郎の陶碑には、宋から製陶術を持ち帰り、学んだ技を瀬戸で広めたと伝え、瀬戸窯業発展の歴史の一面を物語っている。

鎌倉時代の初めには、すでに古瀬戸と呼ばれる施釉陶器を生み出し、その後、九州の磁器におされ衰退はしたものの、江戸後期に、加藤民吉によって磁器の製法が伝えられ、今日の繁栄の礎を築いた。

現在、瀬戸における「やきもの」の生産額は全国の15%を占め、人口12万人のうち大半が窯業関係者である。

1652年（承応元年）に、瀬戸・定光寺の源敬公廟の敷瓦は、中央に花、対角に唐草のあしらいを薄い鉄釉で抽き、全体に古瀬戸や志野釉が施されたもので、日本のタイルの原型というべきものである。1885年（明治18年）には、瀬戸で新製磁器タイルの生産が始まる。昭和58年工業統計調査によると、陶磁器製タイルの事業所は28、従業者数は666人、製造品出荷額等は61.5億円で、窯業・土石製品全体からみると、従業者数では4.9%、製造品出荷額等では5.5%しかない。また全国タイル業協会の調べでは瀬戸市の国内シェアは全体では4.3%である。現在の瀬戸市の窯業製品は、和・洋食器、インテリア小物、ノベリティに代表され、これらにおされる形で、タイルの生産量は増加しているものの、比率の上では低下する傾向にある。

小規模層の事業所が多い中にあって、100人程度のものとしては、昭和陶園、大和窯業、品野セラミックタイル工業、国代耐火工業所などが上げられ、主に内・外装タイル、床タイルを製造している。しかしこれらのものを含めても、販売も行う事業所はきわめて少なく、大手の常滑・伊奈製陶の下請や製造のみというのが大半である。

タイルは乾式と湿式に分けられ、瀬戸においては乾式が多い。瀬戸の建築用陶磁器製造販売の最大手・昭和陶園でも乾式のみを扱っており、湿式については今後も考えていないとのことである。これは、乾式のものは湿式と比べると、確かに表情が冷たく人間臭がしないが、量産が可能で安く、寸法精度がいいことから作業性にも優れているということで、その裏には、敢えて湿式を扱う大手と競合することはないということもあるようだ。

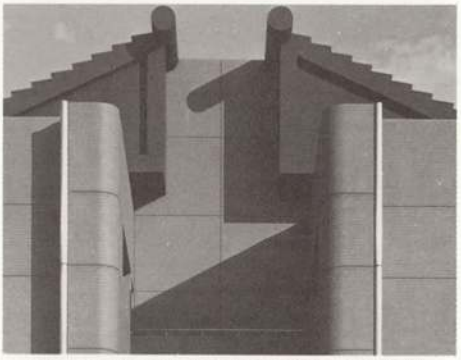
こうした中にあって異色な存在なのは、建築用レンガタイルのトップメーカである国代耐火工業所である。同社はＰＳ特殊レンガ等の新製品の開発を行う一方、これらのレンガタイルを使った「合掌工法」や「レンガメーソンリーパネル工法」等の新工法をつぎつぎに開発し、今年３月にオープンの筑波科学万博の外国館の壁面には、この新工法が採用されるなど独自の展開を計っている。しかし、昭和50年代の初め頃をピークに、「外装タイルは日本の風土を考えると磁器でないといけない」とする論争が業界内ではあったことが示すように、必ずしも楽観的ではないようだ。

国内は言うにおよばず、発展途上国の追い上げもあると聞く。瀬戸の建築地場産業にとっても、まさにその資質が問われる時代に入っている。

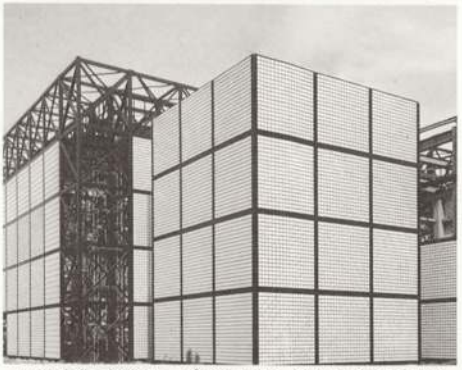
参考文献：瀬戸市勢要覧、パンフレット瀬戸、「日本のタイル」伊奈製陶㈱製作1983、他多数の方々から協力を得た。



現在の瀬戸市街 ―エントツの林立する姿は今はない―



乾式タイル施工例－福岡県庁議会棟－昭和陶園



レンガメーソンリーパネル工法－科学万博Ｇブロック外国館－国代耐火工業所



原土採掘場―最近、今の使用量でいっても100年の埋蔵量の木節粘土が窯神町から採掘できることになった―

大理石
―岐阜赤坂―

東海の建築地場産業●ルポ 4

間組岐阜営業所
丹下義憲


岐阜県関ケ原町にある業界一の工場

大理石は、西洋では2000年有余前の古代ギリシャ、ローマの時代から神殿その他の建造物の建築に用いられており、パルテノン宮殿など今もなおその偉容を誇っているものがある。

日本では、古くから築城、神社、仏閣などの礎石、石垣、階段ほかに石材が使われてきたが、大理石を建築用材として用いるようになったのは明治中葉ごろからで、それまではもっぱら置物など細工用材として使われていたに過ぎない。

明治以降、西洋式建築が始まり、石材が建物の内壁や外壁に貼られるようになった。なかでも昭和11年の国会議事堂は、戦前を代表する石造建築物と言える。この議事堂建設に当たっては、明治末から建築用石材の全国的調査が行われ、それに基づいて各地から集めた石材を建物の各所に使用されたものである。

戦後日本経済の復興とともに、S造、SRC造の建築が盛んになり、国内産のみならず、外国産の石材が建築物の内外装に使用されるようになった。国内産の大理石では山口、岐阜、岡山、徳島などの各県から昭和30年代まで相当量が採掘され、とくに35年前後では年間2万トンほどに達した時期もあった。

ところがわが国の大理石は種類が多い反面、色調の濃淡が一定していないことと、品質面などから大規模建築に大量に使用することが困難であったこと、そして埋蔵量の減少から、建築用材として使用されることが少なくなり、その多くを輸入に依存するようになった。現在では国内採掘量は2～3百トン程度と言われている。

昭和58年の大理石の総輸入量は約4万トンになっており、建築物の内外装に使用されている97%（ただしテラゾーは除く）が輸入に依存している。御影石においても75%という状況である。

石材加工産業が岐阜県赤坂地区に発達したのは、赤坂地区に産出される大理石により、大理石小細工業が天保年間（1830年頃）にはじまり、緒締め、すずり石、花瓶など各種の細工品が作られるようになってからである。

建築用材としては、明治24年頃、米人技師キルテール氏により、美濃赤坂金生山より産出する石灰石（大理石）を板石に加工したのが始まりで、その後欧米の文化輸入とともに、石材業界も、小細工業から大理石工業への脱皮が図られるようになった。

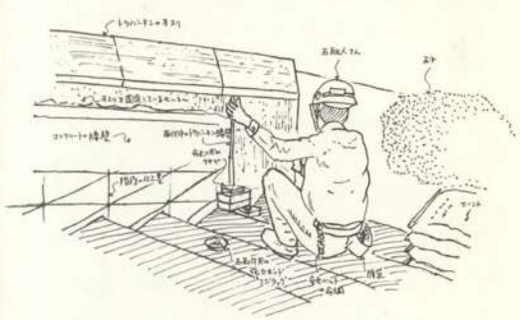
以後、輸入材の比率が高くなったにもかかわらず、地場産業として定着していった。昭和58年のこの地区における建築用材の全国シェアーは、売上高において、大理石で約80%、御影石で約65%を占めている。

企業者としては全国シェアー40%の関ケ原石材を筆頭に、業者老舗の矢橋大理石商店、安藤大理石商店、安藤工業、フジ大理石、和田大理石工業、松岡大理石工業など約30社の石材業者が、この地区に集中している。

現在の取り扱い品目は、内外産大理石、御影石、その他建築用石材の採掘、加工、販売、施工。テラゾーブロック、テラゾータイル、擬石、石貼プレキャストコンクリートの製造、販売、施工。大理石モザイク、工芸品の製造、販売。墓石、記念碑、造園用石材の加工、販売。砕石の製造、販売。精密石定盤、マシンベースの製造、販売。石材加工機械の製造、販売。


輸入原石を収容する大倉庫


直径3mの大丸鋸を擁する工場


階段の腰壁を施工中の石職人


御影石プレコンウォールの伊藤忠商事東京本社（間組施工）

昭和59年度・第５回若い会員の集い

みどり学習会（第11回）

滋賀の秋

県立近代美術館・住友活機園・ＮＥＧ大津工場を見る

レポート

昨年11月10日(土)、滋賀の秋を訪ねる機会に恵まれた。集合時間が早いのにもかかわらず多数の参加者があり、この企画に対する関心の高さがうかがわれた。

日本電気硝子大津工場では、初めて見るガラスの製造が興味深く、とくにその機械化による合理的作業の流れに関心が寄る。また、磯崎新先生設計の厚生会館の色彩・空間・素材の選択による非常な大胆さと緻密さとの共合同席は、ガラスブロックを透かした光の中で美しくかがやいていた。

つぎに立ち寄った住友活機園では、大阪芸大の山形政昭先生から説明を受ける。華美に染まらぬ素朴な建物は、近代日本建築の様式論に酔った当時の建築界の中で、純粋に建築を愛した野口孫一氏の人柄がしのばれた。

滋賀県立近代美術館では、滋賀県文化ゾーンの全体計画、および『滋賀方式』による美術館の設計・計画段階からの流れを、滋賀県審議員文化担当の本城博一氏に語っていただいた。

さらに、今回のみどり学習会の本題『美術館の庭園』を、その造園計画・施工指導にあたられた伊藤邦衛先生自らのご案内のもとに、見学することができた。『なぜ、ここに日本庭園か』――伝統的手法、心をふまえた上での日本の文化、生活の知恵からなる精神的なものを大切にするという意識の象徴であるようにと、また、それこそが日本庭園の今日性のなせるわざである――と語る先生の、この庭園に見せる術は、美術館を訪れる人々に、心の安らぎを与えるべく、厳として生まれたようだ。美術館（これ自身、美術品のフレームであるのだが）の更なるフレームとしてこの庭園は、その水面に美術館のシルエットを映しながら、息づくことだろう……。

折良く、当美術館で開催中の小倉遊亀展にも心を躍らせることができた……。

レポータ・**続木正之**／野村建設工業株式会社



本城博一氏に聞く







伊藤邦衛氏と近代美術館の庭園を見る



住友活機園



滋賀県立近代美術館入口



ＮＥＧ大津工場(食堂)にて

見て、聞いて、おもうこと

石川　康介

ＮＥＧの厚生施設はベージュと茶のストライプ、ガラスブロックにより外壁がまとめられ、モンローカーヴが一部に付けられ、アクセントとなっている。構造上の理由でガラスブロック壁に取り付けられたブレースは、既存の工場群と調和を図っていると言えなくもない。食堂における柱頭のトロンプルイユは控え目であり、階段室などは初期近代主義的なナイーヴさを持っている。最上階の体育室はガラスブロックからの光に満ち溢れ、この上もなく健康的である。工場敷地内という制約に対する巧みな解答が随所に見られ、苦労がしのばれた。やや即物的な面が気になったが、全般的におとなしく、控え目な印象を与える作品で、ガラスブロックとネオパリエを使用した一つの模範的解答例であるだろう。

つぎに訪れた住友活機園は、時間的余裕に欠け、じっくり見ることが出来なかったのが心残りだが、このような建物が管理良く、整然と存在し続けている事実に感銘を受けた。森の中の佇まいは端正そのものである。「利用する人々は、この建物の良さを十分に理解していない」と支配人の永江照男氏はつぶやくように言われていた。いつまでもその姿を保ち続けて欲しいと願う建築である。

造園の門外漢である私には書く資格はないが、本来プライベートな性格を持つ日本庭園からパブリックな「公」園への移行・転換において不特定多数に対する安全対策、人々に理解され好まれる型の創造、閉鎖された庭から開放された庭への工夫などに、伊藤邦衛氏独自の手法が生まれると解した。文化ゾーンの中心的景観を形成するこの庭園に施された数々のトリック――「主景の眺めの場としての受けの山」は、同時に高速道路の騒音遮蔽と琵琶湖方面への展望台の役目も兼ねるという。また形成された渓流の水音は安らぎを与えるとともに騒音をかき消す仕組み、もともとこの自然の地形にあったかのごとく配置された人工池など――は、説明されて初めてわかるといった具合である。

「日本の風土から生まれ、日常生活、習慣、文化に密着して育まれてきた日本庭園に見られる合理性、今日性は、そのまま現代都市における使い捨て文化に対する批判ともなり得る」と熱っぽく語られたが、自作品の写真を提示されながら「どうです、これイイでしょう」と話される氏に、造園に対する愛情と若々しい情熱を感じたのは私ばかりではないだろう。

（近畿大学建築学教室）

自然を造形すること

池杉　文昭

造園は字のごとく“園を造る”ことであり、人間と環境との間に均衡・調和をもたらして、豊かな人間的環境をつくっていこうとするものである。今回のみどり学習会で催されたびわこ文化公園文化ゾーンにある“夕照の庭”の見学は、都市公園の中の造園として洋風庭園が多く見受けられる昨今で、約 20000㎡の大面積に周囲の建築群から独立して廻遊式の日本庭園をつくり、さらにそれを地形の構成から手掛けられ、材料として通常の樹木などのほかに3000㌧近くもの石が使用されたことで興味深いものであった。

設計者の伊藤邦衛氏は自らの作庭を造形意識をもつ建築的手法と機能意識をもつ土木的手法を結びつけて、さらに造園意識をもって味付けするトータル・ランドスケープ・アートとして位置づけられ、“水の流れ”を例に説明された。それは――渓流を流れる水と大河を流れる水とでは物質H_2Oとしての水は同じであるけれども、そのとりまく環境や自然によりさまざまな表情をもつものであり、われわれがそれから受ける感情もまったく異なる。水を一つの媒介と考え、人間が感じるさまざまな自然の変化や営みあるいはそれに対しての感動や感情を、自然の“もの”の本質をとおしてイメージして、間接的に自然物を造形表現し、見る人間と自然を共有化することである――という。

例にされた“水の流れ”は日本人の好む生々流転という一つの物語性をもち、日本人の自然観を表現するには最も適切な作庭手法であると思うが、これらを含めて自然に従いつつ自然を造形化するという行為は、逆に自然を異和感なく人工的に秩序化してゆくことであり、大変な作業であると思われる。

“夕照の庭”は中央の大小の池をはさんで、北に展望のきくゆるやかな起伏の築山と東から南にかけて樹林の中を石組のせせらぎが流れ、源には巨石組のある築山とで構成されている。庭園の設計はせせらぎや樹林、石組がきわめて自然となるように地形の設定からはじまったという。

アイ・ストップと高速道路の騒音を遮るためにつくったという北の築山から降りれば、まさに一つの園の中であり、船着場から美術館を眺めつつ左へ大きく廻遊し、二つの池をつなぐ滝にかかる橋をわたり、せせらぎの奥へと分け入ってゆく。巨石が象徴的なせせらぎの源から、水は勢いよく石にぶつかりながら石組の間を流れてゆく。源での石組はいくらか峻険で水音は荒くもあるが、下るに従いさらさらと表情豊かにすべってゆき、ゆったりと池へ流れ込む。残念ながら水下より水上へと散策してきたのであり、夕暮れも近く、雲も出ていたため、樹林の陰えいや水面の表情の細やかさは見落としてしまった。

庭園の完成期を幾年後にされているかはわからないが、樹木が深林となり、石が苔むしたとき、作者の意図どおり、自然の妙や造園としてのスケールも発揮されるに違いない。

通常よりも多くの巨石を使用していることは作者も述べているとおり、大面積の日本庭園のスケールに負けないためであろうが、広い庭園の節目には巨石のもつテンションの強さが造形され、景観にインパクトを与えているように思う。

この日見学した三つの建築――知性的で直截な表現の日本電気硝子の厚生棟と、おおらかなディテールをもつ近代洋風とスケールをおとした和風を兼ねそなえた住友活機園、そして艶やかであるがさりげない滋賀県立近代美術館――と、伊藤氏のことばと庭園に、建築における自然性とは何かと考えさせられる……。　（近畿地方建設局）

日　時　昭和59年11月10日(土)　集合 8：50→解散18：45
（貸切バス・1日コース）
講　師　伊藤　邦衛氏（伊藤造園設計事務所代表取締役）
本城　博一氏（滋賀県審議員・文化担当）
参加者　43名（他に現地参加43名有）
スケジュール及び見学先
9：15　大阪出発　（車中あいさつ）　森岡主査
10:45→12:15　日本電気硝子㈱大津工場並びに厚生棟の見学
12:20→13:03　昼食・休憩
13:15→14:00　住友活機園（伊庭貞剛邸）見学
説明　山形政昭氏（大阪芸術大学講師）
14:20　滋賀県立近代美術館到着
14:30→14:50　説明「文化ゾーンの全体計画について」
本城講師
14:50→15:10　説明「美術館造園計画について」伊藤講師
15:15→15:50　庭園見学（案内・説明　伊藤講師）
15:50→16:20　講演「近代美術館造園その他」　伊藤講師
16:20→16:30　質疑応答
16:30→17:00　自由行動（小倉遊亀展観賞ほか）
17:15　出発→……18:45　大阪着・解散

コラム

旧加東郡公会堂（現在・社町公民館）と社町の人々

―今後どのように評価していくか―



・所在地
兵庫県加東郡社町
社777-9
・建築年代
起工　明治44年
竣工　明治45年
・設計
美登路伊造松
（推定）
・施工
大熊平蔵
（地元大工）
・構造概要
木造平屋建

最近大修理をし明治の美しい姿がよみがえった旧明石郡公会堂（明治44年、明石市相生町１）とともに、兵庫県下に現存する数少ない貴重な明治の公会堂である。

明治時代には自由民権思想の興隆とともに多数の民衆を一堂に集めて講演や諸種の催し物を行うという社会的な要請が出てくる。県下でも多紀郡公会堂（明治26年）などが和風で建てられているが、その多くは取り壊されて今はない。現存するもので初期のものとしては旧奈良公会堂（明治36年）があるが、これとて保全再生の声がある中で取り壊しが予定されている。これらの公会堂は老朽化のために次々に取り壊され、新しい市民会館、公民館へと建て替えられていっている。

旧加東郡公会堂の外観は、鎌倉時代の建築を取り入れ、玄関車寄には唐破風、入母屋の大屋根には千鳥破風が設けられた堂々としたものであるが、内部構造はキングポストトラスなどの洋式構造となっている。この建築の材木は、近くにある清水寺の山森から買い入れたもので、明治末期に焼失した清水寺の諸建築再建用の材木を大阪の越井材木店が買って郡に寄附して建てたといわれている。なお清水寺の建築は大正７年に武田五一博士らによって設計されているが、この公会堂の設計者美登路伊造松は清水寺の設計にも参加したといわれている。

折上格天井の 120畳敷きの大広間は、公会堂の開館を記念して尾崎咢堂、犬養木堂が演説をしたといわれている。完成を記念して提灯行列が続き、他の村々からこの立派な公会堂を一目見ようと見学者が続いた。そして完成日から、社町にはじめて電灯がつき、人々の目をおどろかせた。

この公会堂は現在社町公民館として使われているが、老朽化を理由に取り壊しの計画がある。

しかし地元の人々の一部や近代建築の研究者の間では、明治の貴重な公会堂を保全再生してほしいという声が出ている。また、昭和57年に日本建築学会から歴史的に貴重な建造物という評価が文書で提出されている。昭和58年７月には京都大学木材研究所の石原茂久博士が現地調査をされ、「部分的に傷みはあるが、構造体そのものは堅固で、修理すれば100年、200年は大丈夫である」と診断されている。調査をされているときも、地元の人々が数人来られ、口々にこの建築への保存の必要を熱心に話されていた。これは建築的な価値よりも、地元の人々にとって長い間親しまれてきている明治の宝だという人もいるが、修理費を心配して、もっといいものに建て替えたらよいという人も多い。

いずれにしても、このかけがえのない歴史的建造物を今後どのように評価し、扱ってゆくか、社町の姿勢が注目されるところである。

（兵庫教育大学住居学研究室／柴田正己）

TOMNECS

ビル群管理システム

合理的なビルの総合管理を実現します

集中監視
遠隔制御　設備管理　防災保安管理　清掃管理
プログラム処理　環境衛生管理　営繕業務　マンション管理

東洋ビルサービス株式会社

本店　〒540 大阪市東区釣鐘町2丁目36番地　ニュー大阪ビル　電話(06)941—1381
東京支店　〒101 東京都千代田区神田小川町3丁目6番地　大都ビル　電話(03)233—0326
営業所　札幌　仙台　名古屋　福岡
大阪ビル群管理センター　〒540 大阪市東区京橋3丁目37番地　大阪大林ビル　電話(06)943—1131 内線2723
東京ビル群管理センター　〒101 東京都千代田区神田司町2丁目3番地　東京大林ビル　電話(03)292—1111

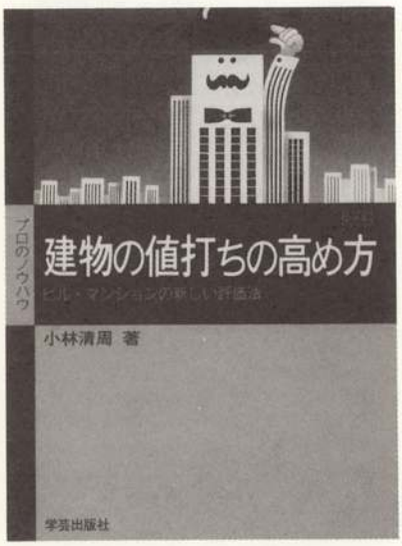
企画・日本建築協会

実務に役立つノウハウをわかりやすくまとめた　プロのノウハウ　小林清周 著

建物の値打ちの高め方

四六・208頁・定価1700円

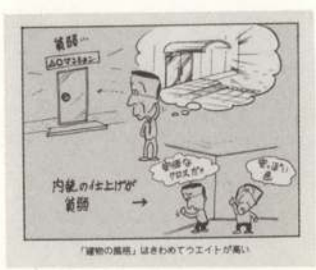
ビル・マンションの新しい評価法



外壁塗替えの前と後では，マンションの売買価格に100万円以上も開きがあるという．どうしてこのような差が出るのだろう．住まいを選ぶ時，人はどういう価値基準で判断を下すのか．本書は，人間の価値観をアンケートの解析など様々な方法で分析し，建物の的確な評価方法を提示したものである．これまでの建物評価法は，専門家の立場からみたハードな手法に頼ってきたが，本書では建物の使用者側の意見から算出したソフトな手法で建物を評価し，また，それを活用して建物の値打ちを高めるアイデアを公開する．目に見える値打ちも見えない値打ちもわかりやすく解説した．

●目次●

1　これまでの建物評価法
2　ビルの新しい評価法
　テナントによるアンケートと数理解析／ビルの立地条件／ビルの建築条件／ビルの経営条件と総括評価
3　マンションの新しい評価法
　居住者によるアンケート／マンションの立地条件／マンションの建築条件／マンションの管理条件と総括評価／他



〈目録進呈〉　学芸出版社　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入　☎075-343-0811

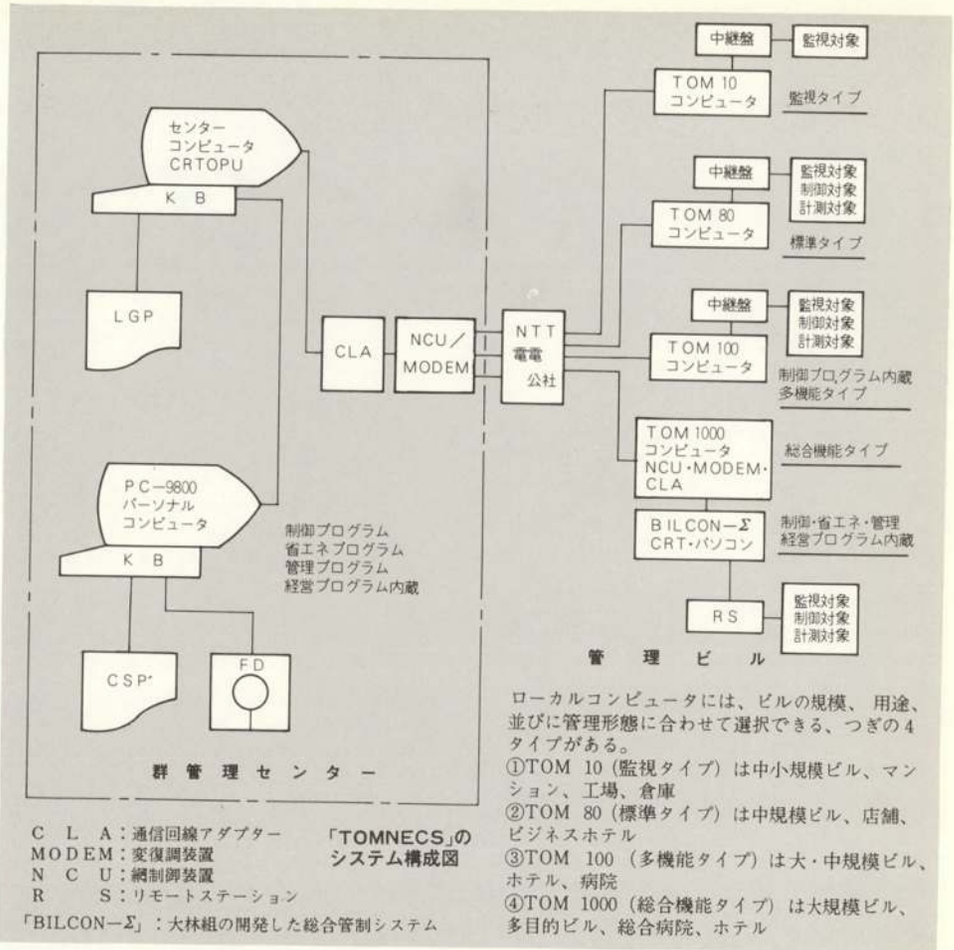
設備の頁

125 ビル群の集中管理システム「TOMNECS」

大内　幸雄

ビルの管理業務には、設備機器の運転管理、防災保安管理、環境衛生管理、清掃・営繕およびサービス業務などがある。さらにこれらの業務は相互に密接に関連しており、効率のよい管理を行うには、これらの業務を総合管理する必要がある。このため、コンピュータ利用などにより、設備機器の運転管理と防災保安管理の総合システム化などが計られつつある。

今回開発したビル総合管理システム「TOMNECS」(Total Maintenance with Network Control System)は、広域に点在する複数ビルの各種設備（電気・空調・衛生・防災・防犯など)を、電電公社の一般加入電話回線で管理センターと結び、集中して監視と運転制御を行うものである。この管理センターへの集中化によって、省力化ができ、管理コストの低減が可能となる。またビル機能の安全性と信頼性の向上、並びに省エネルギーが計れる機能および運用体制となっている。



C L A：通信回線アダプター
MODEM：変復調装置
N C U：網制御装置
R S：リモートステーション
「BILCON−Σ」：大林組の開発した総合管制システム

「TOMNECS」のシステム構成図

ローカルコンピュータには、ビルの規模、用途、並びに管理形態に合わせて選択できる、つぎの4タイプがある。
①TOM 10（監視タイプ）は中小規模ビル、マンション、工場、倉庫
②TOM 80（標準タイプ）は中規模ビル、店舗、ビジネスホテル
③TOM 100（多機能タイプ）は大・中規模ビル、ホテル、病院
④TOM 1000（総合機能タイプ）は大規模ビル、多目的ビル、総合病院、ホテル

システム構成

TOMNECSのシステムの全体構成は、管理センターに設けたセンターコンピュータと、個々の管理ビルごとに設けるローカルコンピュータ、およびこの間のデータ（管理情報・信号）を伝送するために利用する電電公社の一般加入電話回線網からなる。(図参照)

センターコンピュータ　CRTオペレーションユニットで管理ビルのすべての監視機能・表示機能・運転制御機能・プログラム機能・テーブル変更機能があり、管理ビルからの情報は14インチカラーグラフィックCRT画面に表示され、操作は専用キーボードとライトペンで行う。また管理センターでのすべての監視・制御操作の内容を記録するためのマイコン内蔵のコンソールプリンターと、収集した管理情報を分析処理するためのパーソナルコンピュータを附設しており、最大100現場まで(1現場最大1000点）管理することができる。

ローカルコンピュータ　管理ビルに設置するローカルコンピュータは、決められた機器・センサーでの監視項目の異常発生時には、その内容を一般加入電話回線で管理センターに伝送する。一方、管理センターからの指令により、管理のための制御、状態監視、計測、記録およびプログラム（タイムスケジュール・防災・防犯・省エネルギー等）の処理を行う。また、管理ビル側でも操作できる分散処理方式を採用している。なお，将来のシステム機能拡張、付加機能の追加および管理項目の追加変更などに容易に処理できるように、システム構成に柔軟性をもたせた設計になっている。たとえば、警報・故障監視、異常状変監視・計測・積算・設定ログ表示、防災プログラム処理などの多彩なシステム機能を備えている。

運用体制

ビル管理を「より安全に」「より信頼でき」「よりローコスト」で提供するため、TOMNECSは24時間の常時監視・出動体制、地区ステーションの設置、設備管理と防災保安管理業務の有機的結合、専門技術者の効率的運用およびコンピュータによる管理情報の処理などの特長ある機能を備えた運用体制となっている。運用スタッフは、管理センターに監視班、設備緊急出動班、巡回点検班、保全班、警備出動班、情報処理班、地区ステーションに設備緊急出動班、巡回点検班、保全班、警備出動班からなる体制を取っている。

導入効果

TOMNECSを導入することにより、大きくつぎの3つの効果が得られる。

(1)管理コストの低減

つぎに示す省力化により、人件費の比率が圧倒的である管理コストの低減が図れる。
①ビルの機能監視を管理センターで集中処理するので、管理ビル側での監視業務が省力化できる。
②設備機器の運転操作をローカルコンピュータで自動化できるので、この業務が軽減できる。
③設備機器の定期点検業務は、センターの専門技術者からなる巡回班、保全班が効率的に処理するので、管理ビル側での定期点検業務が軽減できる。
④総合管理の場合、設備と保安係の協力により業務の効率化が計れる。とくに、この省力化により、夜間、早朝および休日作業が無人化できる場合には、この効果はより大きいものとなる。

(2)ビル機能の安全性と信頼性の向上

つぎに示す効果により、ビル機能の安全性、信頼性が向上する。
①センターで24時間連続して集中監視し、ビル機能の状態を常時把握できる。
②コンピュータプログラムで機器操作や判断をチェックするので、ミスが防止でき、また、防災や防犯の非常時の複雑な処理も確実に行える。
③多数の専門技術者で機器の保守点検をする。

(3)省エネルギーが計れる

TOMNECSは、大林組の省エネルギー技術の結晶であるBILCON−Σのソフトが使用でき、ランニングコストが低減できるコンピュータによる省エネルギーが計れる。

ビル群集中管理の現状

東洋ビルサービスでは、昭和58年4月1日より大阪大林ビル内に大阪ビル群管理センターを設置し、京都、神戸にサブセンターを設け、京阪神地区のビル群の群管理を行っている。昨年2月1日には大林組東京本社内に東京ビル群管理センターを設置し、都内はもとより札幌、仙台のビルも群管理のエリアとして、現在管理を行っている。

（おおうち　ゆきお　東洋ビルサービス株式会社
大阪ビル群管理センター所長代理）

美しく装い甦る



水系弾性仕上材

シントーラバータイル (複層型)

シントーラバロン (単層型)

シントーラバロン テクスチャー

神東塗料

東京営業部　東京都中央区八重洲1丁目7番20号　八重洲口会館内　(〒103)　☎(03) 274-4021

名古屋営業所　名古屋市中村区名駅南1-24-21 名古屋三井ビル別館内　(〒450)　☎(052)582-8051(代)

大阪営業部　大阪市東区北浜5丁目22番地　住友ビル2号館内　(〒541)　☎(06) 202-2771

施工材料の頁

124 無機弾性仕上材

松永　正

戦後のセメントリシンから始まり、手軽な有機リシン、さらに見栄えのするアクリル吹付タイル（いずれもエマルション形）が、安価であることから次第に多く外装仕上材として適用されるにいたり、今なおこの両者による仕上げは非常に多い。

昭和50年代以降、欠陥マンションに端を発し、建造物の耐久性を阻害するコンクリート工法および砂・骨材の品質などに対する改善策が進められるとともに、壁面の中性化・凍害・塩害・ひびわれ（乾燥伸縮、温度伸縮、コールドジョイント、鉄筋腐食、構造クラック、その他）・剥落に対する予防策として、アクリルゴム（エマルション）を主体とする有機弾性仕上材が適用されることとなる。これには複層形と単層形があり、前者は新設面、塗り替え面における本格的躯体保護機能材として、後者は経済性もあって手軽な塗り替え材料として、適用されつつある。

表1に、主な外装材の昭和55年度と58年度の生産量を示す（ＮＳＫ）。

表1　主な外装材の生産量（ＡＥ：アクリル系エマルション）

	昭55年	昭58年
セメント砂壁状	5,711トン	2,983トン
ＡＥ系　〃	123,117	124,542
ＡＥ系複層模様	80,472	121,348
セメント系　〃	7,232	5,437
エポキシ系　〃	14,672	10,133
弾性仕上材　複層形	14,157	27,931
〃　単層形	1,612	11,121

各種外装材の問題点

躯体保護の見地から、外壁仕上材の耐久性が広く採り上げられるようになり、日本建築学会でも外装材関連テーマが多く発表されている。たとえば、矢野ほかの外装塗仕上げの補修交換技術に関する調査研究（その１）[1]は、過去に行った補修事例に関し、補修前の状態、下地、塗仕上材、その劣化要因をアンケート形式によりまとめたもので、その一部を要約抜すいして掲げた**表2**では、下地の劣化が多く、また塗仕上材の劣化では、下地に起因する劣化現象が、材質劣化と同程度あることを示している。なおこの調査では、旧塗膜は、リシン（ＡＥ系、セメント系）、ＡＥ系複層が全体の約74％を占めていた。

一方、有機弾性仕上材に関する調査において、弾性タイルは、ふくれ・はがれなどの欠陥が多いことが報告されている。すなわち緻密な弾性皮膜で表面を完全に被覆するので、施工前の表面含有水分、あるいは施工後、下地に含有する水分が、躯体の表面温度上昇に伴って塗膜下に水分移動し、その水分が塗膜を軟化膨潤させ、界面に弱接着層（Weak Boundary Layer，略語W.B.L.）を生ずるためであろうとされている。このことは、塗膜剥離を行うと、下地層の表面が完全に湿潤していたり、ふくれ部分に水が溜まっていたりすることで実証される。したがって有機弾性タイルを施工するに当たっては、コンクリート下地の十分な材齢と含有水分８％以下を確認し、前日の降雨また曇天で少しでも降雨懸念のある場合は施工日程を繰り延べるなど、水分問題については十分な管理を完全にする必要がある。

表2　経過年数と下地、塗仕上材の劣化状況

劣化の分類		6～10年 (n:293)	11～15年 (n:246)
下地劣化	コンクリートひびわれ多発	26%	16%
	〃　よりの漏水	31	16
	かぶり部破損・剥落	16	26
	モルタル浮き・ワレ	9	20
	その他	18	22
塗仕上材外観		(n:436)	(n:314)
	変退色・チョーキング大	28	29
	汚れひどい	21	23
	ひびわれ多い	20	18
	ふくれ・浮き多い	9	8
	剥離目立つ	16	15
	その他	7	6

劣化要因		6～10年 (n:403)	11～15年 (n:314)
塗仕上材劣化要因	材質劣化	35%	40%
	雨水浸入による接着低下	18	16
	下地挙動変形	9	5
	付着力低下	7	8
	腐食	3	2
	熱・水分・湿度による伸縮	5	6
	凍結融解	4 (以上46)	4 (以上41)
	紫外線劣化	8	9
	カビ・苔・藻の発生	4	4
	その他	7	6

表3　各種外装材の性能比較

	半硬化(時間)			付着強さ kgf/㎠		破断時の伸び率（%）				透湿度 g/㎡·24H	中性化試験 3ヵ月後
（気温℃）	20	10	2	標準	10サイクル後	標準	0℃	−20℃	促進耐候後		
（湿度%）	65	80	90	(20℃)							
ＡＥ系砂壁状	4	—	—	18	—	—	—	—	—	2150	29.5
ＡＥ系複層模様	5	—	—	14.8	5.0	—	—	—	—	246	—
エポキシエマルション形ＡＥ系複層模様	3	—	—	16.6	7.2	—	—	—	—	65	4.8
有機弾性仕上材											
複層形	10	28	48	9.2	5.5	300	120	65	160	24	2.2
単層形	6	10	16	10.5	5.3	400	20	0	150	28	2.6
無機弾性仕上材											
セメロン#200	3	5	8	11.8	13.7	224	327	170	170	34	1.9
セメロン#100	2	3.5	5	8.5	11.8	13	15	8	10	60	3.6

無機弾性仕上材の登場

わが国では、外装材には数多くの課題がある。

●多雨多湿は塗膜のふくれ・はがれを生じさせる。

理科年表によると、わが国は３日に１日は降雨ということになる。一般に塗装シーズンは、気温の関係で４月～11月とされているが、この期間は多雨多湿で、施工期間中必ずその洗礼を受ける。（降雨・湿度の面では、むしろ12月～３月の方が好天に恵まれる地域もある）

●躯体にひびわれや、ぜい弱化が生じやすい。

軟質傾向のコンクリート打ちによる乾燥収縮、夏冬の温度差大のための温度伸縮、冬期の凍害、中性化に加えるに、塩害（四面海に囲まれる）、廃気ガス劣化、さらに地震による被害（振動）、台風によるひびわれ部からの漏水問題、また砂・砂利の骨材事情、開口部が多い建物など、躯体劣化の条件がすべて備わっている建築事情である。

過去の外装材の経過、わが国の気象条件、建築事情などにチャレンジして登場したのが、無機弾性仕上材である（特許公開中）。すなわち従来のセメント系複層仕上材に弾性を与えてひびわれ追従性を持たせており、低温時の造膜性、低温時のひびわれ追従性に優れる。下地水分による許容性は無機系の本質であり、耐久性改善が叫ばれる折柄、建設業界多年の宿望が達せられた外装材といえる。

無機弾性仕上材は、粉体と混和液の調合・適用によりセメントの水和反応に必要な保水性を与え、セメントと特殊アクリルゴムとの架橋反応、セメントの結合組織のすきまを密実充填することなどにより、生成塗膜にゴム弾性を与える。なお無機弾性仕上材には、高弾性を付与するタイプ（セメロン#200）と、不燃性（有機物量５％以内）で、しかも微弾性を有するタイプ（セメロン#100）がある。

無機弾性仕上材の特長

１）低温多湿下でも造膜性が優れ、施工後の降雨による塗膜流出、塗膜のふくれ懸念が少ない。**表3**では、塗布後滴下水で塗膜の再溶解しなくなるまでの時間を半硬化時間として示している。

２）塗膜形成後、水分に遭遇しても接着力の低下がない。表３の付着強さは、20℃・14日乾燥後と、水中に18時間・−20℃ 3時間・50℃ 3時間の10サイクル後の測定値であるが、無機弾性材ではサイクル後むしろ向上しており、塗膜が剥れ難いことを示している。

３）セメロン#200は、常温～低温経時後でも優れたひわれ追従性がある。（表３の破断時の伸び率%、低温時が重要）

４）躯体保護機能、すなわち中性化防止、凍害防止、塩害防止の機能が優れている。（表３の透湿度は、カップ法によるものであり、中性化試験は10㎝のモルタルブロックに塗装し、炭酸ガス濃度５％、30℃にて、３ヵ月放置後、試験体を切断し、中性化深さを測定）

５）鮮明なデザイン、仕上がりが得られる。

無機質の特性を持ち、無機・有機の複合材料でもある無機弾性仕上材は、わが国の気象条件、建築事情、耐久性の点で卓越した新材料であることを確信している。幸いその特性を確認されて、需要拡大しつつあるが、さらに市場ニーズに合致する製品多様化を進めており、ご期待に対応したい。

参考文献
日本建築学会大会学術講演梗概集（関東）昭和59.10.No.1168

（まつなが　あきら　神東塗料株式会社取締役・塗料事業部）



日本建築協会企画　　建築技術選書35

高層集合住宅の維持管理

――建築技術の果す役割と将来――

長谷川工務店常務取締役
福嶋孝之著



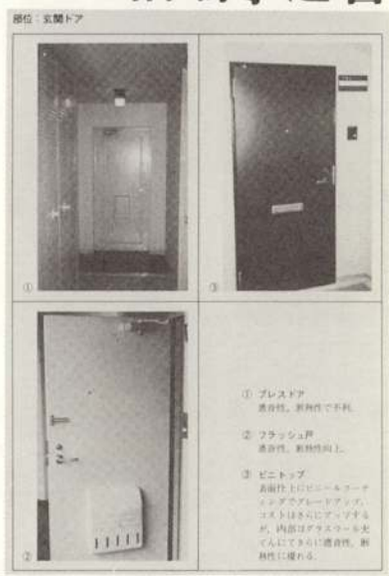
設計者が明かした建築技術からみた維持管理

マンションの維持管理に関して，今日まで設計者はどのような役割を果してきたのか．建物を良好に保つための修繕のやりやすさをどう配慮してきたのか．長年マンションの設計に携ってきた著者によってはじめて明かされた，建築技術と維持管理の重要な関わり．

主要目次

1．５つの課題
2．高層分譲集合住宅の維持管理の原点
3．メンテナンスフリーへのあゆみ
4．設計仕様の変遷
5．災害と補修
6．将来の維持管理の形態をさぐる
7．高層分譲集合住宅の維持管理の担い手

A５・176頁・定価1400円



〈目録進呈〉　学芸出版社　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入　☎075-343-0811

日本建築協会企画・建築技術選書37

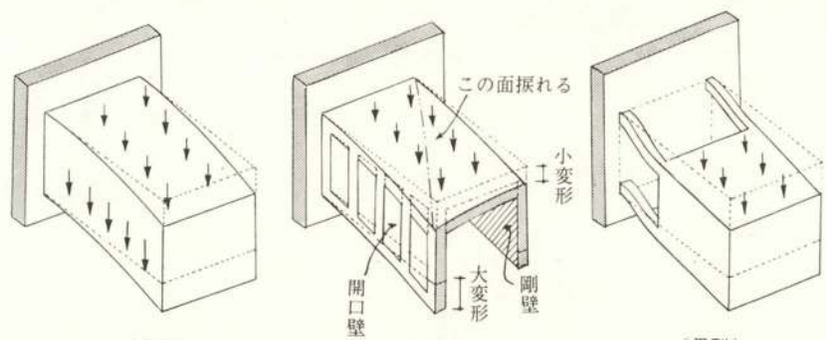
身近な耐震設計法

――専門家以外の人にもわかりやすい耐震思考法の手引き――

村野、森建築事務所
前川陽一　著

新耐震設計法が施行されて２年を経過し，近年震害予防に対する社会的関心は非常に高まっている．しかし，その耐震設計技術は専門家以外の人たちには理解しにくい内容と頭から思われてしまい，本来の目的を達し得ていないようである．

本書は，地震と建築のかかわり合いの過程から，耐震設計の考え方を一般の建築家向きにわかりやすく説明した．耐震技術とは，ハード面の問題のみならず，ソフト面の物の考え方と運用の仕方に最も大きな意義があることを説く．



〔Ⅰ型〕並進変形型　〔Ⅱ型〕振れ変形型　〔Ⅲ型〕剛性急変型

■内容概略

- 耐震設計法はどのように発展してきたのか
- その過程でモーメントになったものとは何か
- 耐震設計原理とは，また，その意味とは何か
- 耐震設計法に残されている課題を探る

■目次

第１章　狼がついに姿を現した
第２章　地震に問題のある建築物のパターン
第３章　応答という物の考え方
第４章　震度とせん断力係数という概念
第５章　先人の大きな遺産
第６章　貴重な地震災害の教訓を生かす
第７章　新耐震設計法の関所と通行手形
第８章　構造家に要望される能力

A５・176頁・1400円

〈目録進呈〉　☎075-343-0811　学芸出版社　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入

日本建築協会

月間の動き

昭和59年12月分

理　事　会

定例理事会
14日　5時～5時半　於太閤園
出席者　佐野会長ほか19名
議事 (1) 入退会者承認の件
(2) 会誌「建築と社会」誌の充実について
(3) 報告事項

編　集　委　員　会

編集理事会・委員会
3日　4時～6時　於本会会議室
出席者　佐野・足立正副会長、井上委員長ほか8名、事務局8名
議事 (1) 会長のあいさつ
(2) 経過報告
(昭和59年12月号～昭和60年3月号)
(3) 収支状況報告
(4) 今後の編集のあり方
(5) 乾杯・懇談

4月号特集編集幹事会
3日　6時～8時半　於本会会議室
出席者　横井征夫幹事ほか6名
議事　4月号特集の企画―施工材料分科会と計画分科会の合同企画―

第8回作品作風小委員会
5日　4時～7時　於本会会議室
出席者　北村委員ほか3名
議事 (1) 掲載状況報告
(2) 新建築調査表選定（60年3月竣工分）
(3) 新企画頁の報告・検討

「ホール――それが生みだす文化」特集第4回編集幹事会
10日　6時～9時　於本会会議室
出席者　大野一男特別幹事ほか6名
議事　特集の構成の具体化

第5回法令分科会
11日　2時～4時　於本会会議室
出席者　松井幹事ほか1名
議事 (1) 昭和60年5月号法令特集の企画
(2) 法令コーナーのテーマと執筆者
(3) 法令用語解説コーナーの検討

「外装材料―最近の外装―」特集編集幹事会
17日　4時～6時　於本会会議室
出席者　横井征夫幹事ほか3名
議事　4月号(予定)「外装材料―最近の外装―」特集の企画

「設計者のプロフィール」中島龍彦氏インタビュー
17日　1時半～5時半　於天王寺ほか
出席者　加藤力氏ほか8名
中島龍彦氏（中島龍彦建築事務所）へのインタビューと、四天王寺学園和光館見学、インタビュア・本多委員

第4回構造分科会
18日　4時～6時　於本会会議室
出席者　真塚幹事ほか4名
議事 (1)「建築物の基礎を考える」特集の件
―座談会速記録の査読
―データシートについて
―広告収集のために
(2)「構造の頁」3月号以降の企画

「設計者のプロフィール」宮田照久氏インタビュー
20日　1時半～3時　於昭和設計
宮田照久氏（昭和設計）へのインタビュー、インタビュア・清水委員

安井武雄特集打合会
21日　1時半～2時半　於本会会議室
出席者　山本純孝氏
議事　「自由様式と安井武雄」特集の具体化

第8回投稿欄小委員会
21日　4時～5時半　於本会会議室
出席者　中馬副委員長ほか2名
議事 (1) 2月号以降の「読者の頁」「建築と社会ニュース」の企画
(2) その他

第9回広告企画小委員会
25日　4時～5時半　於本会会議室
出席者　井上委員長ほか7名
議事 (1) 12月号「光応用システムと建築」特集広告収入報告
(2) 正月号新建築・謹賀新年広告収入報告
(3) 2月号「東海支部」特集広告経過報告
(4) 3月号「建築物の基礎を考える」特集と3月号「自由様式への道・建築家安井武雄伝」(仮称)特集広告企画
(5) 特別企画

建　材　委　員　会

委員会
20日　3時～6時　於本会会議室
出席者　牧田委員長ほか11名
材料説明　「シェルター・サバイバルルーム」担当・元木委員
議事 (1) 今後の委員会のあり方
(2) 今後の検討建材
(3) 今後の「新建材紹介コーナー」予定

出　版　委　員　会

設備トラブル研究会
13日　6時～8時　於本会会議室
出席者　舟橋副委員長、執筆メンバー、学芸出版社
議事　「建築設備トラブル集」原稿最終調整

建　築　技　術　選　書　講　座

「すまいの語録」
11日　2時～4時　於大阪住宅展示場
講師　東京工業大学教授　茶谷正洋氏
聴講者　40名

見　学　会

〈ツイン21〉新築工事中を見る
12日　1時～5時　於東区城見町
参加者　52名
建 築 主　松下興産株式会社
設計監理　株式会社日建設計
施　工　A工区　鹿島建設株式会社・株式会社竹中工務店
株式会社熊谷組共同企業体
B工区　大成建設株式会社・株式会社奥村組・株式会社鴻池組・清水建設株式会社共同企業体
C工区　西松建設株式会社
階　数　地下1階、地上38階、塔屋1階

会　計　監　査

13日　11時～2時　於本会会議室
建設省住宅局建築指導課・根岸武、高橋徹両氏により、本会の業務及び財産状況についての定期検査を受けた。

懇　親　会

建築関係団体合同忘年懇親会
14日　6時～7時半　於太閤園迎賓館
出席者　300名

建　築　ク　ラ　ブ

朝食会
11日　8時半～10時　於大阪グランドホテル
出席者　63名
当日は、東京工業大学教授・茶谷正洋氏をお招きして「折り紙建築」について、はじめた動機から、今日マスコミに採りあげられ、数種の出版物となって巷で話題となっている等の話があり、最後に実技指導も行われた。

建　築　業　務　基　準　委　員　会

12日　2時～4時　於日本建築士会連合会(東京)
出席者　谷委員長ほか構成団体各委員
議事　建築業務基準について（継続）

12月の入会者　(敬称略)

〔個人会員8名〕

井上　末樹	池端　聰	海野　克則
田中　邦昭	武田　二郎	薬袋　公明
矢田　史八	山崎　純郎	

訂正

●本誌12月号「法令コーナー」200の基礎設計に関する指導基準（その1）の「第3章杭基礎」の記号説明を下記の通り訂正します。
Ab：支持地盤下面における、応力伝達範囲の面積(㎡)
As：基礎杭先端の断面積。ただし、群杭の場合は包らく線内部の面積(㎡)

●本誌1月号「大阪湾物語」の資料篇P84のプロジェクトのプロット地図中、神戸研究学園都市と西神ニュータウンの位置に間違いがありましたので、下図のように訂正します。

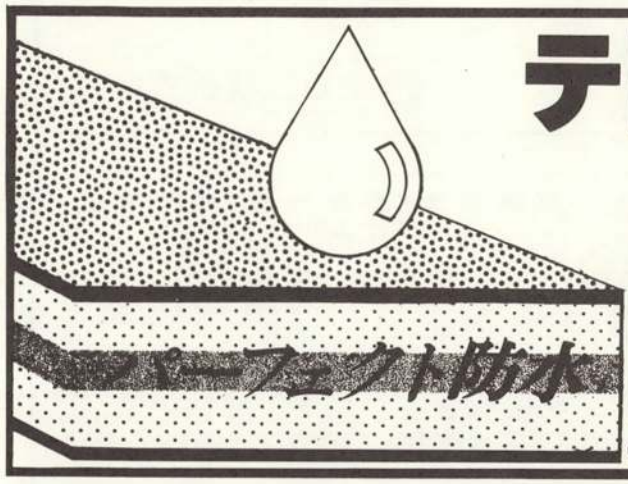


室谷

内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市中央区北長狭通4丁目2番4号(英和ビル)
電話　神戸(331) 0881～3
支店　大阪市北区西天満2丁目6番8号(堂ビル5階)
電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市東灘区御影石町4丁目(電話811-3610)



テトカッパー防水層

防水専業の研究・経験から生れたすくない資源のパーフェクトな防水層です。
この防水層は(一層防水)施工するだけで、防水は完璧です。
温度変化に伸びがなく、柔軟性に富み、耐酸、耐薬品性に優れ、腐蝕しません。

カッパー防水帯　コーバータイト　新工法
オクロン防水帯　プレノテクト吹付工法

●お申込次第カタログ進呈

奥山化工業株式會社

本　社	東京都中央区銀座8—4—9	電話03 (571) 2703
大阪事務所	大阪市淀川区東三国6—1—41	電話06 (391) 1081-2
埼玉営業所	埼玉県桶川市東1—3—30	電話0487(74)2845-6
厚木出張所	神奈川県厚木市金田259	電話0462 (21) 1761
名古屋出張所	名古屋市南区若草町33	電話052 (811) 3660
九州出張所	佐賀県佐賀郡諸富町大字諸富津450	電話0952 (47) 2945

防火・防煙から避難装置まで
建築防災の総合メーカー

豊かな経験
最新の技術

東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社

本社：大阪市東区両替町1—12 日生ビル　☎ (943) 6571代表
東京・横浜・盛岡・仙台・水戸・静岡・岡崎・名古屋・富山・大津・京都・神戸・広島・高松・福岡他全国主要都市

防火 構造認定(防火第404号)

モルタルクラックが大幅に減少
工期の短縮が図れる左官用高級スタッコ

シンコー白モルタル

地震に強い家をつくるモルタル下地合板

ラスカット

左官作業の近代化
一発で特殊「白モルタル」スタッコ仕上

スーパーローラー

(株)新興建材工業所

〒550　大阪市西区南堀江4丁目32—11　☎(06)538—2951(代)
営業所　明石・中国・四国・高槻・東京・新潟・仙台

空気調和・給排水・衛生・防災設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　　社　東京都港区浜松町1-25-7　電話（434）6171（大代）
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話（302）2271（代）
支　　店　北海道・東北・名古屋・中国・九州
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

空気調和・衛生設備 設計施工

株式会社 三晃空調

取締役社長　齋藤　博

本　　社　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06—363—1371
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話 03—344—1911
大阪本店　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06—363—1371
支　　店　仙台市大町2丁目2番10号　電話0222—61—3002
名古屋市中村区名駅南2丁目14番19号　電話052—581—8571
広島市中区紙屋町1丁目2番22号　電話082—247—4535
福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092—761—3795
出張所　青森・秋田・宇都宮・千葉・横浜・福井・京都・神戸・松江・高松・下関・熊本・鹿児島・沖縄

空調・衛生
防災・汚水処理　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区角田町2番15号　電話 大阪372局7151（代）
京都市東山区大和大路正面上ル　電話 京都561局4944（代）
神戸市中央区下山手通6-2-8　電話 神戸341局5892

---

clean air
一年中 秋のすがすがしさ！



創業1901
須賀工業株式会社
大阪市西区土佐堀1丁目2番30号 TEL 06—441—5171（大代表）〒550

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設　計　施　工

大阪電気暖房株式会社

本　　店　大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　〒550 電話(06)441-8231(大代)
東京本社　東京都中央区銀座2丁目2番17号　〒104 電話(03)535-5251(代表)
支　　社　名古屋・大阪・福岡
支　　店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・天理・岡山・広島・高松
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・京都・神戸・徳山・松山・高知・北九州・熊本・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・松江・徳島・長崎
海外支店　シンガポール・ホンコン

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む

株式会社精研

本　　社　大阪市南区瓦屋町2丁目11番16号（オートセンタービル1.2階）
郵便番号542　電話 大阪(06) 768—5031代表
メンテナンス部　電話 大阪（06）768—1651代表
東京支店　東京都千代田区九段南2丁目2番5号（九段ビル2〜4階）
郵便番号102　電話 東京(03) 262—3241代表

■給排水衛生　■冷暖房
■空気調和設備　■その他管工事一切の設計・施工

斎久工業株式会社

本　　社　東京都千代田区大手町2-6-2（日本ビル）
電話　03-(270)-7411(代)
大阪支社　大阪市北区中之島4-2-38　電話 06-(443)5041(代)
支　　店　札幌・岡山
営業所　仙台・千葉・横浜・名古屋・金沢・四国・広島・福岡
出張所　福井・倉敷・松山・宇都宮・静岡・苫小牧

商品は空気です。



熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京支店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03—344—1851（大代）　大阪支店 ☎06—448—5851（代）
名古屋支店 ☎052—211—1535（代）　九州支店 ☎092—431—2147　営業所：札幌・仙台・横浜・京都
神戸・広島　出張所：新潟・金沢・大宮・静岡・豊田・岡山・松山・熊本・鹿児島・沖縄・バンコク

空気調和設備
給排水・衛生水道
電気設備
厨房

環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業株式会社

取締役社長　玉置　純治郎
取締役支店長　杉浦敏郎
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話　大阪(202)代表3071
本　　店　東京・日比谷・三信ビル
支　　店　名古屋・九州・北海道・中国・東北・北陸・四国・シンガポール
営業所　横浜・静岡・豊田・岡山・金沢・新潟・香港

空気調和
給排水衛生

搬送機設備
設計施工

第一工業株式会社
大阪支店

大阪支店　〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号
電話　06—364—6661（代表）
本　　社　〒100 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話　03—211—8511（代表）

空気調和設備
衛生設備　設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話（352）1131（代）
本　　社　東京都中央区日本橋蠣殻町1-35-8　電話（667）3431（大代）
支　　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

ガス設備の設計・施工のご相談は
大阪ガス指定工事会社・大阪ガス住設機器特約店

大晃設備株式会社

本社：設備部
大阪営業所　大阪市北区西天満5-11-12　電 06—313—1846
枚方営業所　枚方市甲斐田東町9—3　電0720—49—2128

MODAIR
空気調和設備
換気・除塵設備 設計施工
東洋熱工業株式会社大阪支店
大阪市西区靭本町3－1－27　TEL(443) 8071
本社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562) 1351
支店　名古屋・福岡

空調・衛生・防災設備　設計並施工
日本管工業株式会社
本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満1-5-20　電話(06)352—3501㈹
三重支店　津市栄町2－111　電話(0592)26—3610㈹
四日市営業所　四日市市西末広町　電話(0593)53—7431㈹
滋賀営業所　大津市中央2丁目4-28　電話(0775)22—9738㈹

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備
㈱西原衛生工業所大阪店
大阪市大淀区中津6丁目8番4号　電話大阪(458)3531番
支店・営業所　福岡・京都・天理・川西

Carrier
冷暖房はCARRIERキャリア
東洋キャリア工業(株)デストビューター関西地区
日本冷熱工産株式会社
本社及大阪営業所　吹田市豊津町40番38号
電話大阪(384)1201～7

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工
高砂熱学
大阪支店　大阪市北区芝田1丁目4-8(北阪急ビル9階)
電話　大阪(372)2511(代表)
本社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

営業種目
空気調和・衛生設備工事・設計・施工
平山工業株式会社
大阪市西区江戸堀1丁目22番7号
☎06—441—1994・443—0331

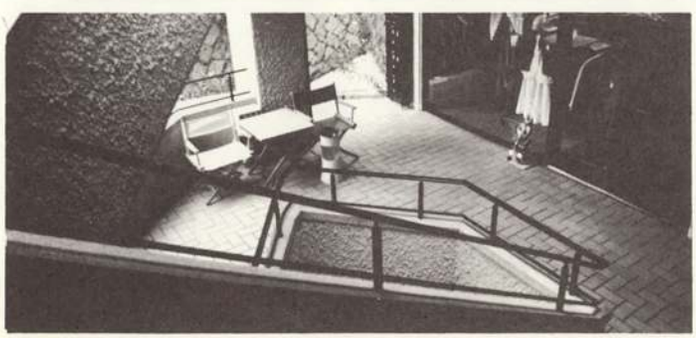
"屋根改修工事には府板ルーフ66を"
通産大臣認可　全日本板金工業組合連合会　大阪支部
建設大臣認可　社団法人日本建築板金協会　大阪支部
知事認可　大阪府板金工業組合
理事長　福本大元
〒530 大阪市北区西天満4丁目2番4号　電話 06—364—3774㈹



Standard Board&Slate
フタバ黒板
〒547　大阪市平野区加美北3－4－5　TEL 大阪06(792)5858㈹

白あり
木材保存のトップメーカー
サンヨー
住まいのガン細胞、しろあり公害を未然に防ぎましょう。
◉シロアリ予防・駆除・施工(10ヶ年保証付)
◉製造販売　サンプレザー(予防剤認定)
サンソイル(土壌処理剤)
PGスケヤー(加圧注入防腐木材・土台・大臣用)
山陽木材防腐株式会社
大阪営業所　〒541 大阪市東区北浜3丁目7信愛ビル　☎06-231-6406
化成品部　〒101 東京都千代田区神田須田町1-26 芝信神田ビル　☎03-254-0831

活字のない印刷
日本写植印刷株式会社
代表取締役　神田都義
本社　〒545 大阪市阿倍野区阪南町7-5-30　☎06(606) 1111㈹
日本写植センター　〒892 鹿児島市名山町4-7 三宝ビル　☎0992 (26) 4371
津山写植センター　〒708 津山市大手町8番5号 模範店会館　☎08682 (4) 1771
沖縄写植センター　〒900 南風原村兼城 沖縄印刷団地　☎0988 (55) 6100





電気・計装工事 設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗 原 信 英

大阪市北区角田町1-1 東阪急ビル TEL06-313-1101
支 店 東 京・名 古 屋・舞 鶴・京 都・天 理
大 阪 南・神 戸・広 島・四 国・九 州

電気設備 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山 本 貴 士

本 社 大阪市北区中之島3－2－4 朝日ビル TEL 大阪06 (385)1361(代)
大阪営業所 TEL 大阪06(385)1361(代) 京都営業所 TEL 京都075(311)1185(代)
東京営業所 TEL 東京03(574)0665 福岡出張所 TEL 福岡092(771)6168

電気工事設計施工

株式会社 三 興 社

代表取締役 土 井 敏 裕

本 社 大阪市北区西天満2丁目6－8(堂ビル7階)
電 話 (361) 3 6 7 1 (代)
支 店 東京都中央区日本橋箱崎町20番5号
電 話 (671) 1 4 7 8 (代)
出張所 川 崎・相 模 原・堺・滋 賀

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社

大 阪 支 社

大阪支社長 横 田 幸 一

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地 電話大阪 (202)0325～9番
本 社 東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支 社 札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
営業所・出張所 全国主要都市2ヶ所

限りなきクリーンに挑戦する!!
電気設備・クリーンルーム・冷暖房設備
給排水衛生設備・計装制御設備・立体自動倉庫
エネルギー集中監視システム・回転式自転車置場
設 計 施 工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉 納 伝 三

本 社 〒530 大阪市北区西天満2－6－8(堂ビル) TEL 06(364)1471 TELEX 523－3287
東京支店 〒105 東京都港区新橋2-16(ニュー新橋ビル) TEL 03(504)0231 TELEX 222－6724
名古屋支店 〒462 名古屋市北区金城三丁目12－14 TEL 052(991)5131
神戸支店 〒657 神戸市灘区岩屋中町1-2-9(エビスビル) TEL 078(881)5571

電気・計装・空調工事 設計施工

ヤマト電気エンジニアリング株式会社

取締役社長 山 本 永 造

本 社 大阪市北区西天満5丁目1番3号
TEL 06－364－3056 (代)
支 店 東京・神戸・広島・岡山
事業所 名古屋・岡山・札幌・苫小牧・浜松・滋賀
京都・高砂・三原・徳山・松山・新居浜・福岡・沖縄

総合設備工事《設計・施工》
建築・電気・通信・送電線・プラント・計装・空調・土木

太陽工藤工事株式会社

取締役会長 小 林 四 郎
取締役社長 代 谷 正 元

本社 大阪市福島区福島7－22－8 Tel 06-452-1151(大代)
東京 東京都港区芝2－2－17 Tel 03-454-7311(大代)
支社 福岡・広島・名古屋・神戸・京都

内外産建築用大理石 テラゾーブロック
花崗岩・其ノ他石材 テラゾータイル
ネオパリエ 各種カラー平板

株式会社 旭大理石工作所

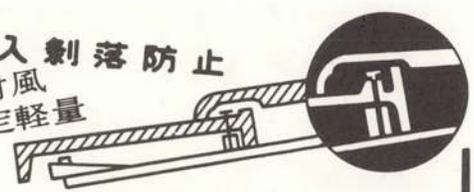
本社工場 〒535 大阪市旭区中宮1丁目10番9号 電話(06)954-6661代表
京都工場 〒610-03 京都府綴喜郡田辺町大住 電話(07746)2-0374
岡山工場 〒709-04 岡山県和気郡和気町大字原 電話(08699)3-1365

奉仕感謝の店
タイル工事施工

株式会社 川岸窯業商店

本 社 大阪市西区西本町1－13－33(靱本町バス停前)
電話 大阪 06(532)代0461 〒550
天理営業所 天理市丹波市町新町50

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



ナニワ緩勾配瓦

3寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦

ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町一丁目七四二 電話(641)五〇六五

飛 鳥 野 瓦(意匠登録549771号)
渡辺式緩勾配安定瓦(実用新案登録出願中110750, 110751) } 製造販売
各和洋瓦全般・カラーベスト・モニエル瓦・セキスイカワラU

創業67年 綜 合 施 工 卸
久保田鉄工・松下電工㈱・日本モニエル㈱・積水化学工業㈱・富士スレート㈱・特約代理店

瓦寅工業株式会社

本 社 大阪市生野区林寺1丁目5番14号 〒544
電話 06(715) 0201代表～5番
営業所 大阪市平野区 工場 兵庫県三原郡(淡路島)

文化庁・宮内庁・各府県庁
国宝 重要文化財 社寺・天理教教会本部 御 用 達

株式会社 瓦宇工業所

代表取締役 小 林 麻 造

〒630 奈良市西新在家町17番地
電話 奈良(0742)26－2901番(代表)

特殊壁装材製造販売　和室に最適
●聚楽壁紙●ホクシノン(無機質壁紙)
(株)ホクシンクロス
〒583 大阪府羽曳野市島泉８－173－1
TEL(0729)39－3610
工場　〒580　大阪府松原市三宅中8丁目1番9号
第一　〒639-11奈良県大和郡山市小泉町2744
第二　〒597　大阪府貝塚市王子５０１

岡田ペーパー株式会社
OPCo
大阪市西区北堀江２丁目５番20号
ＴＥＬ　06－531－4601(代)
06－541－2305(代)
フロアーサンディングシステム関連商品
研磨材料 ＆ 研磨機器
布紙ペーパー ＆ ジスクペーパー

営業種目
●防　水　工　事　塗布防水・シート防水・モルタル防水
●樹脂注入接着工法　各種樹脂注入接着補修工事
●亀裂補修工事　各種樹脂注入・充填・コーキング
●シーリング工事　シリコン・チオコール・ウレタン・アクリル
●吹　付　工　事　アクリル・リシン・弾性タイル・その他
◇建　設　業　許　可　大阪府知事許可（般－53）第51225号
◇日本シーリング工事業協会々員
大阪市北区末広町３－２１
星和地所扇町ビル201 S
TEL 06(315)0701
(株)特殊技研

建設業界をアシストする
ポゾリス
■ コンクリート用混和剤　■ 無収縮グラウト材
■ 鉄筋コンクリート用防せい剤　■ 工業用特殊床材
製造元 日曹マスタービルダーズ株式会社
販売元 ポゾリス物産株式会社
本　社／東京都港区六本木3－16－26　☎ 03-582-8811
大阪営業所／大阪市東区北浜３－７　☎ 06-202-3294

デンカCSA　デンカセメント
セキサンパイル(S M.AC.PC.RC)
カネライトフォーム.ALC.鋼材
建築材料一式
浜宗産業株式会社
代表取締役 濱岡　浩
本　社　〒629-31 京都府竹野郡網野町字網野
ＴＥＬ　(07727)2－２２２０(代)
舞鶴営業所　〒624　舞鶴市福来１６０-1
ＴＥＬ　(0773) 76－0133(代)

省エネルギー時代の断熱用シート防水材
日立バイナリーシートP
日立バイナリーシートPは，日立防水シートに発泡ポリエチレンを独自の貼り合わせ技術で積層した，二重構造の断熱兼用二重防水シートです。
日立電線株式會社 本社 東京都千代田区丸の内2丁目1番2号(千代田ビル)

デンカCSAファミリー製品
●デンカCSA……コンクリートのひびわれ防止に
(膨張性混和材)
●デンカタスコン……鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
(グラウト用無収縮材)
●デンカキューテックス……コンクリート軀体の漏水補修に
(止水・補修用急硬セメント)
●デンカES……地盤補強用薬液注入
(土質安定用急硬材)
●デンカΣ1000……コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に
(製品用超高度混和材)
電気化学工業株式会社
近畿地区販売店
金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（０６）３３２－６８６１
TEL 東京（０３）２７２－８５０１
小浦産業株式会社
TEL 大阪（０６）４４３－６１８１
光洋物産株式会社
TEL 大阪（０６）２５２－６０００
株式会社 トーゴー／本社
TEL 滋賀・守山（０７７５）８３－２３８１

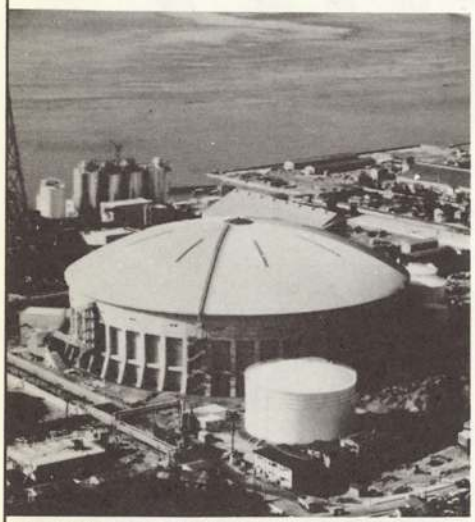
特　許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

半世紀の実績が誇る技術とアフターケアー！

長尺物・色彩豊富・責任施工

品　種・オリエンタルカラースーパーメタル(CSPM)
・オリエンタルスチールライト(ＳＴＬ)
・オリエンタルメタル(ＯＰＭ)



電発竹原火力石炭庫屋根に採用

波板規格　S小波・S大波・V波・ボックス波・Wジャンボ波・Vデッキ
SVジャンボ波・其の他

用　途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
各種換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター(強制)〕
ホーンタイト(防音壁)・其の他

※ カタログを御請求下さい

オリエンタルメタル製造株式会社

大阪本社　〒660　尼崎市昭和南通り３－26 松本ビル　電話大阪(06)412－5131(代)
営業部　〒660　尼崎市昭和南通り３－26 松本ビル　電話大阪(06)412－5131(代)
支店及工場　大阪・九州・名古屋・広島・東条・刈谷
姫路(東洋建材工業，株)
東京本社及工場　〒335　蕨市塚越５丁目６番32号　電話 蕨(0484)42－3115(代)
支店及工場　東北

全国書店18日一斉発売！（最寄りの書店にご注文下さい。）

計画➡設計➡施工➡技術の総合専門誌

月刊 **建築技術**

No.403　3月号予定目次　定価 1,000円

陶磁器質タイルの新工法……藤井　銛純
タイル張り用
プレミックスモルタル……鈴木　正慶
内装の洗浄保全……井戸　昭三

- 超高圧ウォータジェットを利用した洗浄・剝離……足立　隆之
- コンクリート強度および鉄筋かぶり厚さの実態……桝田　佳寛
- エキスポプラザの設計から施工まで……清水豊和ほか
- 建物内の防煙設計……山名　俊男
- 柱脚の設計と施工 (2)……構造家懇談会中部支部
- 地震力に対する建築物の基礎の設計指針……杉村　義広
- 事務所ビルＯＡ化の配線設計 (3)……小坂　逸郎
- 構造計算のためのポケコン活用術 (3)……藤井　文雄

建築経済統計図表●フォトニュース●トピックス●建築家の良識●読者コーナー●海外の話題●建材の動向　その他

直接購読ご希望の場合の年間予約金　12,000円(送料共)

出版案内

好評発売中！

建築 **設備読本**　井上　博著

Ⅰ 給排水衛生設備篇

月刊「建築技術」連載でおなじみの，わかり易い説明文。設計者や現場マンに，建築技術者としてこれだけは知っておきたい93項目について，自筆の挿図と写真を豊富に使用しながら説き進めた新入社員の教育と中堅社員の知識の整理に最適の書。

B５・171頁　定価3,200円・送料300円

新刊5　好評発売中！　A５・366頁　定価3,800円・送料300円

建築構造問題快答集　建築技術編集部・編

好評シリーズ第五巻は新耐震設計法に関する質疑応答を実に二百二十問もあつめた労作。回答はすべて構造家懇談会技術委員会の専門家で，難問もわかりやすく回答されている。

1 A５・430頁
2 A５・385頁
3 A５・373頁
4 A５・340頁
各巻共 定価3,800円・送料300円
4 A５・340頁　定価3,700円・送料300円

納まりやすく施工しやすい配筋の指導書
建築 **配筋読本●改訂版**　井上　博／北小路宏 共著

B５・162頁　定価3,200円・送料300円

設計者と現場マンのためのわかる溶接
増補 **溶接読本**　井上　博著

B５・157頁　定価3,000円・送料300円

目と手で確かめた水と土の記録
増補 **最新場所打ぐい工法**　北中克己 著

A５・341頁　定価3,500円・送料300円

〒160 東京都新宿区北新宿1-8-1 中島ビル８Ｆ　建築技術　振替口座 東京0-72417番 ☎東京03(363)4211(代)

人の、おしりを洗いたい。



マイコン制御で、洗う、乾かす、暖める…と、すべてをコントロール。しかもビデ洗浄付です。新しいウォシュレットは、マイコンによる自動温度制御方式。洗浄、乾燥、暖房便座の温度は、すべてこのマイコンがコントロールしてくれます。だから室温、水温の変化に影響されず、春夏秋冬、いつもおしりは快適。お子様、ご老人、身体の不自由な方でも、ラクな姿勢で使え、痔や便秘にも効果的です。また、生理中、妊娠中、出産後など、ふだんより一層清潔に気を配らなければならない女性のために、ビデ洗浄も設けました。カラーも3色揃っています。特に注目していただきたい、2つのポイント。1. パネル1枚にすべてのスイッチを集めた新設計。ボタンは軽く押すだけのフェザータッチです。2. 洗浄ノズルは使用時に伸び、洗い終ると縮んで便座の裏に隠れる伸縮式。用便時など汚物が付着しません。しかもノズルは43度（ビデは53度）の角度つき。理由はおしりをキレイに洗うため。60年のトイレづくりから得たTOTOの結論です。ウォシュレットGⅡ（TCF451）〔洗浄・乾燥・ビデ・暖房便座〕水道直結タイプ¥149,000（取付工事費別途）

もっと快適に、増改・取替

TOTO
ウォシュレット

写真はウォシュレットGⅡ（TCF451）



おしりだって、洗ってほしい。

東陶機器㈱大阪支社　〒530 大阪市北区曽根崎2丁目3番7号 梅新第一生命ビル東館
☎(06)364-1181

建築と社会　第66輯第2号
昭和60年2月25日発行（毎月1回25日発行）
昭和24年3月19日第3種郵便物認可
社団法人　日本建築協会　〒530　大阪市北区梅田1-の1-の3の2-100　電話・大阪06(348)0635
（表紙デザイン・吉引顕久）
振替口座大阪一三九九七五番
正会員の購読料は会費に含めて徴収
定価九五〇円（送料共）

健康優先

世の中、無公害化へ。
公害物質が発生する。

Cタイルを貼った床からは……
おそれは　なくなります。



健康上、有害とされているアスベストを含む床材は好ましくありません。すでに欧米では、アスベストの全面ないし段階的な使用禁止など、厳しい勧告がなされています。そのアスベストをまったく使用していない無公害床材が、新開発のCタイル。床材のノンアスベスト化にGPフロア（クッションフロア）で先行、先進技術をもつタジマの新しい自信作です。手入れが簡単で寿命が永いPタイルの良さを受けつぎ、しかも時代にマッチしたクリーンな環境づくりにお役立ていただけます。Pタイルを超えたCタイル。これからは床材もノンアスベストを前提にご選定ください。

新発売　ノンアスベスト　無公害床材

タジマ　プラスタイルクリーン（Cタイル）

■規格
●半硬質ノンアスベストビニル床タイル
●厚さ2.0㎜×304.8㎜×304.8㎜　●色数16色

■特徴（Pタイルと違う点）
●新しいデザイン傾向にそったクリアな色調で、明るい雰囲気をつくります。　●耐光性に優れ、退色しにくい。　●アスベストを使用しておらず安全。　●性能はPタイルと同等以上。

■用途（Pタイルと同じ）
学校、事務所、店舗、病院、他

床を創る
TAJIMA
田島応用化工株式会社
田島グループ　田島ルーフィング㈱

東京■〒101東京都千代田区岩本町3-11-13
☎03(866)6101代表
大阪■〒550大阪市西区京町堀1-10-5
☎06(441)5951代表